参考資料

第18回
三郷市市民意識調査報告書

三郷市マスコットキャラクター
「かいちゃん＆つぶちゃん」

令和７年２月

三郷市

はじめに

本市では、将来都市像である『きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～』を目指し、総合的かつ計画的なまちづくりに取組んでおります。

現在は、さらに住みやすいまちを目指し、第５次三郷市総合計画前期基本計画に掲げる３つの重点テーマである『持続可能な拠点の形成～まちづくりは道づくり～』『多様性のある地域の確立～地域コミュニティの充実～』『質の高い教育と切れ目のない子育て支援強化～こどもたちの成長を見守る・夢を育む～』を進めているところでございます。

第１８回三郷市市民意識調査につきましては、市民生活の現状や市政に係る意識及び行政への要望を把握するとともに、令和８年度を始期とした新たな第５次三郷市総合計画後期基本計画を中心としたさまざまな計画を策定するにあたり、市民の皆様の率直な声をお聴きするため、実施させていただきました。

皆様から賜りました貴重なご回答を活用させていただき、本市の現状を分析し、将来を見据えた都市経営の柱となる概念や考えを取り入れ、社会情勢の急速な変化に柔軟に対応できるよう心掛けてまいります。

結びに、ご多用の中、本調査にご協力いただきました多くの皆様に厚く御礼を申し上げます。

令和７年２月

三郷市長　木津雅晟

目　次

第１章　調査の概要 ····· 1
１．調査実施の目的 ····· 2
２．調査方法 ····· 2
３．調査結果 ····· 2
４．調査結果を見る上での注意事項 ····· 2

第２章　調査結果の詳細 ····· 3
１．回答者の属性 ····· 4
（１）性別 ····· 4
（２）年齢 ····· 4
（３）職業 ····· 4
（４）通勤・通学先 ····· 5
（５）通勤・通学にかかる時間 ····· 5
（６）通勤・通学の手段 ····· 5
（７）通勤・通学に利用する駅 ····· 6
（８）住まいの形態 ····· 6
（９）家族構成 ····· 6
(10) 子育ての有無 ····· 7
(11) 介護・被介護の有無 ····· 7
(12) 居住年数 ····· 7
(13) 三郷市以前の居住地 ····· 7
(14) 居住地区 ····· 9
２．住みごこちと定住意識について ····· 10
（１）住みごこち ····· 10
（２）居住のきっかけ ····· 12
（３）定住意向 ····· 14
（４）市外に転居したい理由 ····· 16
３．三郷市全体について ····· 17
（１）市への誇りや愛着・親しみ ····· 17
（２）市のイメージについて ····· 19
（３）まちの特徴について ····· 20
（４）まちの将来像 ····· 21
（５）力を入れてほしい分野 ····· 23
（６）公共施設の利用頻度 ····· 25
（７）公共施設の老朽化への対応 ····· 26
４．読書のまち三郷について ····· 28
（１）読書活動の状況 ····· 28
（２）力を入れてほしい読書事業 ····· 30

５．みどりと公園について …… 31
（１）自然や緑の状況 …… 31
（２）地域の公園の状況 …… 32
６．防災について …… 34
（１）災害発生時の避難先 …… 34
（２）避難所運営委員会の認知状況 …… 36
７．福祉について …… 37
（１）市の福祉に関する事柄の認知状況 …… 37
８．健康促進について …… 38
（１）活動頻度 …… 38
（２）活動の理由 …… 40
（３）活動をしない理由 …… 42
（４）1日の平均歩行時間 …… 43
（５）運動の頻度 …… 45
（６）平均運動時間 …… 47
（７）運動の継続年数 …… 49
９．生涯学習、市民活動・ボランティア活動について …… 50
（１）生涯学習活動への参加状況 …… 50
（２）行いたい生涯学習活動 …… 51
（３）市民活動・ボランティア活動への参加状況 …… 51
（４）参加している活動 …… 53
（５）参加したい活動や関心のある活動 …… 55
10. 男女共同参画について …… 57
（１）男女の地位の平等感 …… 57
（２）ワーク・ライフ・バランスの認知状況 …… 58
（３）パートナーから暴力行為を受けた経験 …… 59
（４）相談の有無 …… 59
（５）相談相手 …… 60
11. 広報について …… 61
（１）市の事業やイベント情報の入手先 …… 61
（２）広報みさとの閲覧媒体 …… 63
12. 市職員の印象について …… 64
（１）市職員の印象 …… 64
13. 自由意見 …… 65

第３章　調査票 …… 67
第18回三郷市市民意識調査 調査票（縮尺版） …… 68

第１章　調査の概要

１．調査実施の目的

本調査は、市民生活の現状や市政に係る意識及び行政への要望を把握するとともに、令和８年度を始期とした第５次三郷市総合計画後期基本計画を中心とした各種計画を策定するための基礎資料とすることを目的として実施した。

２．調査方法

調査地域	三郷市全域
調査対象	三郷市在住の満18歳以上の男女2,000名
対象者抽出方法	住民基本台帳により無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収方式（インターネットからの回答も可能）
調査期間	令和６年９月12日（木）～10月３日（木）

３．調査結果

有効回収数	957（郵送761、インターネット196）
有効回収率	47.9％

４．調査結果を見る上での注意事項

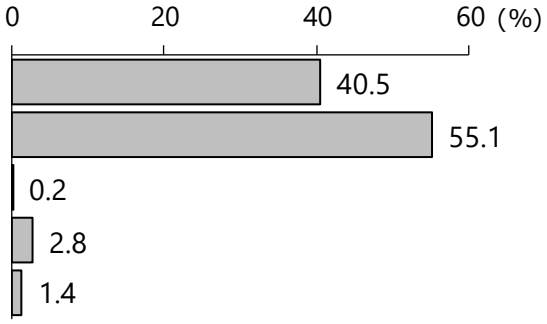
・本文、表、グラフなどに使われる「ｎ」は、各問に対する回答者数。
・百分率（％）の計算は、小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで表示している。したがって、単数回答（１つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
・複数回答（２つ以上選んでよい設問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
・回答数者が30未満の場合、統計上の誤差が大きくなるため本文中ではふれていない。

第２章　調査結果の詳細

１．回答者の属性

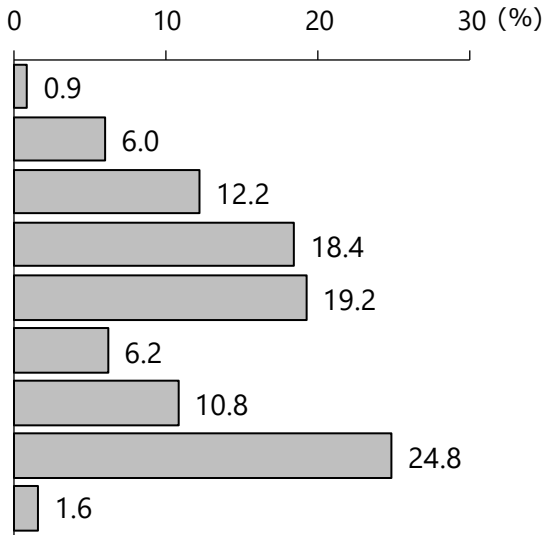
（１）性別

	回答数	構成比
男性	388	40.5%
女性	527	55.1%
その他	2	0.2%
無回答（選択肢）	27	2.8%
無回答	13	1.4%



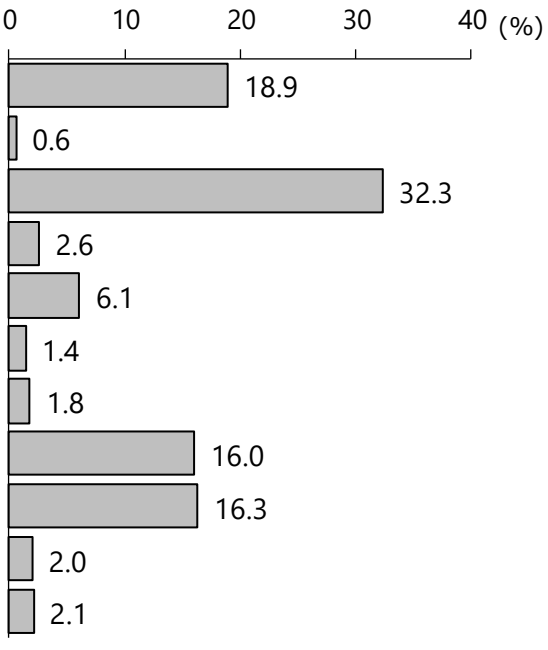
（２）年齢

	回答数	構成比
19歳以下	9	0.9%
20～29歳	57	6.0%
30～39歳	117	12.2%
40～49歳	176	18.4%
50～59歳	184	19.2%
60～64歳	59	6.2%
65～69歳	103	10.8%
70歳以上	237	24.8%
無回答	15	1.6%



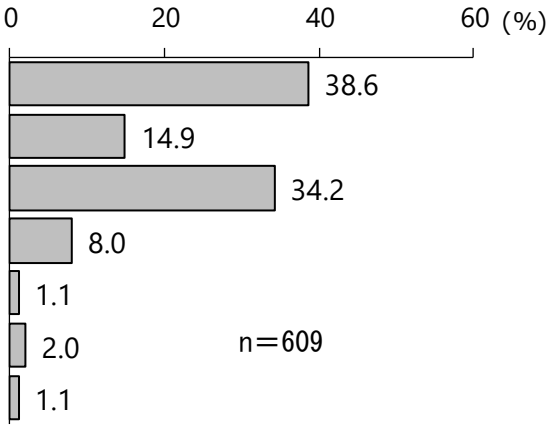
（３）職業

	回答数	構成比
パートタイマー	181	18.9%
農業（主として）	6	0.6%
会社員	309	32.3%
教員・公務員	25	2.6%
自営業（商工業・サービス）	58	6.1%
会社・団体などの役員	13	1.4%
学生	17	1.8%
家事従事者（主婦・主夫など）	153	16.0%
無職	156	16.3%
その他	19	2.0%
無回答	20	2.1%



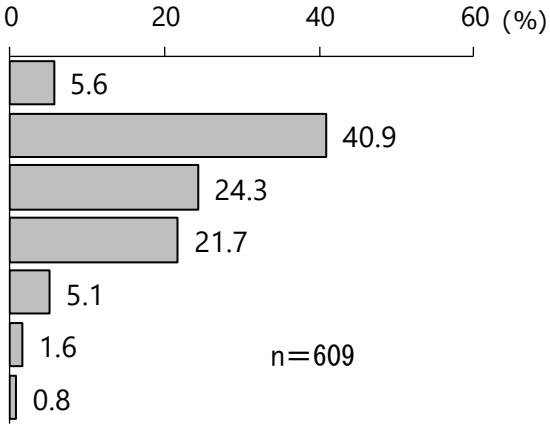
（４）通勤・通学先

	回答数	構成比
三郷市内	235	38.6%
三郷市以外の埼玉県内	91	14.9%
東京都内	208	34.2%
千葉県内	49	8.0%
茨城県内	7	1.1%
その他	12	2.0%
無回答	7	1.1%



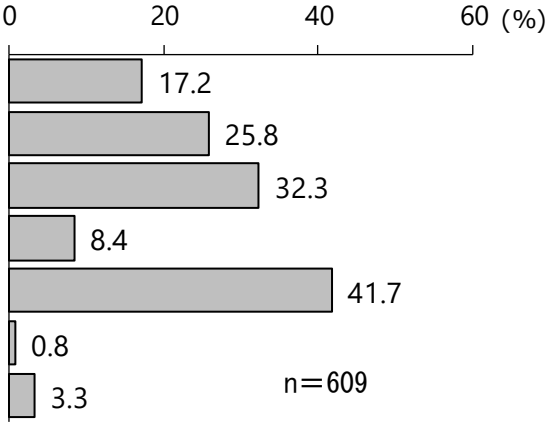
（５）通勤・通学にかかる時間

	回答数	構成比
かからない（自宅）	34	5.6%
30分未満	249	40.9%
30分～１時間未満	148	24.3%
１時間～１時間30分未満	132	21.7%
１時間30分～２時間未満	31	5.1%
２時間以上	10	1.6%
無回答	5	0.8%



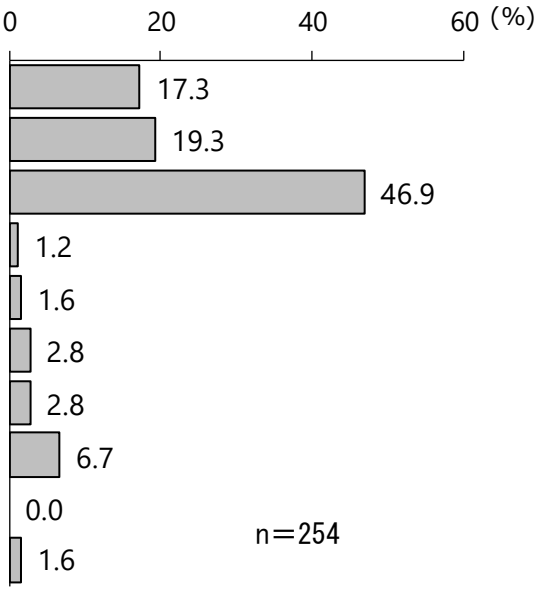
（６）通勤・通学の手段

	回答数	構成比
徒歩	105	17.2%
自転車・バイク	157	25.8%
自家用車	197	32.3%
バス	51	8.4%
鉄道	254	41.7%
その他	5	0.8%
無回答	20	3.3%



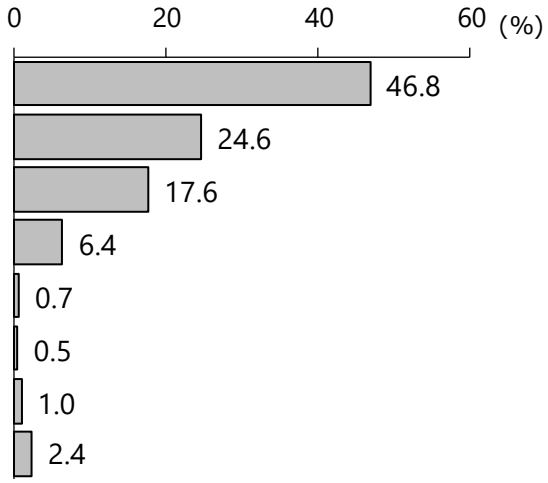
（７）通勤・通学に利用する駅

	回答数	構成比
三郷駅	44	17.3%
新三郷駅	49	19.3%
三郷中央駅	119	46.9%
吉川駅	3	1.2%
吉川美南駅	4	1.6%
八潮駅	7	2.8%
松戸駅	7	2.8%
金町駅	17	6.7%
その他	-	-
無回答	4	1.6%



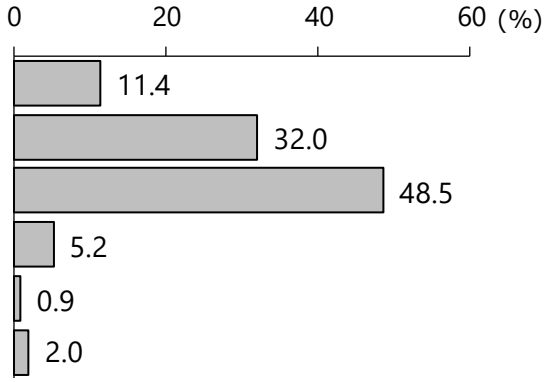
（８）住まいの形態

	回答数	構成比
持ち家（一戸建て）	448	46.8%
持ち家（分譲マンション）	235	24.6%
民間賃貸住宅（マンション・アパート）	168	17.6%
公営賃貸住宅	61	6.4%
社宅	7	0.7%
間借り・下宿	5	0.5%
その他	10	1.0%
無回答	23	2.4%



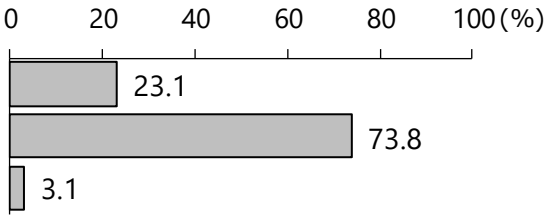
（９）家族構成

	回答数	構成比
単身世帯（ひとり暮らし）	109	11.4%
一世代世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）	306	32.0%
二世代世帯（親子など）	464	48.5%
三世代世帯（親と子と孫など）	50	5.2%
その他	9	0.9%
無回答	19	2.0%



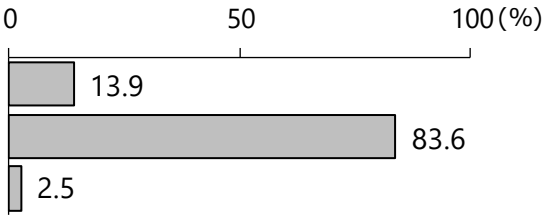
（10）子育ての有無

	回答数	構成比
はい	221	23.1%
いいえ	706	73.8%
無回答	30	3.1%



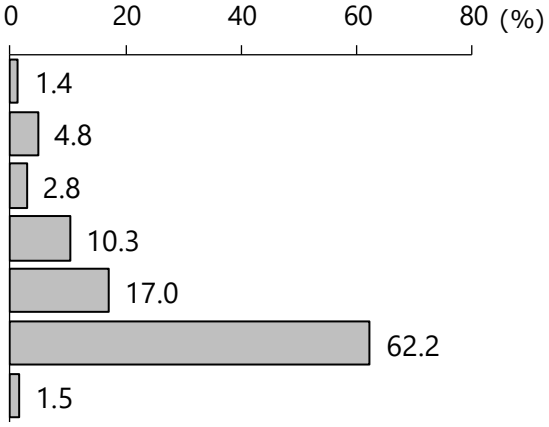
（11）介護・被介護の有無

	回答数	構成比
はい	133	13.9%
いいえ	800	83.6%
無回答	24	2.5%



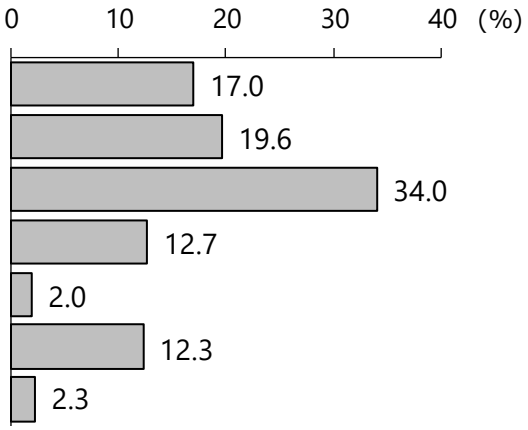
（12）居住年数

	回答数	構成比
１年未満	13	1.4%
１～３年未満	46	4.8%
３～５年未満	27	2.8%
５～10年未満	99	10.3%
10～20年未満	163	17.0%
20年以上	595	62.2%
無回答	14	1.5%

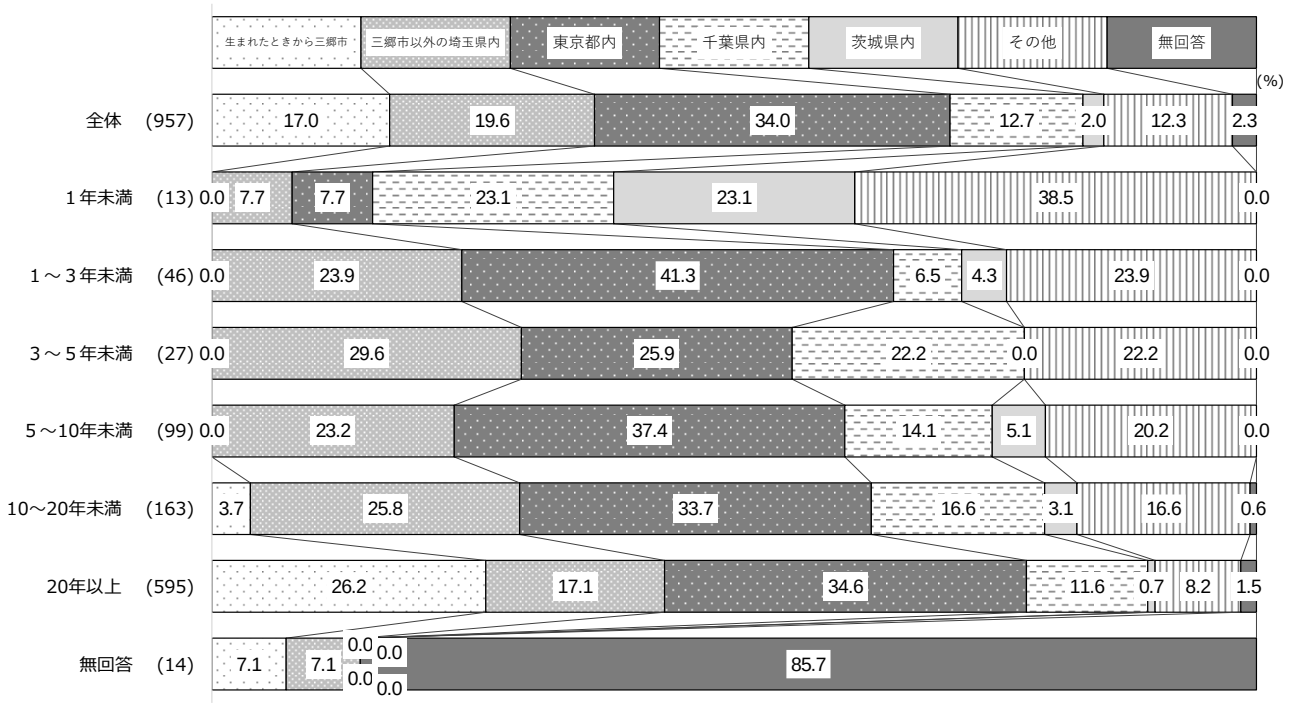


（13）三郷市以前の居住地

	回答数	構成比
生まれたときから三郷市	163	17.0%
三郷市以外の埼玉県内	188	19.6%
東京都内	325	34.0%
千葉県内	122	12.7%
茨城県内	19	2.0%
その他	118	12.3%
無回答	22	2.3%

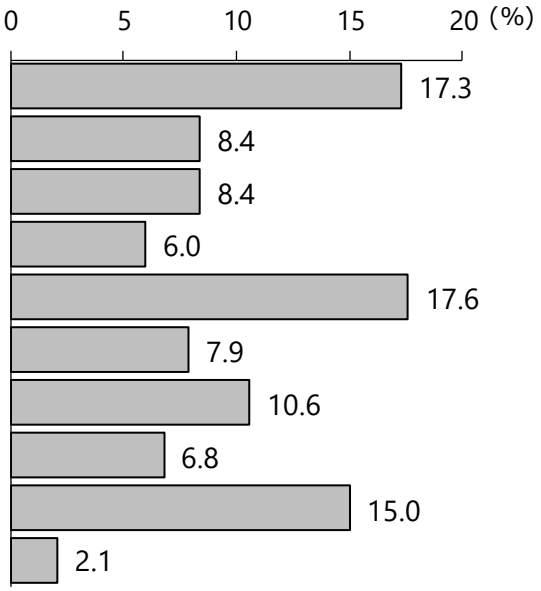


○三郷市以前の居住地区／居住年数別



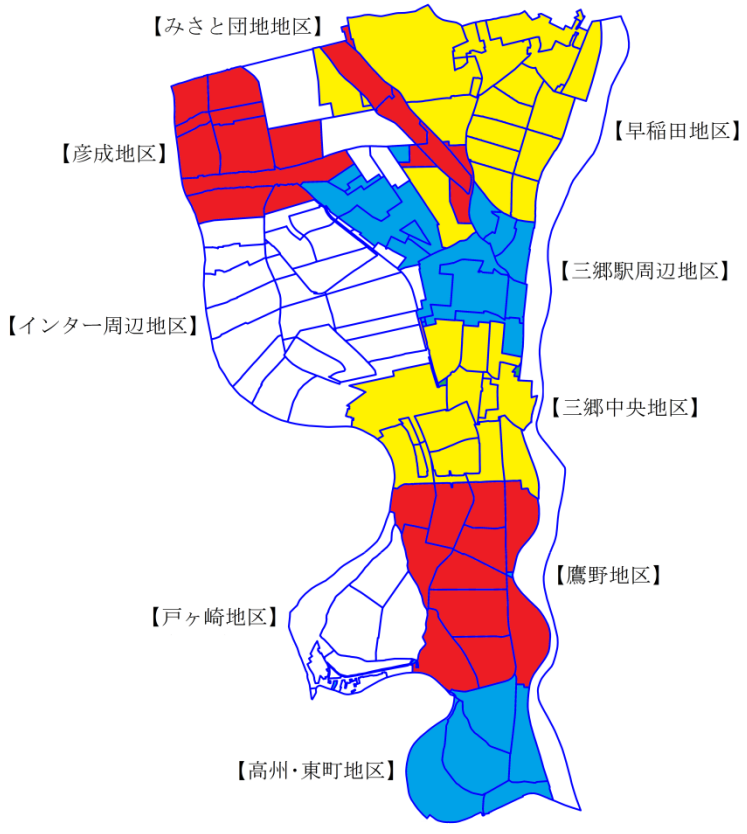
（14）居住地区

	回答数	構成比
早稲田地区	166	17.3%
彦成地区	80	8.4%
三郷駅周辺地区	80	8.4%
インター周辺地区	57	6.0%
三郷中央地区	168	17.6%
鷹野地区	76	7.9%
戸ヶ崎地区	101	10.6%
東町・高州地区	65	6.8%
みさと団地地区	144	15.0%
無回答	20	2.1%



※地区割りについて

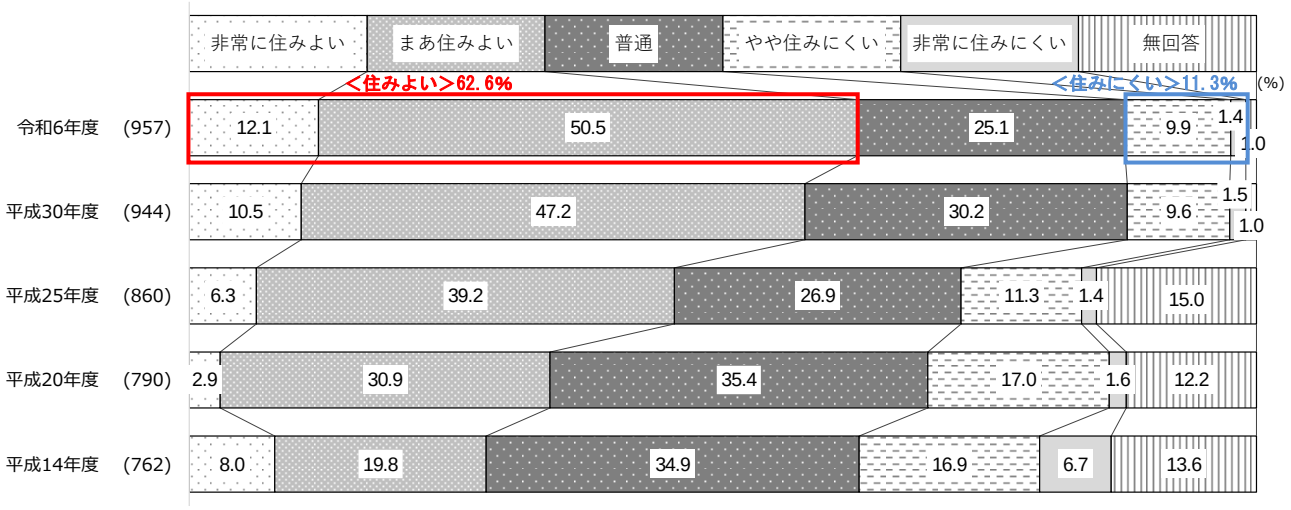
【早稲田地区】半田、小谷堀、前間、後谷、田中新田、丹後、大広戸、彦成５丁目、早稲田
【彦成地区】仁蔵、下彦川戸、上彦川戸、上彦名、彦成１～４丁目（みさと団地を除く）、
彦音、彦糸、采女、彦川戸、新三郷ららシティ
【三郷駅周辺地区】茂田井、幸房、岩野木、笹塚、南蓮沼、駒形、三郷
【インター周辺地区】花和田、彦江、彦沢、番匠免、上口、彦倉、彦野、泉、天神、ピアラシティ
【三郷中央地区】谷中、市助、谷口、新和１・２丁目、栄１・２丁目、中央
【鷹野地区】新和３～５丁目、栄３～５丁目、鷹野
【戸ヶ崎地区】寄巻、鎌倉、戸ヶ崎
【東町・高州地区】東町、高州
【みさと団地地区】みさと団地、さつき平



２．住みごこちと定住意識について

（１）住みごこち

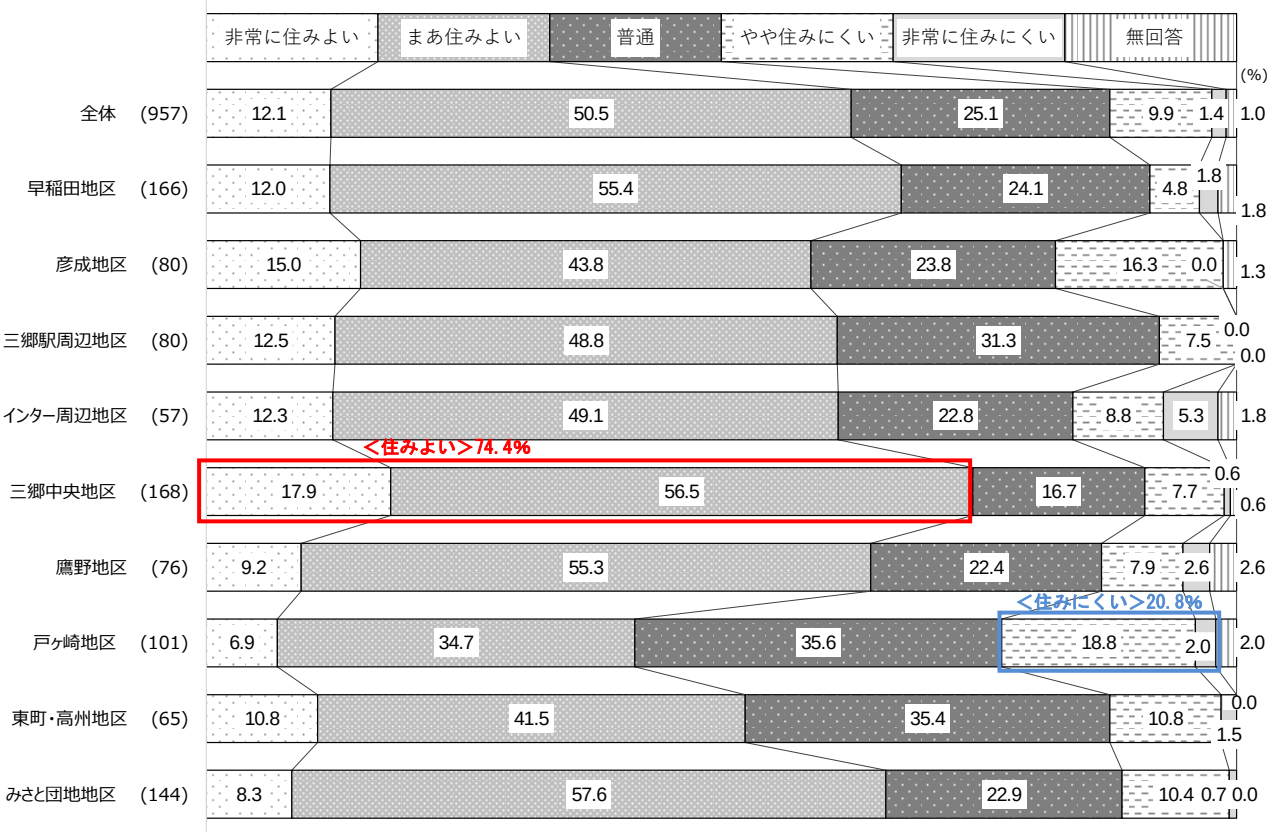
問１　あなたにとって、現在の三郷市の住みごこちはいかがですか。（１つに○）



現在の三郷市の住みごこちは、「まあ住みよい」が50.5%と最も高く、「非常に住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた＜住みよい＞は62.6%で６割を超えている。一方、「やや住みにくい」と「非常に住みにくい」を合わせた＜住みにくい＞は11.3%となっている。また、「普通」は25.1%となっている。

経年比較でみると、＜住みよい＞は、平成14年度が27.8%、平成20年度が33.8%、平成25年度が45.5%、平成30年度が57.7%、令和6年度が62.6%と調査のたびに増加している。＜住みにくい＞は平成14年度が23.6%、平成20年度が18.6%と２割前後で推移していたものの、平成25年度以降は１割程度にとどまっている。

○住みごこち（居住地区別）

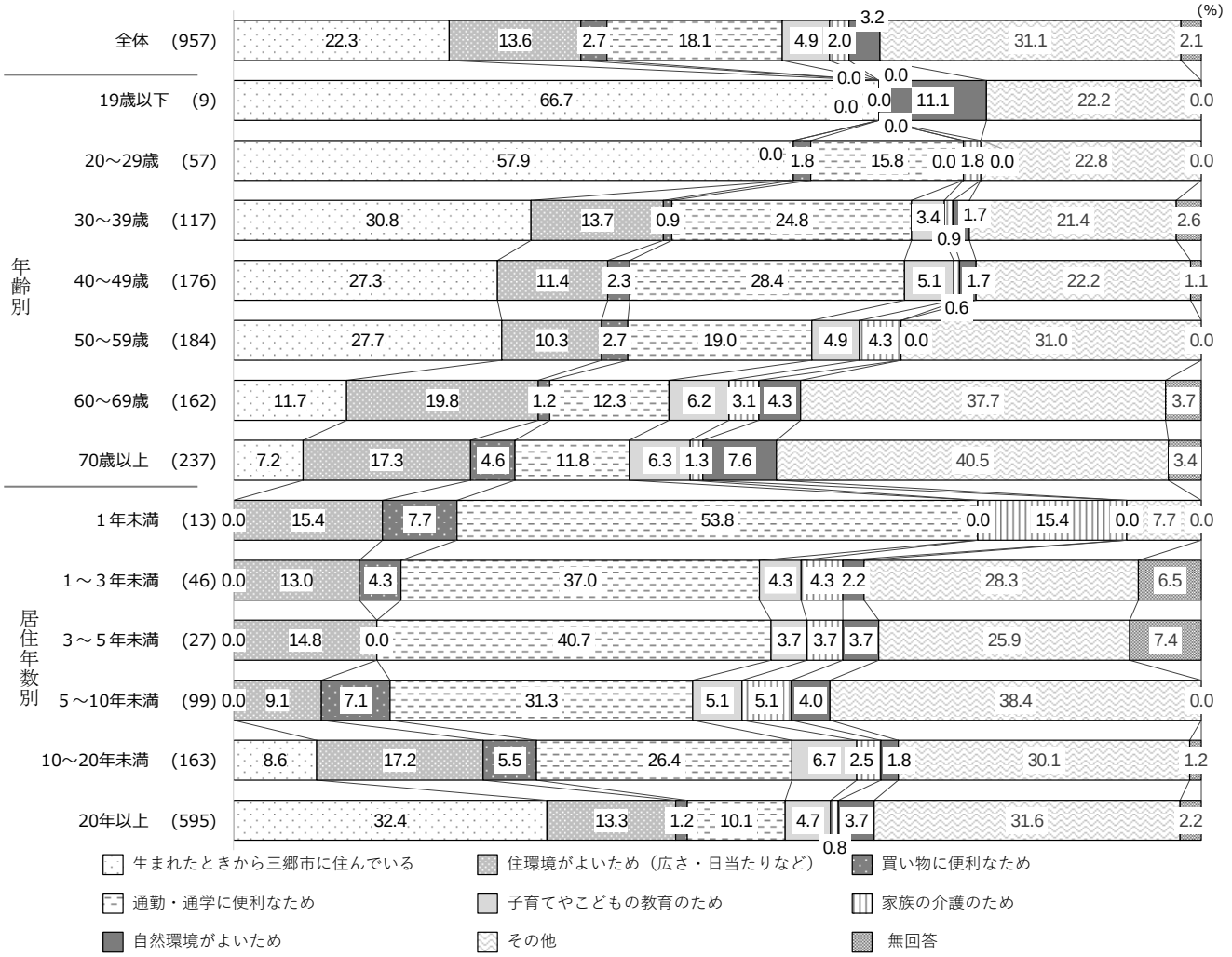


居住地区別でみると、＜住みよい＞は三郷中央地区が74.4％と最も高く、７割を超えている。次いで早稲田地区が67.4％、みさと団地地区が65.9％となっている。全ての地区で、＜住みよい＞は＜住みにくい＞を上回っている。なお「非常に住みよい」は、三郷中央地区が17.9％と最も高く、次いで彦成地区が15.0％となっている。＜住みにくい＞をみると、戸ヶ崎地区が20.8％と、２割を超えて最も高くなっている。

（２）居住のきっかけ

問２　あなたが三郷市にお住まいになったきっかけは、次のうちどれですか。（１つに○）

○ 居住のきっかけ（年齢別／居住年数別）



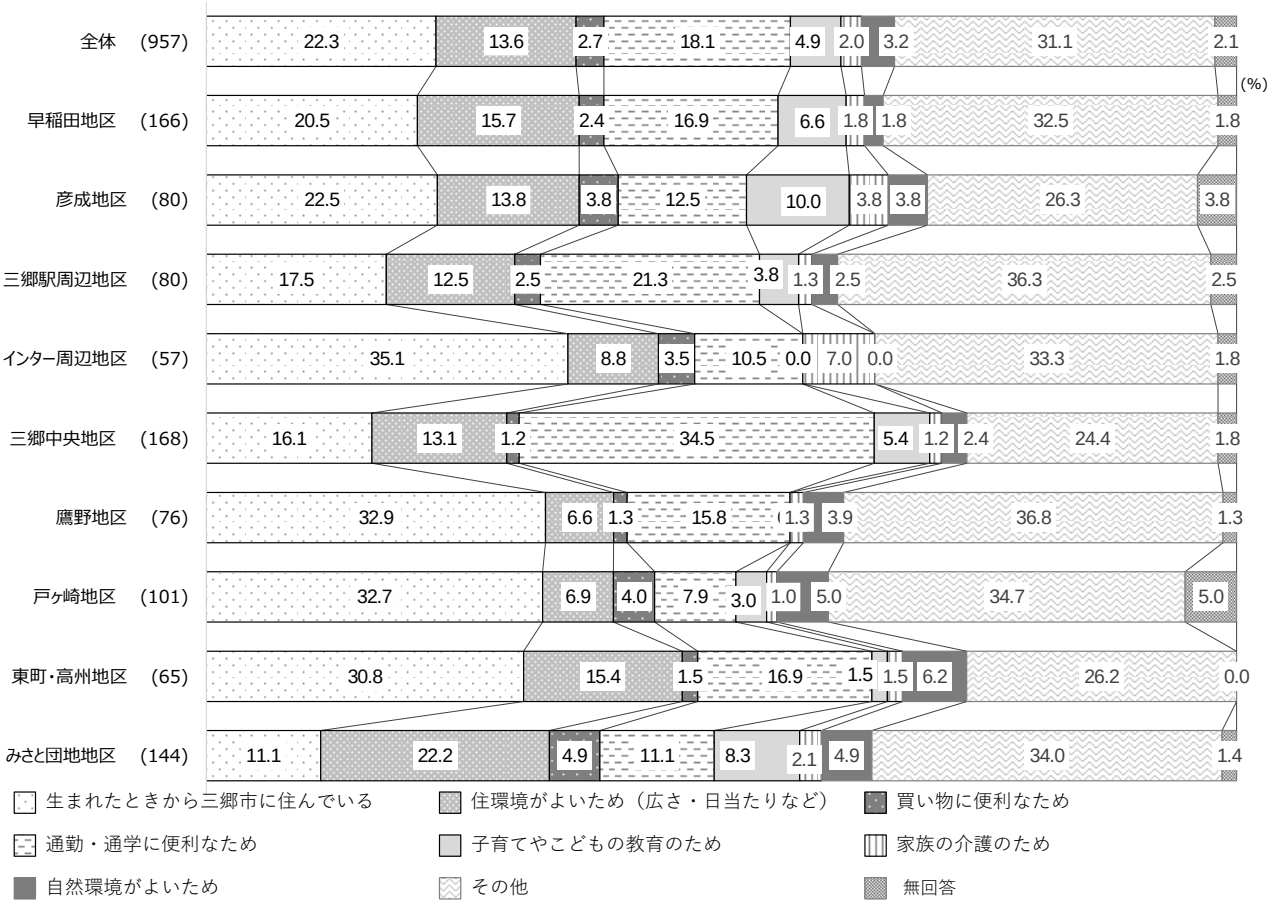
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

三郷市に居住したきっかけは、「通勤・通学に便利なため」が18.1%、「住環境がよいため（広さ・日当たりなど)」が13.6%となっている。なお「生まれたときから三郷市に住んでいる」が22.3%と最も高くなっている。その他の回答では、結婚、家の購入や家族が住んでいるなどが多く見られた。

年齢別でみると、「通勤・通学に便利なため」は40～49歳が28.4%と最も高く、次いで30～39歳が24.8%、50～59歳が19.0%となっている。「住環境がよいため（広さ・日当たりなど)」は60～69歳が19.8%と最も高く、次いで70歳以上が17.3%、30～39歳が13.7%となっている。なお「生まれたときから三郷市に住んでいる」は若年層ほど高い傾向がみられ、29歳以下では約６割を占めている。

居住年数別でみると、「通勤・通学に便利なため」は20年未満で３～５割を占める。また、「生まれたときから三郷市に住んでいる」は20年以上が32.4%と最も高くなっている。

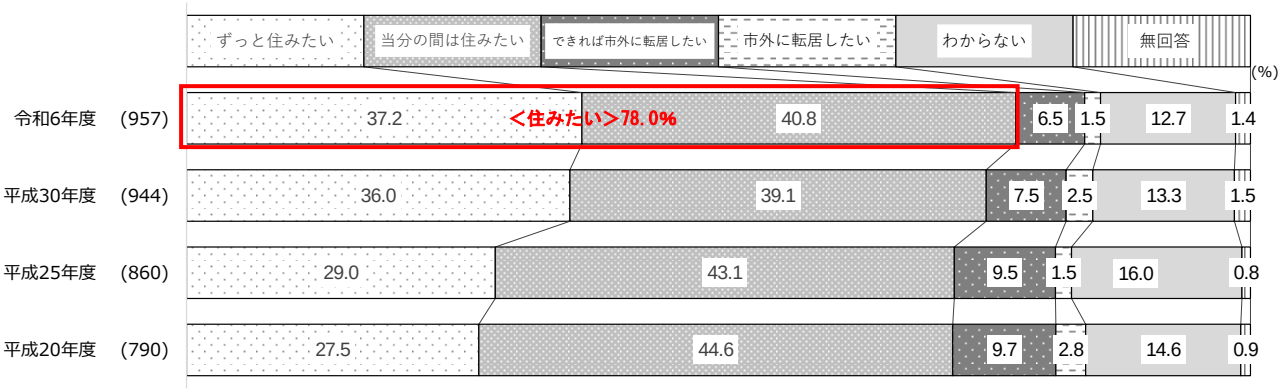
○ 居住のきっかけ（居住地区別）



居住地区別でみると、「通勤・通学に便利なため」は、三郷中央地区が最も高く34.5%、次いで三郷駅周辺地区が21.3%となっている。「住環境がよいため（広さ・日当たりなど)」はみさと団地地区が22.2%と最も高く、次いで早稲田地区が15.7%となっている。なお「生まれたときから三郷市に住んでいる」は、インター周辺地区が35.1%、鷹野地区が32.9%、戸ヶ崎地区が32.7%、東町・高州地区が30.8%となり、３割を超えている。

（３）定住意向

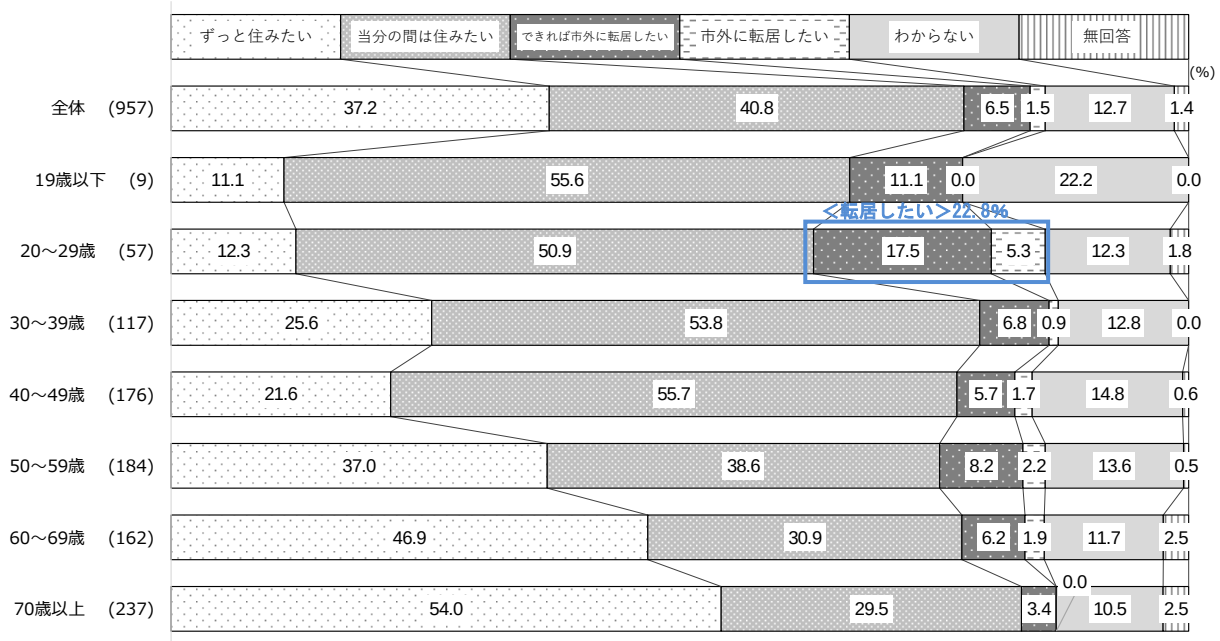
問３　あなたは、これからも三郷市に住みたいと思いますか。（１つに○）



三郷市の定住意向は、「当分の間は住みたい」が40.8%で最も高く、「ずっと住みたい」の37.2%と合わせた＜住みたい＞は78.0%と７割を超えている。一方、「できれば市外に転居したい」と「市外に転居したい」を合わせた＜転居したい＞は8.0%となっている。＜住みたい＞が＜転居したい＞を70.0ポイント上回っている。

経年比較でみると、＜住みたい＞は、平成20年度が72.1%、平成25年度が72.1%、平成30年度が75.1%、令和6年度が78.0%と調査のたびに徐々に増加している。＜住みたい＞が＜転居したい＞を大きく上回る傾向が続いている。

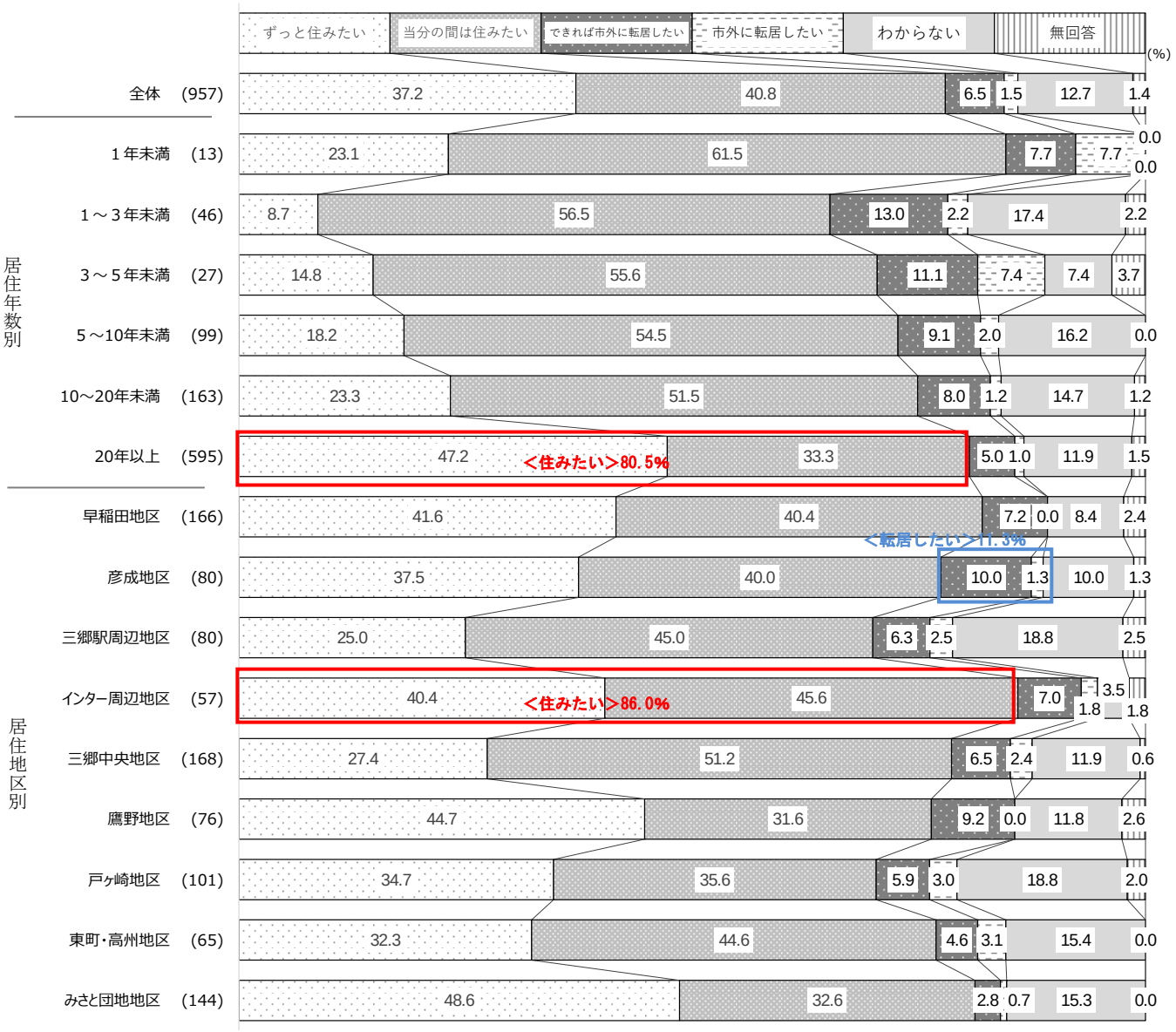
○定住意向（年齢別）



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別でみると、高齢層ほど「ずっと住みたい」が概ね高い傾向にある。特に70歳以上では「ずっと住みたい」が54.0%と５割を超えている。＜住みたい＞は、30歳以上では８割程度となっている。一方、＜転居したい＞は20～29歳が22.8%と最も高くなっている。

○定住意向（居住年数別／居住地区別）



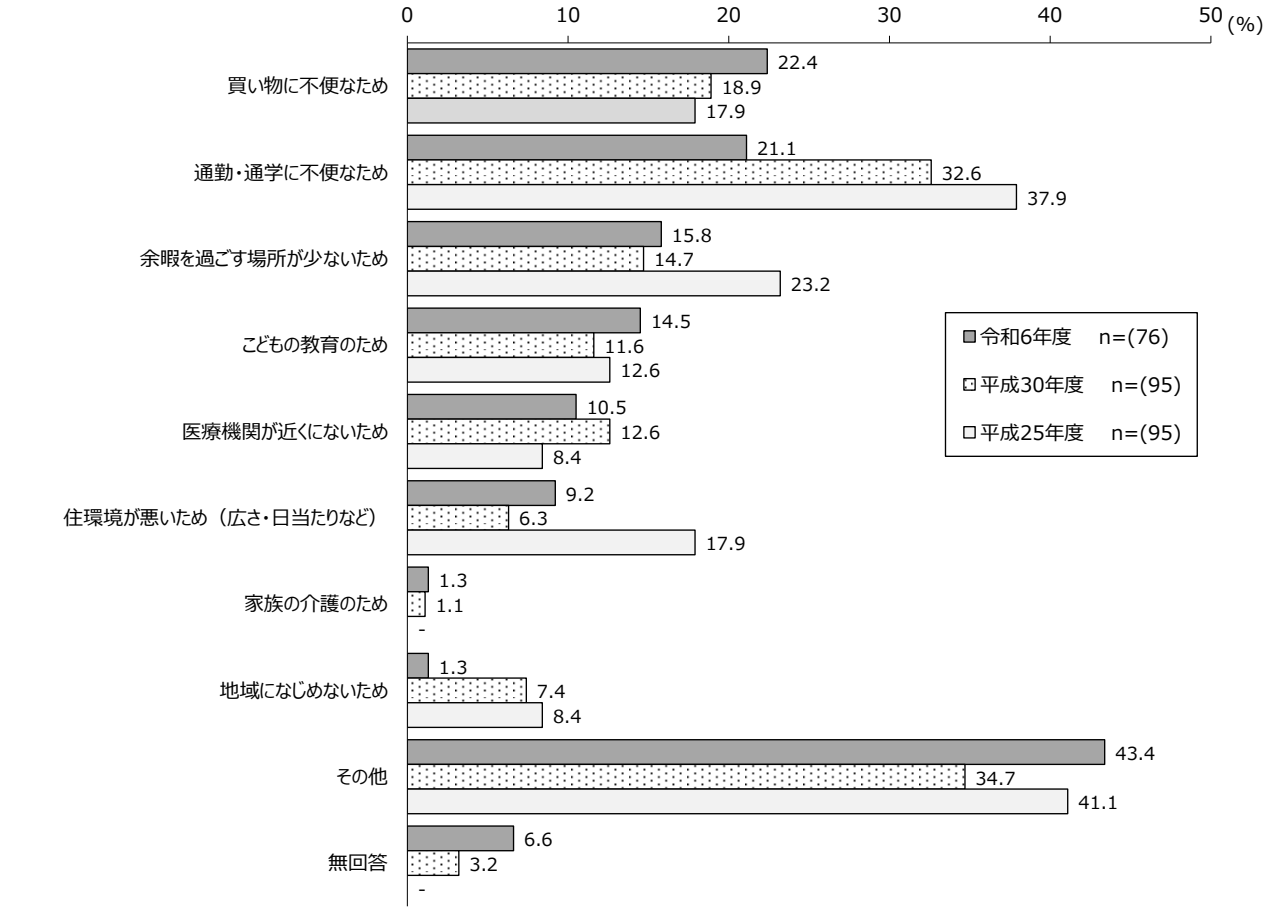
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

居住年数別でみると、１年未満と３～５年未満を除くと、＜住みたい＞は居住年数が長いほど概ね高い傾向が見られ、20年以上では80.5%と８割を超えている。一方、＜転居したい＞はすべての年数で１～２割にとどまっている。

居住地区別でみると、＜住みたい＞はインター周辺地区が86.0%と最も高く、次いで早稲田地区が82.0%、みさと団地地区が81.2%となっている。それ以外の地区でも７割を超えている。＜転居したい＞は彦成地区が11.3%と最も高くなっている。それ以外の地区は１割未満にとどまっている。

（４）市外に転居したい理由

問３－１　市外に転居したい理由は、次のうちどれですか。（２つ以内で〇）



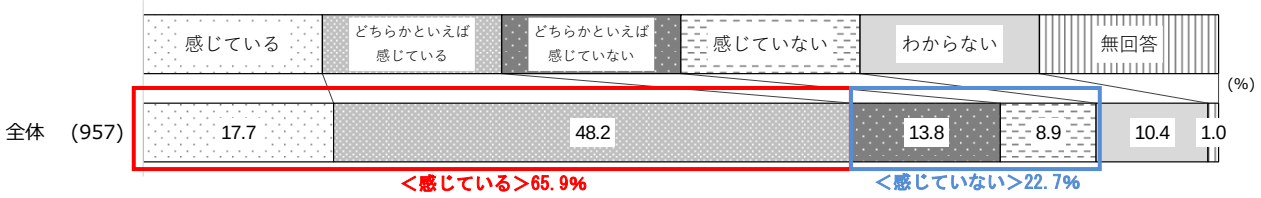
問３で「できれば市外に転居したい」または「市外に転居したい」と回答したかたの転居したい理由は、「買い物に不便なため」が22.4％と最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」が21.1％、「余暇を過ごす場所が少ないため」が15.8％となっている。また、「その他」の内容として、交通の便がよくない、地元に帰る、道路の状態が良くないなどがあげられる。

経年比較でみると、平成25年度と平成30年度では最も高かった「通勤・通学に不便なため」は調査の度に減少している。一方、「買い物に不便なため」は徐々に増加している。

３．三郷市全体について

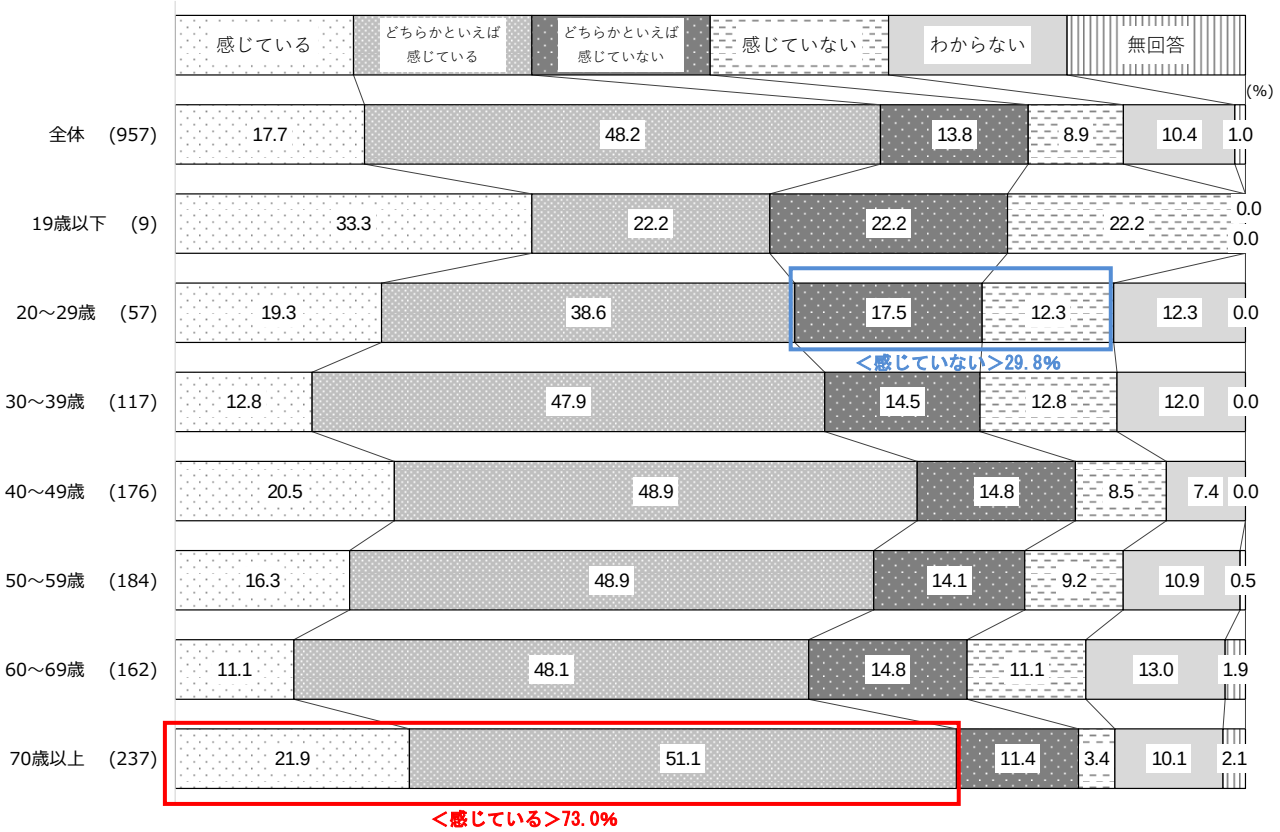
（１）市への誇りや愛着・親しみ

問４　あなたは、三郷市に誇りや愛着・親しみを感じていますか。（１つに○）



三郷市に誇りや愛着・親しみを感じているかは、「どちらかといえば感じている」が48.2%と最も高く、「感じている」と合わせた＜感じている＞は65.9%と６割を超えている。一方、「どちらかといえ感じていない」と「感じていない」を合わせた＜感じていない＞は22.7%で、＜感じている＞が＜感じていない＞を43.2ポイント上回っている。また、「わからない」は10.4%となっている。

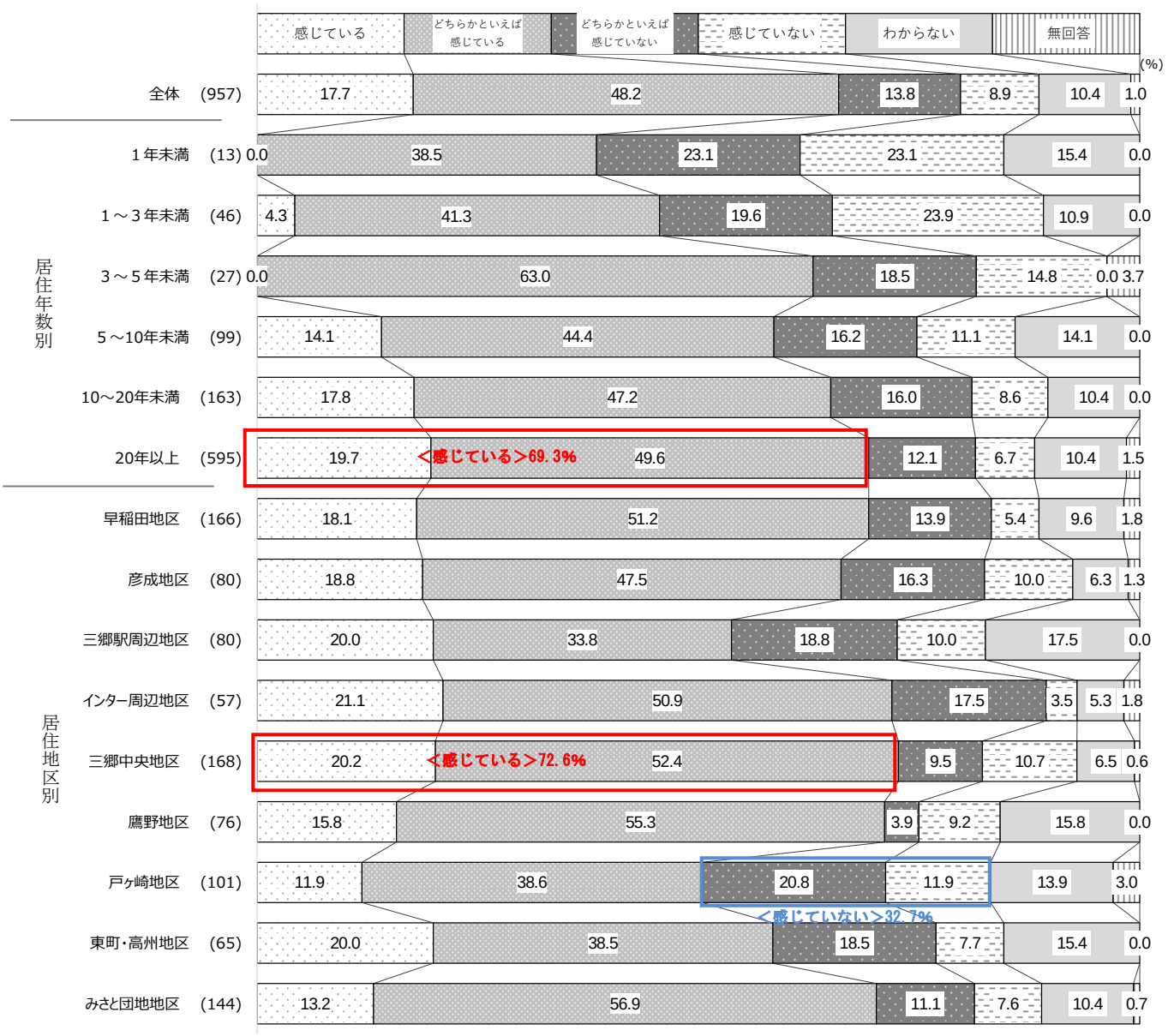
○市への誇りや愛着・親しみ（年齢別）



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別でみると、＜感じている＞は70歳以上が73.0%と最も高く、他の年齢層でも５割を超えている。一方、＜感じていない＞は20～29歳が29.8%と最も高く、次いで30～39歳が27.3%となっている。全ての年代で＜感じている＞は＜感じていない＞より高くなっている。

○市への誇りや愛着・親しみ（居住年数別／居住地区別）



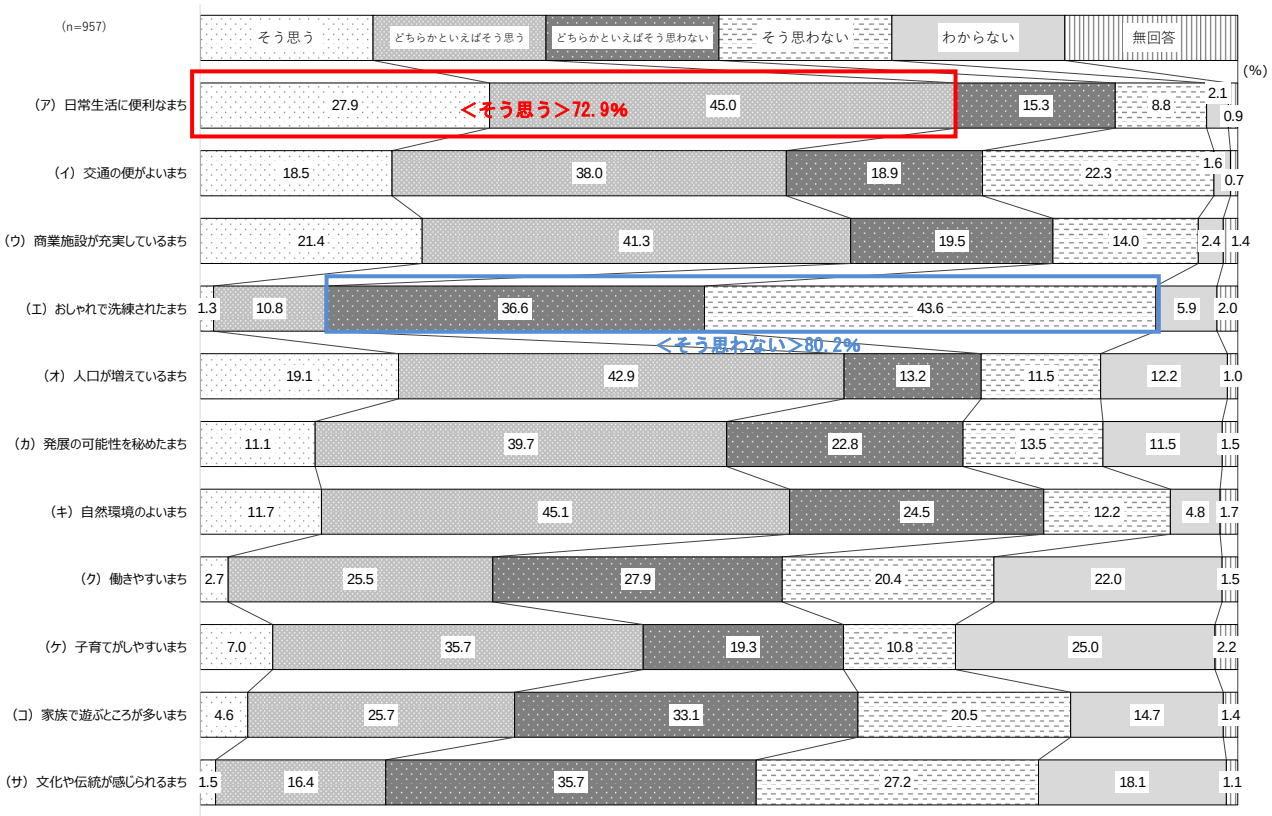
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

居住年数別でみると、＜感じている＞は20年以上が69.3%、10～20年未満が65.0%となっている。

居住地区別でみると、＜感じている＞は三郷中央地区が72.6%と最も高く、次いでインター周辺地区が72.0%、鷹野地区が71.1%となっている。最も低い戸ヶ崎地区が50.5%となり、最も高い三郷中央地区とは20ポイント以上の差がついている。また、＜感じていない＞は戸ヶ崎地区が32.7%と最も高くなっている。

（２）市のイメージについて

問５　あなたは三郷市のイメージについて、どのようにお考えですか。（ア）～（サ）の各項目ごとにお答えください。（それぞれの項目で、１つに○）



三郷市のイメージは、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた＜そう思う＞では、『日常生活に便利なまち』が72.9％で７割を超えて最も高くなっている。次いで『商業施設が充実しているまち』が62.7％、『人口が増えているまち』が62.0％で６割を超えている。一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた＜そう思わない＞では、『おしゃれで洗練されたまち』が80.2％で8割を超え、次いで『文化や伝統が感じられるまち』が62.9％、『家族で遊ぶところが多いまち』が53.6％となっている。

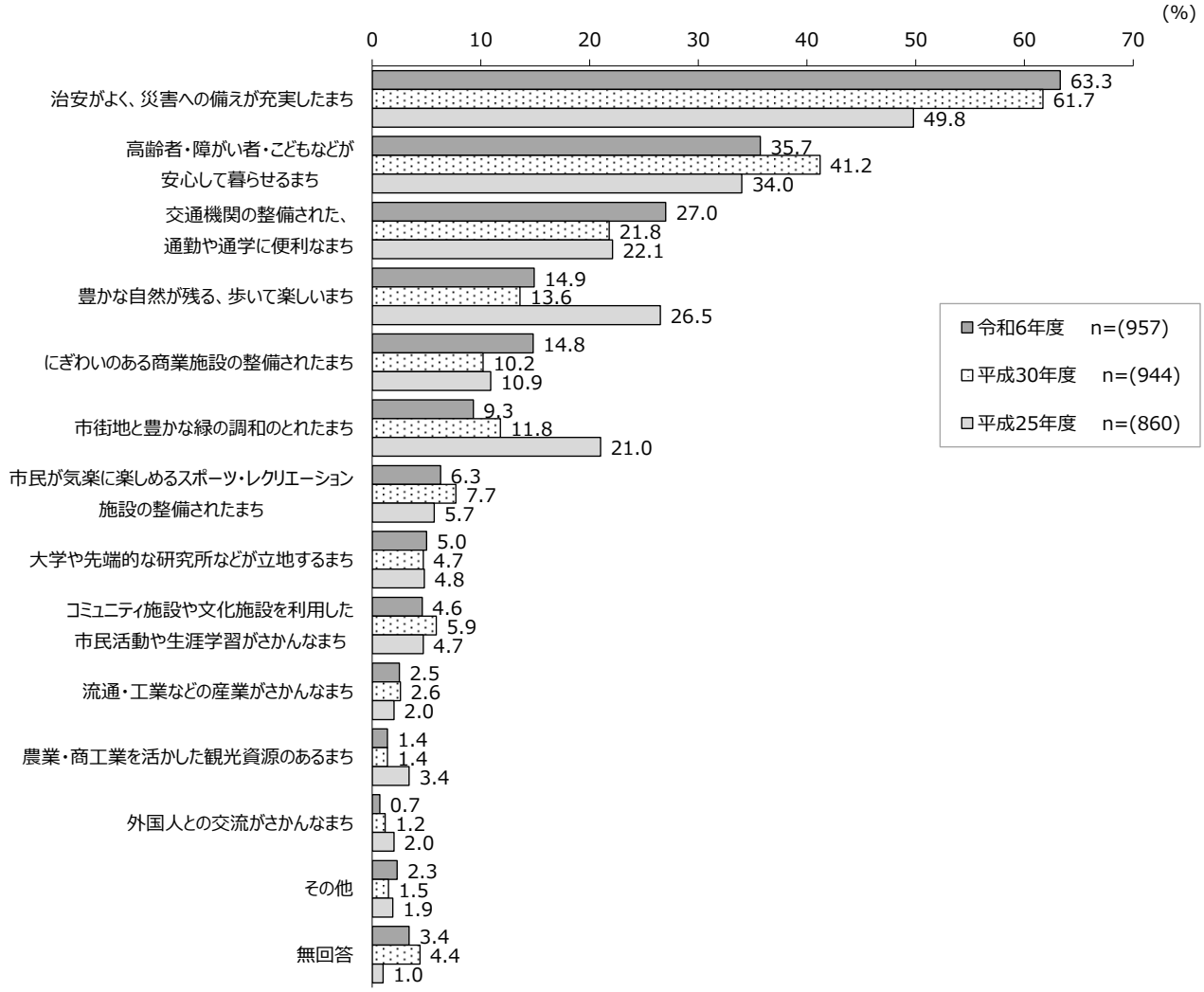
（３）まちの特徴について

問６　あなたは、三郷のまちの特徴について魅力を感じていますか。（ア）～（コ）の各項目ごとにお答えください。（それぞれの項目で、１つに○）

三郷のまちの特徴は、「魅力を感じる」と「どちらかといえば魅力を感じる」を合わせた＜魅力を感じる＞では『高速道路を利用した交通の利便性』が78.9％と最も高く、次いで『大型商業施設のあるまち』が63.9％となっている。一方、「魅力を感じない」と「どちらかといえば魅力を感じない」を合わせた＜魅力を感じない＞では『地域に伝わる伝統的な祭礼』が28.4％と最も高くなっている。

（４）まちの将来像

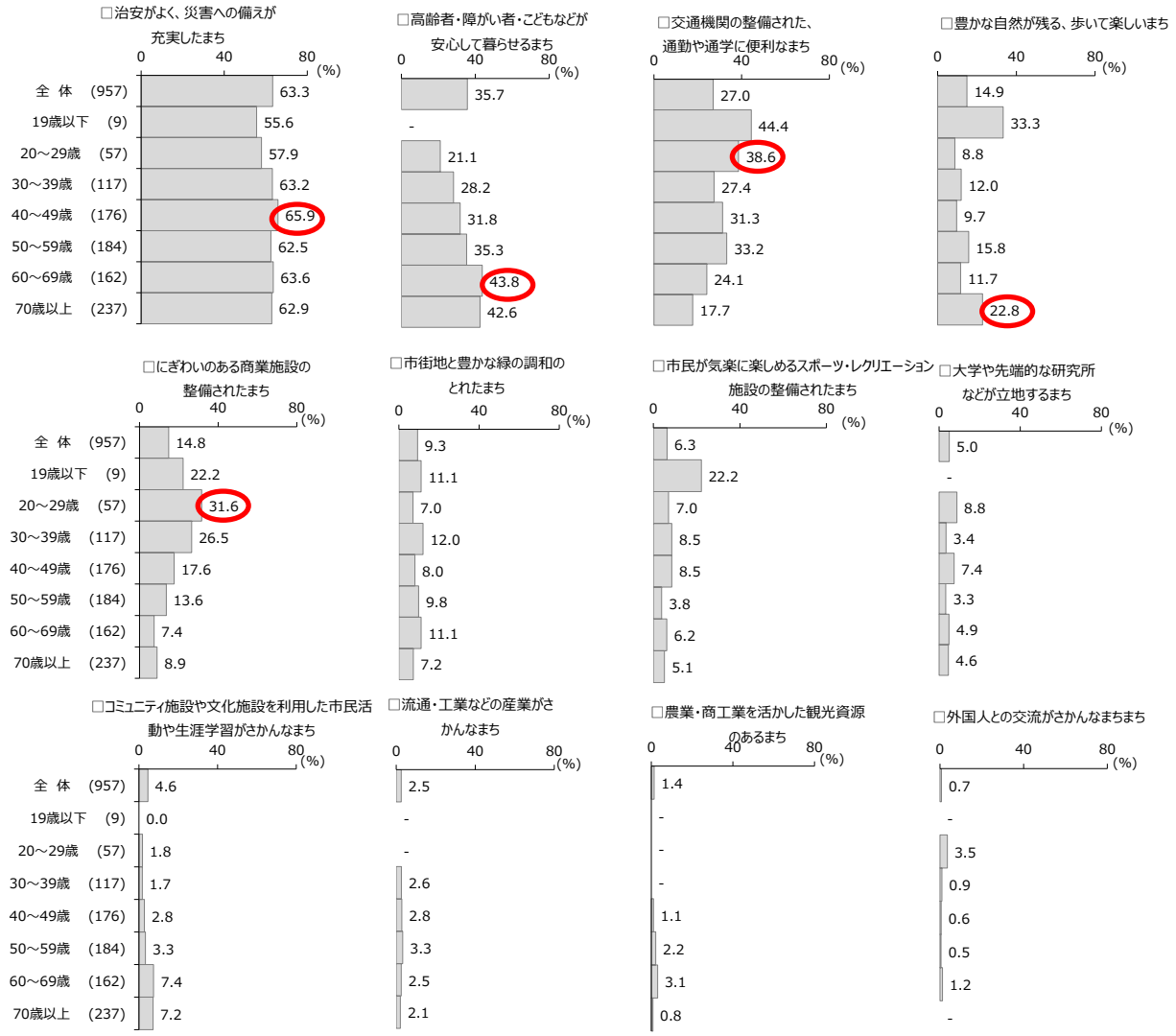
問７　あなたは、将来の三郷市がどのようなまちになってほしいと思いますか。
（２つ以内で○）



将来の三郷市がどのようなまちになってほしいかは、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」が63.3％と最も高く、次いで「高齢者・障がい者・こどもなどが安心して暮らせるまち」が35.7％、「交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち」が27.0％となっている。

平成30年度と比較すると、上位４項目の順位は同じとなっている。２位の「高齢者・障がい者・こどもなどが安心して暮らせるまち」は5.5ポイント減少している。一方、３位の「交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち」は5.2ポイント増加している。

○まちの将来像（年齢別）

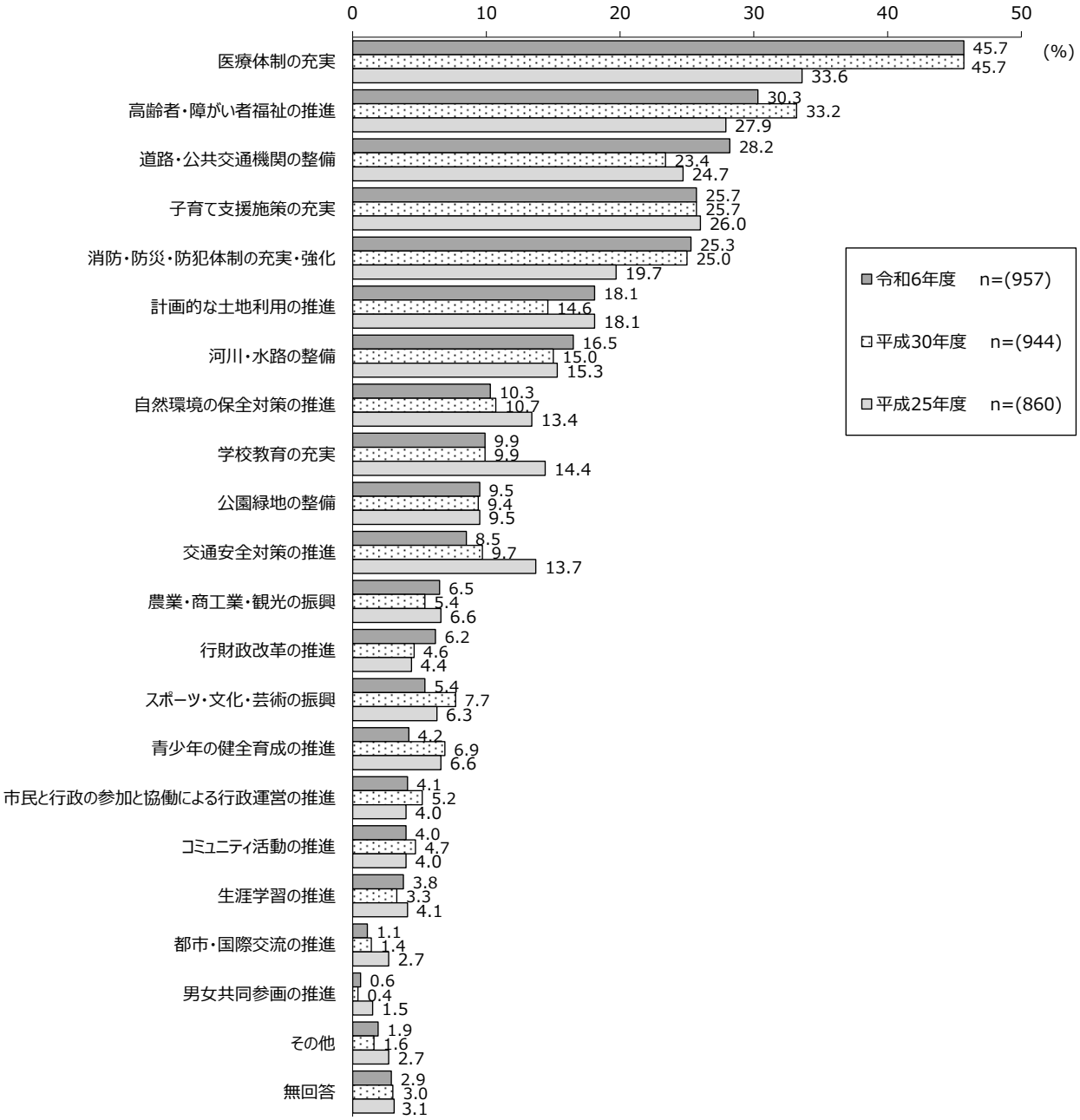


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別でみると、「治安がよく、災害への備えが充実したまち」は40～49歳が65.9％と最も高く、他の年齢層でも５割を超えている。「高齢者・障がい者・こどもなどが安心して暮らせるまち」は60～69歳が43.8％と最も高く、次いで70歳以上が42.6％と、高齢層では４割を超えている。「交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち」は20～29歳が38.6％と最も高くなっている。「豊かな自然が残る、歩いて楽しいまち」は70歳以上が22.8％と最も高くなっている。また、「にぎわいのある商業施設の整備されたまち」は20～29歳が31.6％と最も高く、次いで30～39歳が26.5％となっている一方で、60歳以上では１割以下となっている。

（５）力を入れてほしい分野

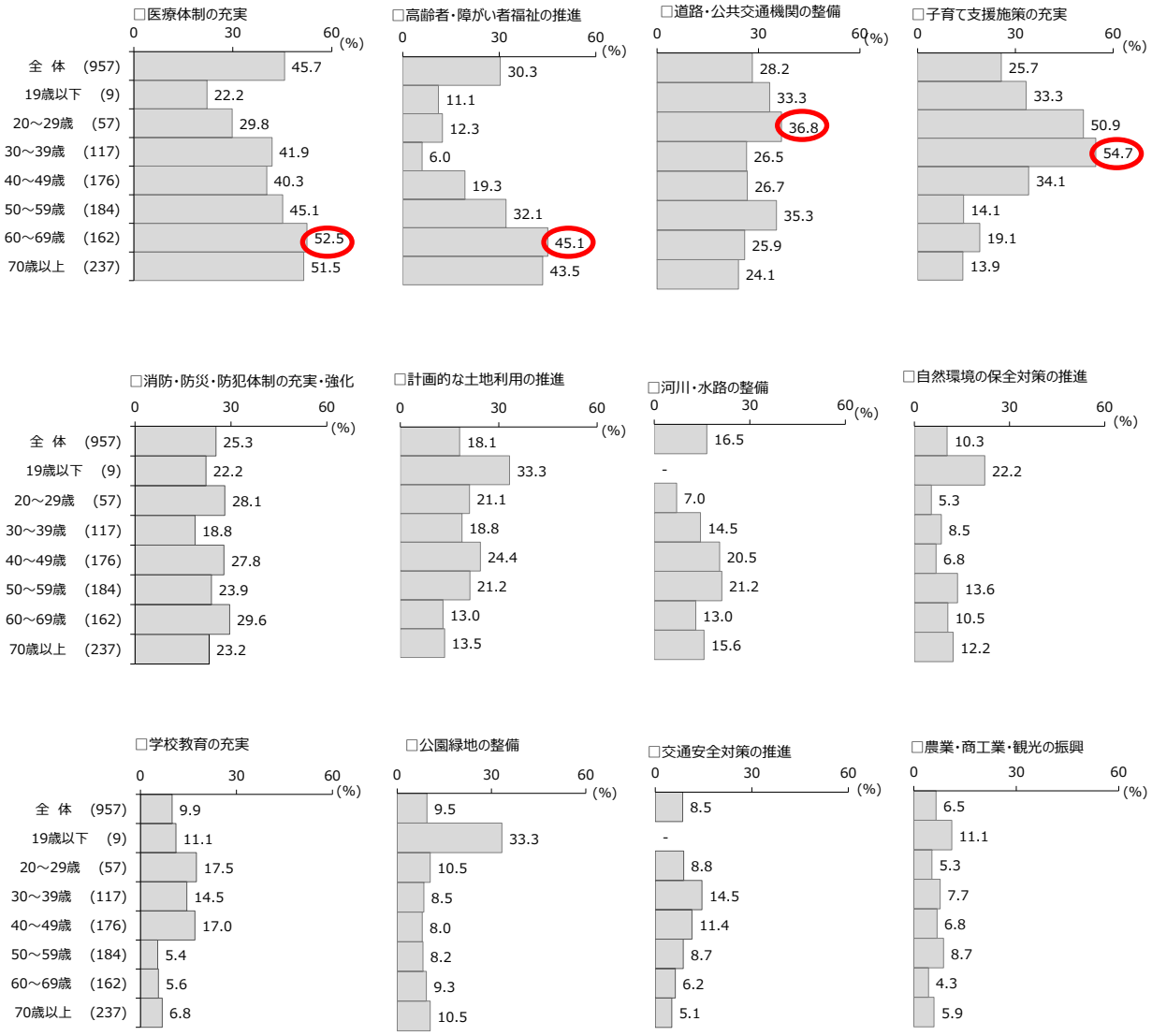
問８　あなたの考える将来の三郷市を実現するためには、今後、市としてどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。（３つ以内で○）



今後、市として力を入れてほしい分野は、「医療体制の充実」が45.7％と最も高く、次いで「高齢者・障がい者福祉の推進」が30.3％、「道路・公共交通機関の整備」が28.2％、「子育て支援施策の充実」が25.7％、「消防・防災・防犯体制の充実・強化」が25.3％、となっている。

経年比較では、平成30年度比では上位２項目の順位は同じとなった。２位の「高齢者・障がい者福祉の推進」は2.9ポイント減少している。一方で３位の「道路・公共交通機関の整備」は4.8ポイント増加している。

○力を入れてほしい分野（年齢別）

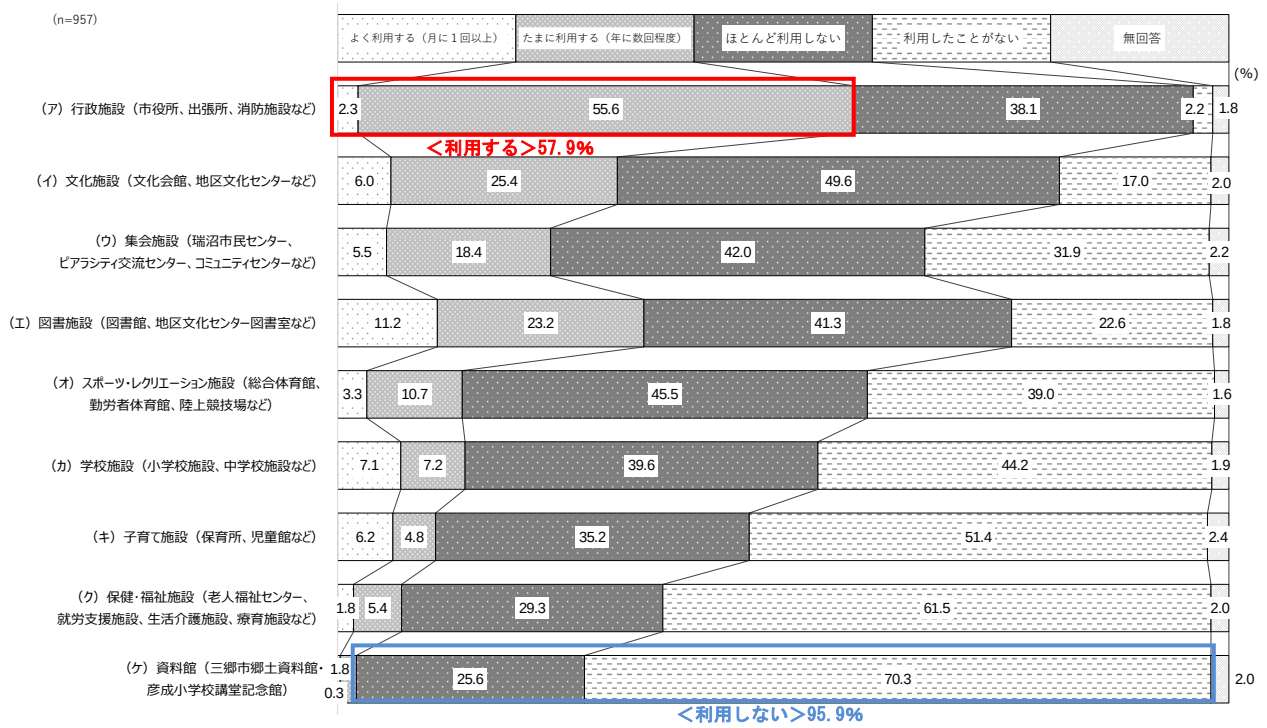


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別でみると、「医療体制の充実」は60～69歳が52.5％と最も高く、次いで70歳以上が51.5％となり、60歳以上では５割を超えている。また、「高齢者・障がい者福祉の推進」は60～69歳が45.1％と最も高く、次いで70歳以上が43.5％となっている。「道路・公共交通機関の整備」は20～29歳が36.8％と最も高く、次いで50～59歳が35.3％となっている。「子育て支援施策の充実」は30～39歳が54.7％と最も高く、次いで20～29歳が50.9％となっており、その他の年代よりも10ポイント以上高くなっている。また、「消防・防災・防犯体制の充実・強化」は概ね２～３割となった。

（６）公共施設の利用頻度

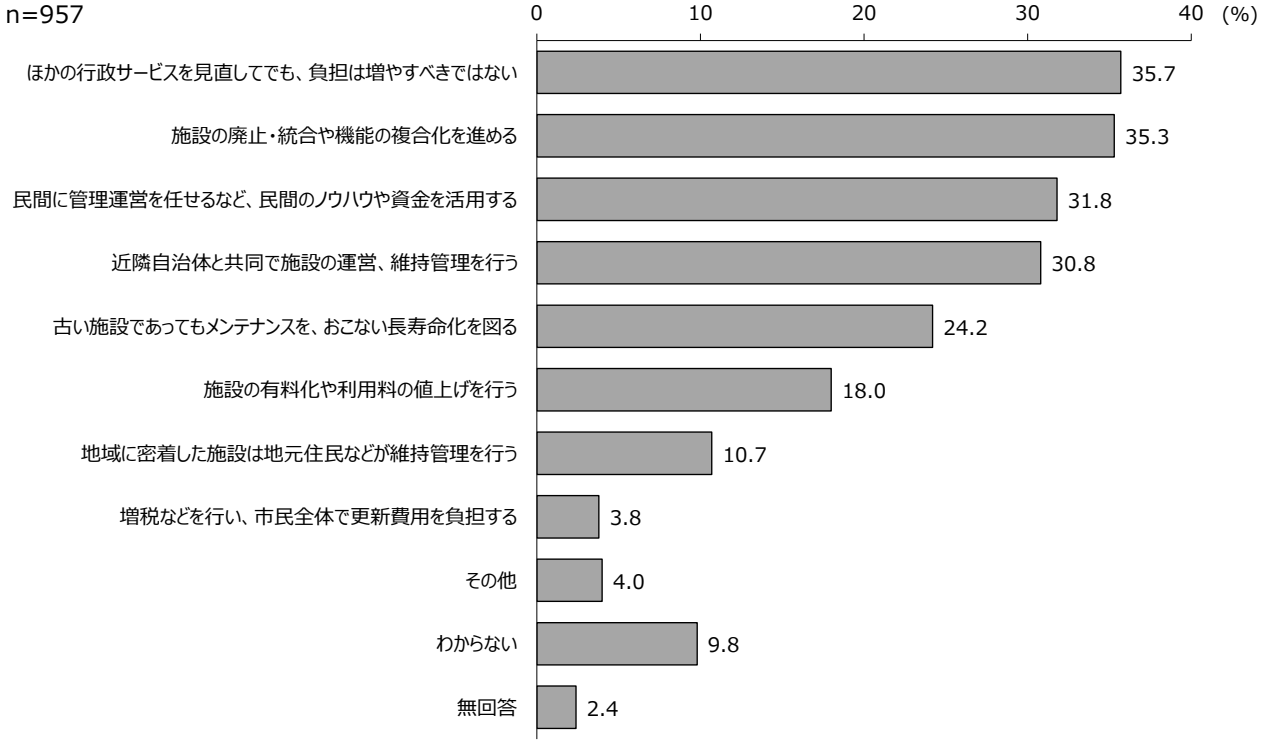
問９　あなたは次の公共施設をどのくらい利用していますか。利用状況を（ア）～（ケ）の施設分類ごとに１つ選択してください。（それぞれの項目で、１つに○）



公共施設の利用頻度は、「よく利用する（月に１回以上）」と「たまに利用する（年に数回程度）」を合わせた＜利用する＞では、「行政施設（市役所、出張所、消防施設など）」が57.9％と最も高く、次いで「図書施設（図書館、地区文化センター図書室など）」が34.4％、「文化施設（文化会館、地区文化センターなど）」が31.4％となっている。「図書施設（図書館、地区文化センター図書室など）」は「よく利用する（月に１回以上）」が11.2％と最も高くなっている。一方で、「ほとんど利用しない」と「利用したことがない」を合わせた＜利用しない＞では、「資料館（三郷市郷土資料館・彦成小学校講堂記念館）」が95.9％と最も高く、次いで「保健･福祉施設（老人福祉センター、就労支援施設、生活介護施設、療育施設など）」が90.8％、「子育て施設（保育所、児童館など）」が86.6％となっている。

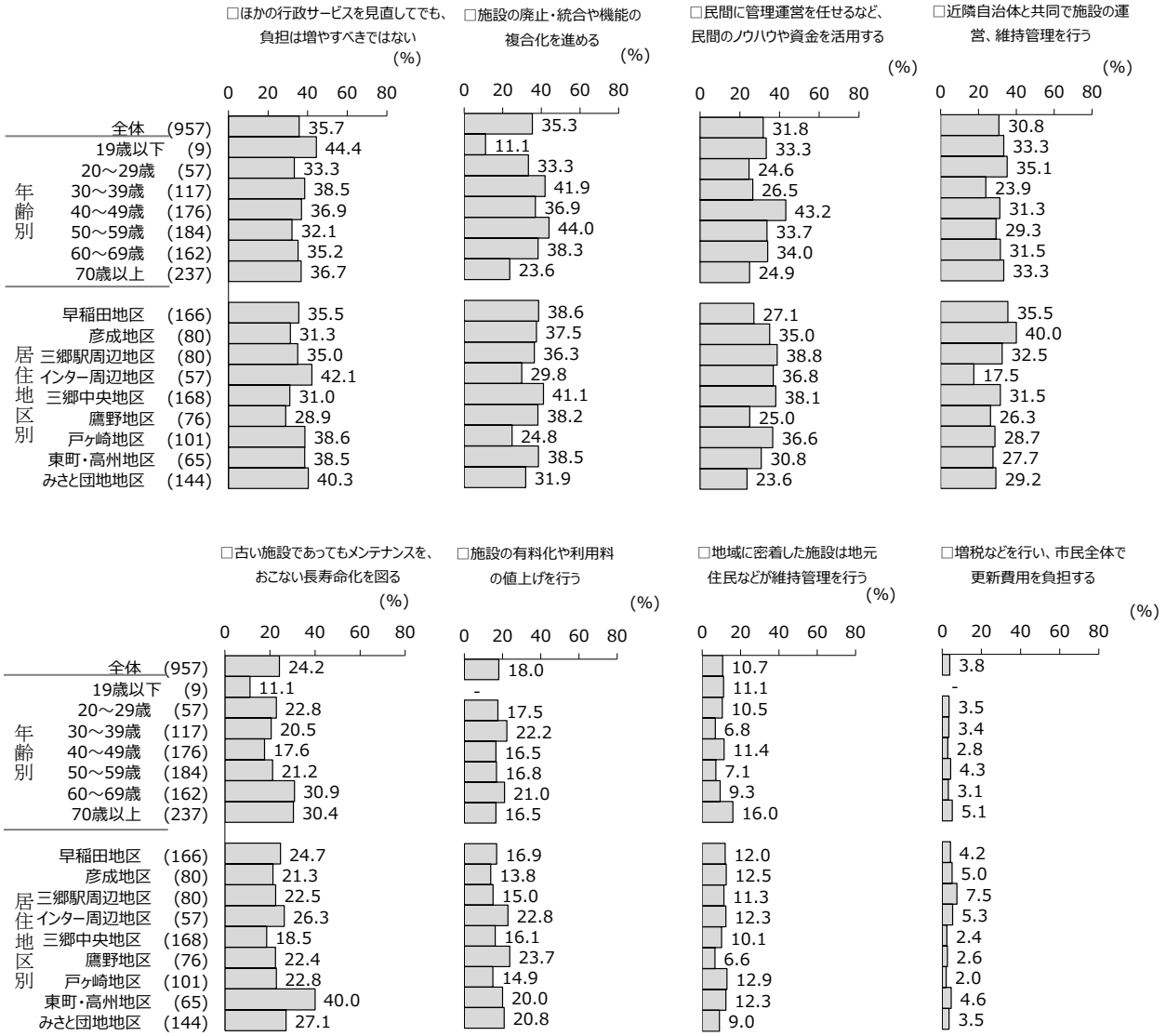
（７）公共施設の老朽化への対応

問10　全国的にも公共施設の老朽化が課題となり、公共施設（道路、上下水道などのインフラ施設含む）の維持更新費用の増大が予測されています。
維持更新費用の効率化や、財源を確保するために、三郷市としてどのような対応が必要だと思いますか。（３つ以内で○）



公共施設の老朽化への対応について、「ほかの行政サービスを見直してでも、負担は増やすべきではない」が35.7%と最も高く、次いで「施設の廃止・統合や機能の複合化を進める」が35.3%、「民間に管理運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する」が31.8%、「近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う」が30.8%となっている。一方で「増税などを行い、市民全体で更新費用を負担する」が3.8%と最も低くなった。

○公共施設の老朽化への対応（年齢別／居住地区別）



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

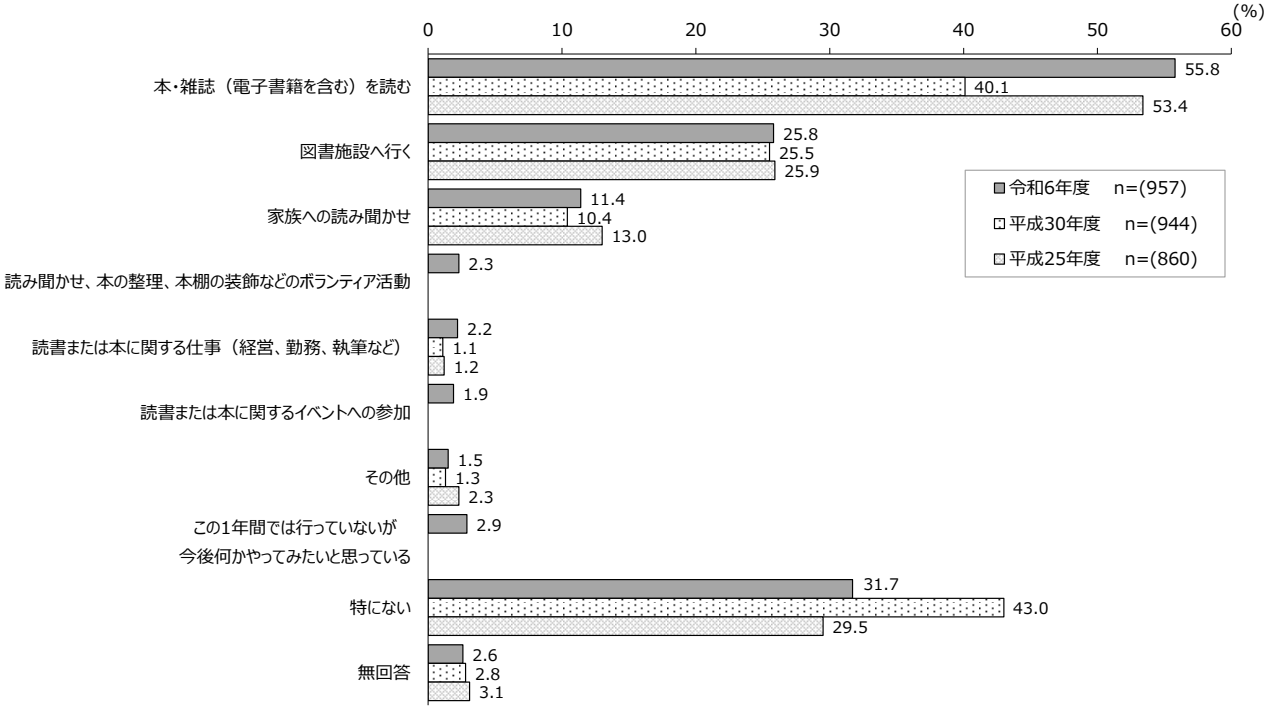
年齢別では「ほかの行政サービスを見直してでも、負担は増やすべきではない」はすべての年齢で３割程度となった。「施設の廃止・統合や機能の複合化を進める」は20～69歳では３～４割となったが、70歳以上では23.6％となった。「古い施設であってもメンテナンスを、おこない長寿命化を図る」は59歳以下では２割程度だが、60歳以上では３割となり、約10ポイントの差が見られた。

居住地区別では、「ほかの行政サービスを見直してでも、負担は増やすべきではない」は「インター周辺地区」が42.1％と最も高く、次いで「みさと団地地区」が40.3％となっている。「近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う」は彦成地区が40.0％と最も高く、「インター周辺地区」では17.5％と最も低く、20ポイント以上の差がついている。

４．読書のまち三郷について

（１）読書活動の状況

問11　読書や本に関係することについて、あなたが１年間で行ったのは、どのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）



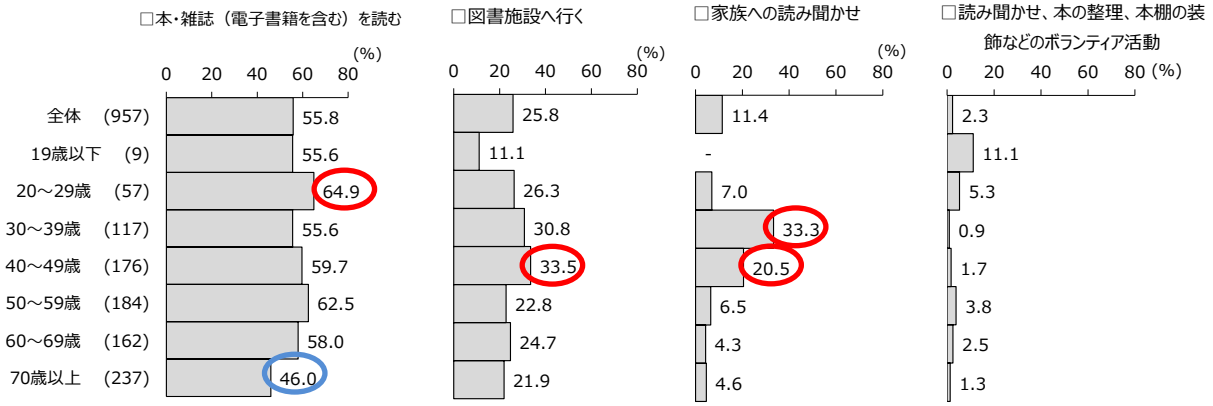
※今回調査では、質問と選択肢を若干変更している。

読書活動の状況については、「本・雑誌（電子書籍を含む）を読む」が55.8％と最も高く、次いで「図書施設へ行く」が25.8％、「家族への読み聞かせ」が11.4％となっている。一方、「特にない」は31.7％となっている。

経年比較すると、上位３項目の順位は同じであるが、１位となった「本・雑誌（電子書籍を含む）を読む」では平成30年度は13.3ポイント減少したが、令和6年度は15.7ポイント増加している。２位の「図書施設へ行く」と３位の「家族への読み聞かせ」では変化は見られなかった。

○読書活動の状況（年齢別）

【上位４項目】

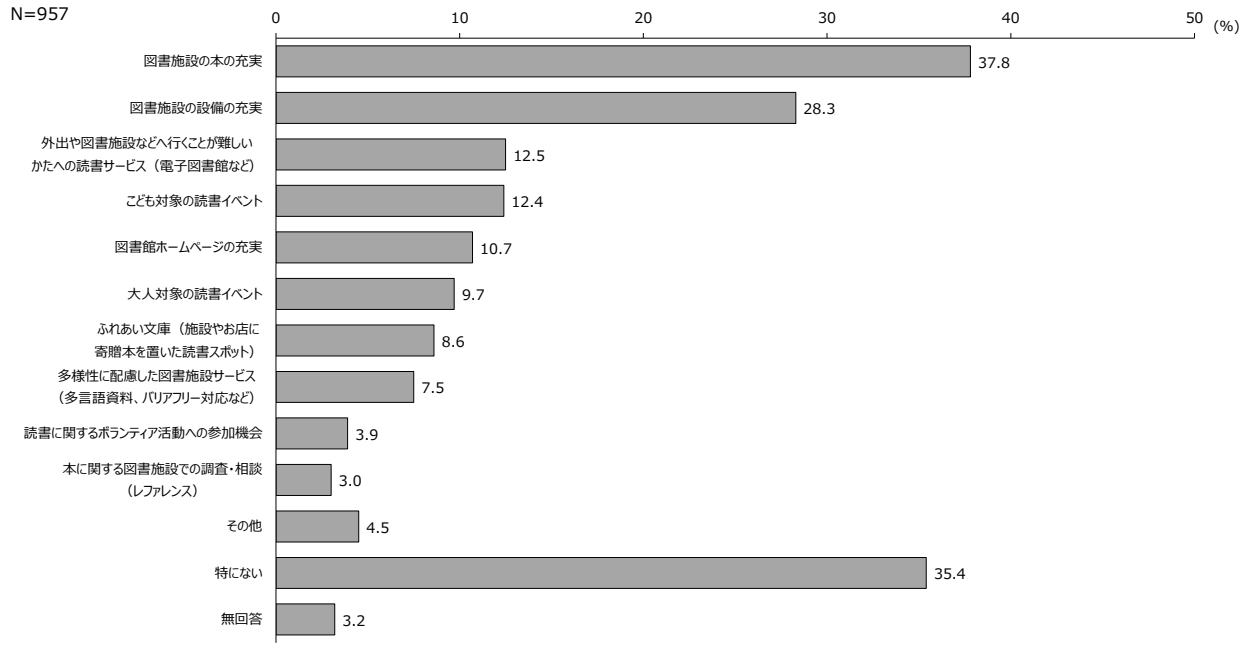


※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

年齢別でみると、１位の「本・雑誌（電子書籍を含む）を読む」は20～29歳が64.9％と最も高い。69歳以下では概ね６割程度となっているものの、70歳以上では46.0％と最も低くなっている。２位の「図書施設へ行く」は40～49歳が33.5％と最も高くなっている。３位の「家族への読み聞かせ」は30～39歳が33.3％と最も高く、次いで40～49歳が20.5％と続いている。

（２）力を入れてほしい読書事業

問12　三郷市の読書事業として、どのようなことに力を入れてほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

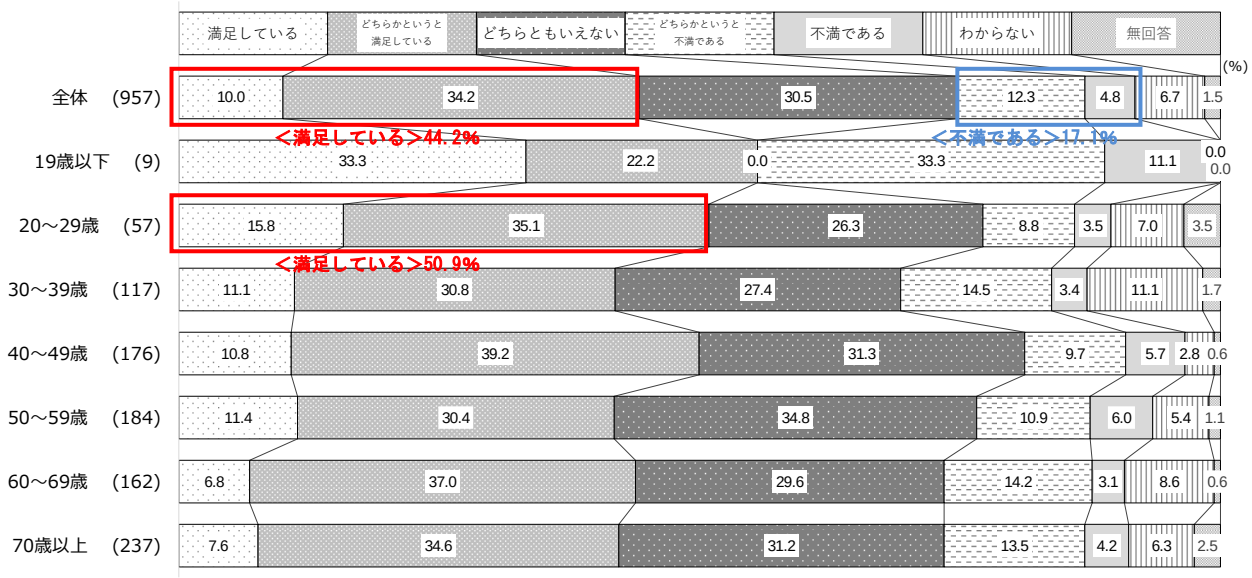


三郷市の読書事業として力を入れてほしいことは、「図書施設の本の充実」が37.8％と最も高く、次いで「図書施設の設備の充実」が28.3％、「外出や図書施設などへ行くことが難しいかたへの読書サービス（電子図書館など）」が12.5％となっている。一方で「特にない」は35.4％となっている。

５．みどりと公園について

（１）自然や緑の状況

問13　あなたは、三郷市の自然や緑の現状について、どのように感じていますか。
（１つに○）



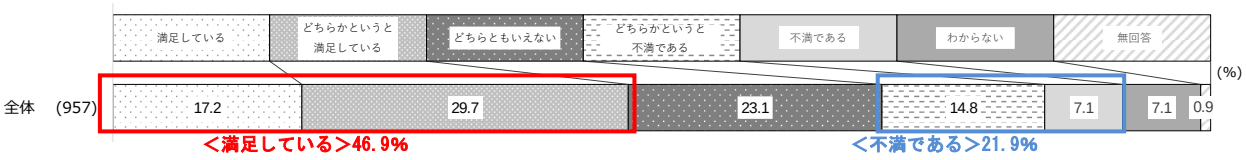
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

三郷市の自然や緑の現状について「満足している」と「どちらかというと満足している」を合わせた＜満足している＞は、44.2%となっている。一方で、「不満である」と「どちらかというと不満である」を合わせた＜不満である＞は、17.1%となっている。「どちらともいえない」は30.5%となっている。

年齢別では、＜満足している＞は、20～29歳が50.9%と最も高くなっており、全ての年齢で４割を超えた。＜不満である＞は、30～39歳が17.9%となり、最も高くなっている。

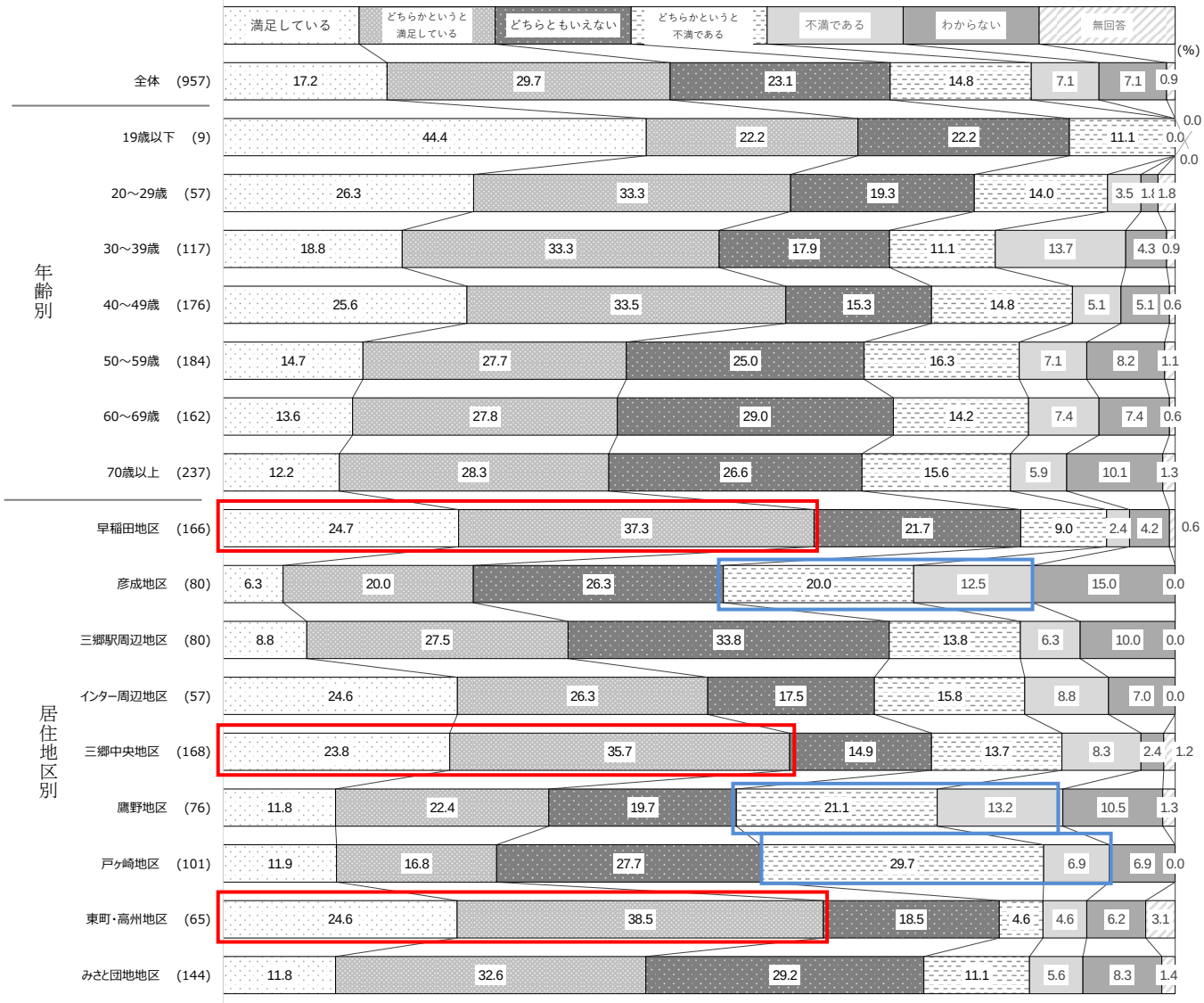
（２）地域の公園の状況

問14　あなたは、お住まいになっている地域における公園の数や位置、大きさについて、どのように感じていますか。（１つに○）



居住地区の公園の状況は、「満足している」と「どちらかというと満足している」を合わせた＜満足している＞は、46.9%となっている。一方で、「不満である」と「どちらかというと不満である」を合わせた＜不満である＞は、21.9%となっている。

○地域の公園の状況（年齢別／居住地区別）



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

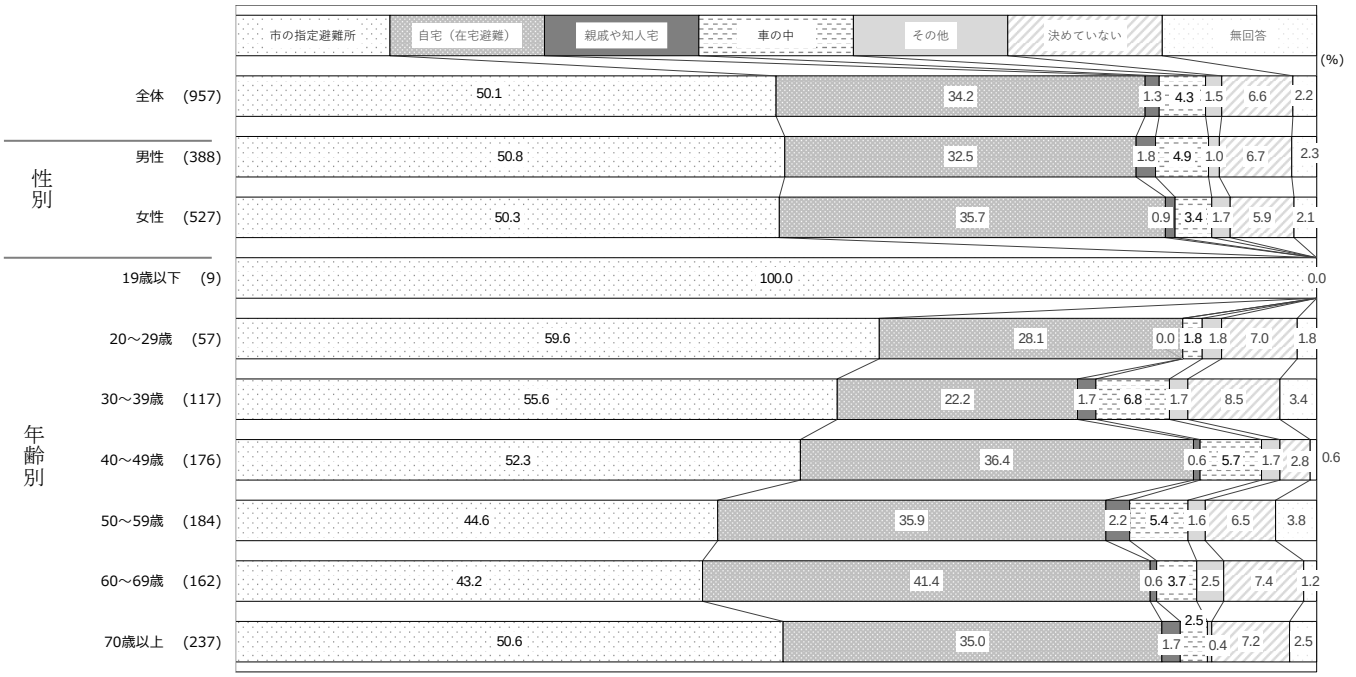
年齢別では、＜満足している＞は、20～29歳が59.6％と最も高く、次いで40～49歳が59.1％、30～39歳が52.1％となっている。一方で70歳以上は40.5％と最も低かった。＜不満である＞は、全ての年代で２割前後となっている。

居住地区別では、＜満足している＞は東町・高州地区が63.1％と最も高く、次いで、早稲田地区が62.0％、三郷中央地区が59.5％と、この３地区では約６割となっている。一方で、彦成地区が26.3％と最も低く、次いで戸ヶ崎地区が28.7％となっている。＜不満である＞は、戸ヶ崎地区、鷹野地区、彦成地区の３地区では３割を超えている。

６．防災について

（１）災害発生時の避難先

問15　大きな災害が発生した場合、あなたが想定している避難先はどこですか。（１つに○）



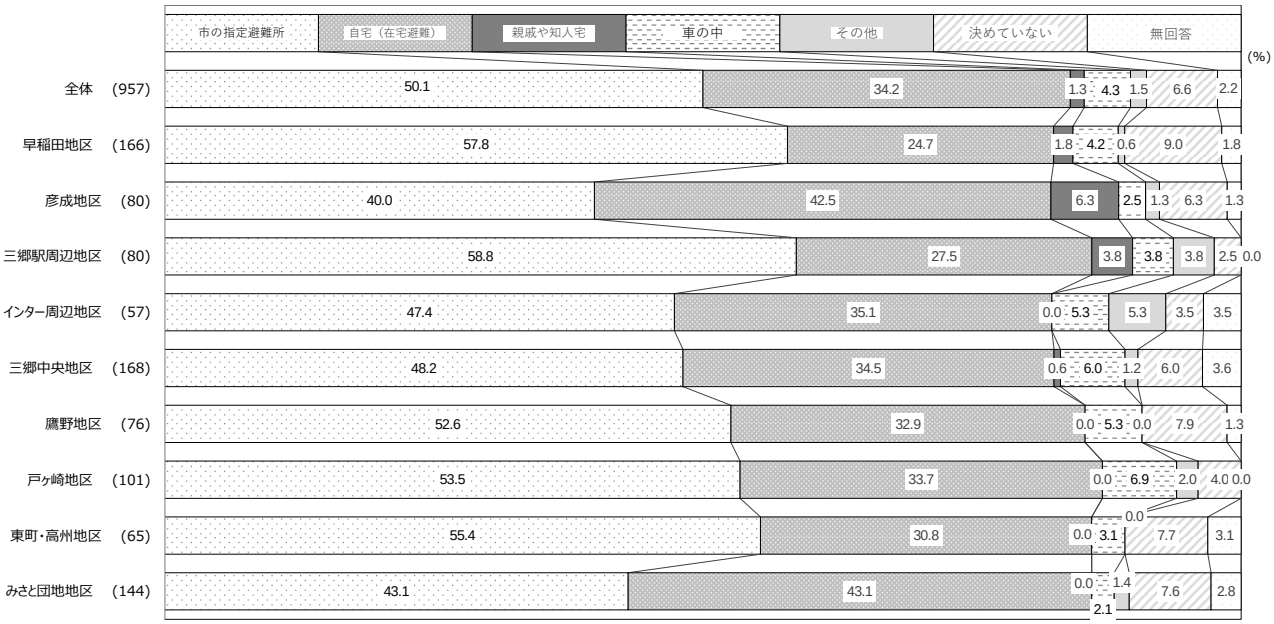
※回答数者が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

災害発生時の想定している避難先は、「市の指定避難所」が50.1％、次いで「自宅（在宅避難）」が34.2％となり、合わせると８割を超えている。一方、「決めていない」は6.6％となっている。

性別では、全体と同じ傾向となり、男女差は見られなかった。

年齢別では、「市の指定避難所」は、20～29歳が59.6％と最も高く、次いで30～39歳が55.6％となっている。一方で60～69歳では43.2％と最も低くなっている。「自宅（在宅避難）」は、60～69歳が41.4％と最も高く、次いで40～49歳が36.4％となっている。

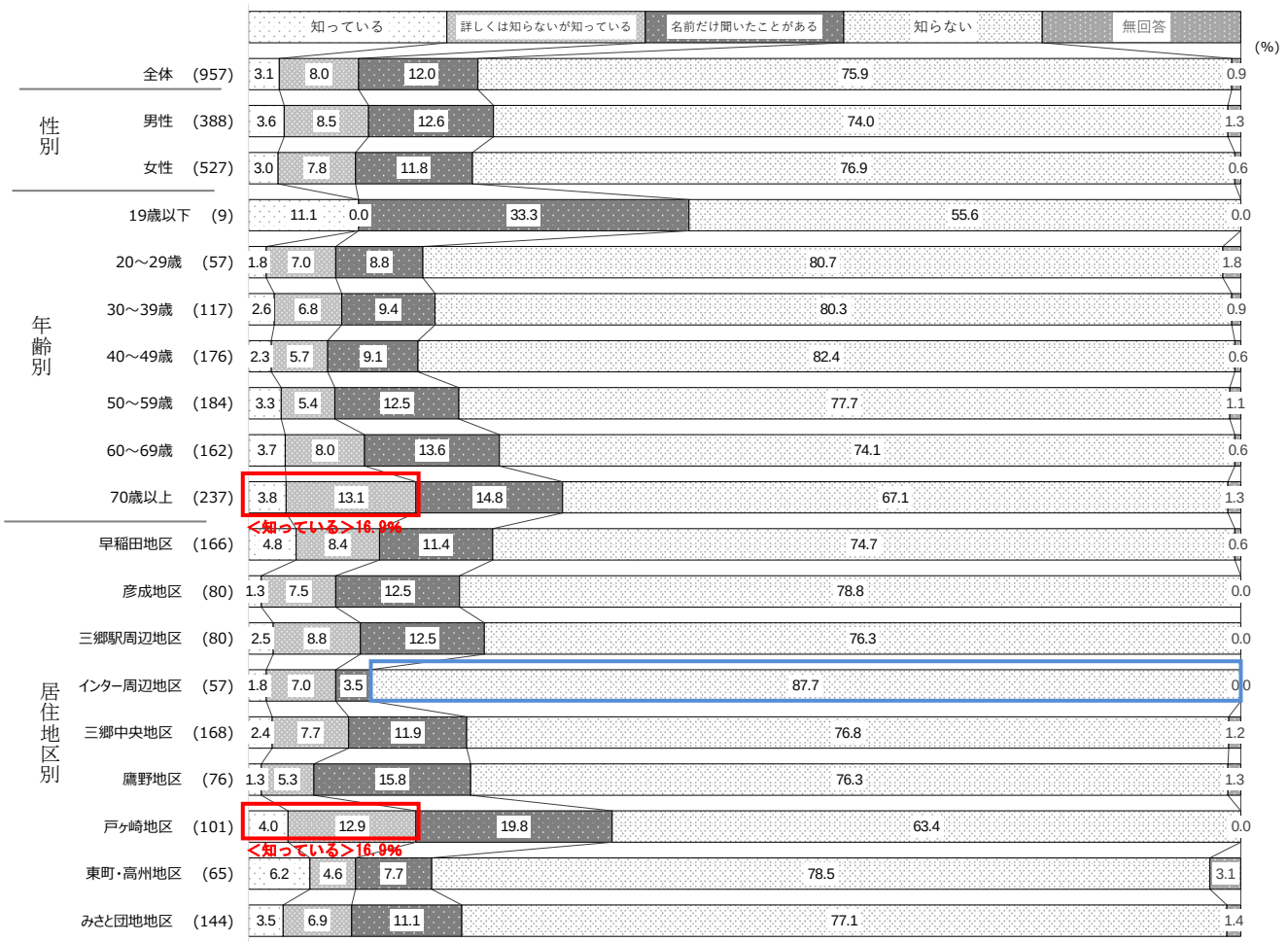
○災害発生時の避難先（居住地区別）



居住地区別では、「市の指定避難所」は、三郷駅周辺地区が58.8％と最も高く、次いで早稲田地区が57.8％となっている。一方で彦成地区では40.0％と最も低くなっている。「自宅（在宅避難）」は、みさと団地地区が43.1％と最も高く、次いで彦成地区が42.5％となっている

（２）避難所運営委員会の認知状況

問16　市の指定避難所を長期間開設する場合、各避難所に設置する避難所の運営主体である「避難所運営委員会」についてご存じですか。（１つに○）



※回答数者が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

避難所運営委員会の認知状況は、「知らない」が75.9％と7割を超えており、次いで「名前だけ聞いたことがある」が12.0％、「詳しくは知らないが知っている」が8.0％となっている。「知っている」は3.1％となっている。

性別では、全体と同じ傾向となり、男女差は見られなかった。

年齢別では、「知らない」は40～49歳が82.4％と最も高く、次いで20～29歳が80.7％、30～39歳が80.3％と８割を超えている。一方で70歳以上では67.1％と最も低くなっている。「詳しくは知らないが知っている」と「知っている」を合わせた＜知っている＞は、70歳以上が16.9％と最も高くなっている。

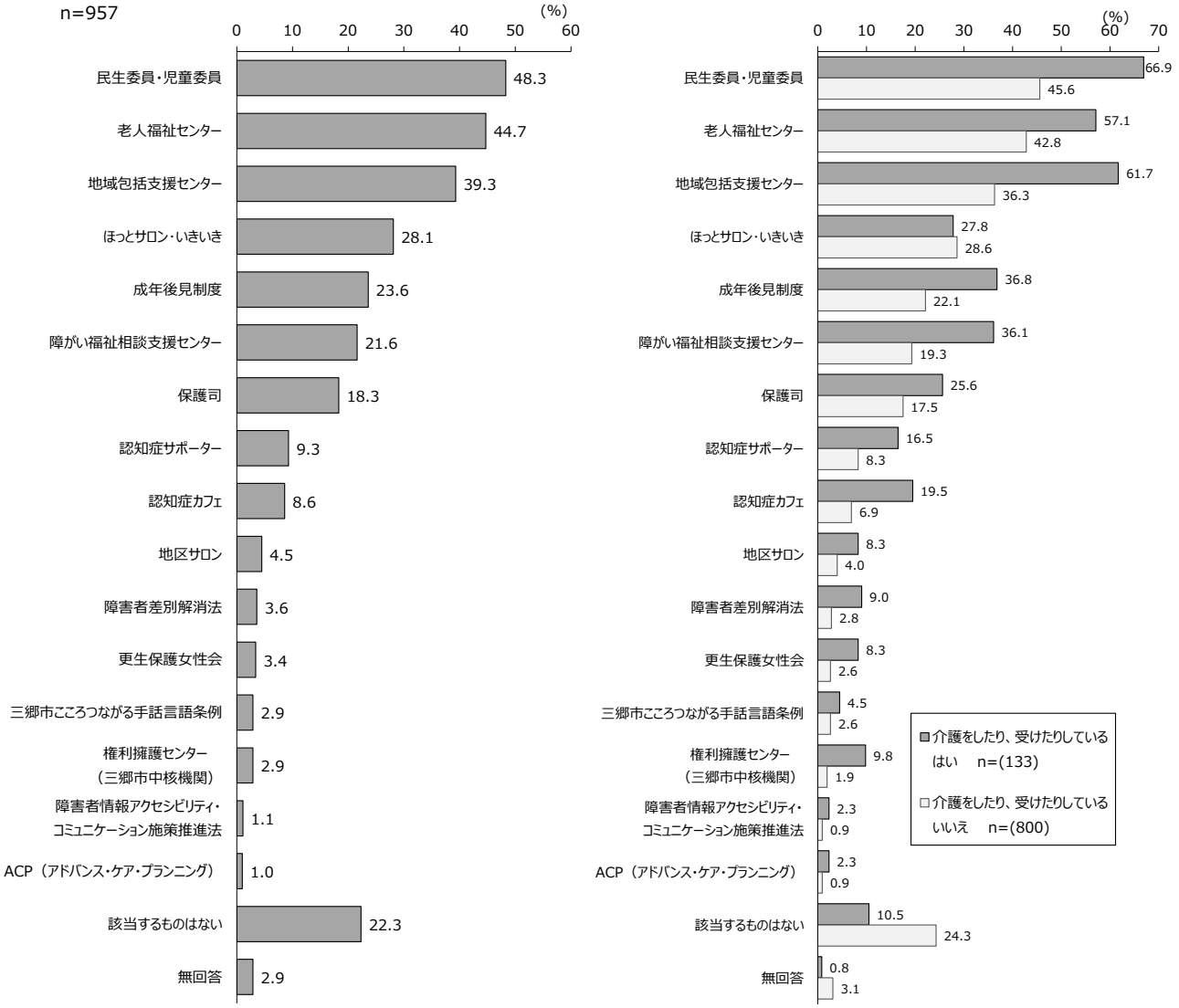
居住地区別では、「知らない」は、インター周辺地区が87.7％と最も高く、次いで彦成地区が78.8％となっている。一方で戸ヶ崎地区では63.4％と最も低くなっている。「詳しくは知らないが知っている」と「知っている」を合わせた＜知っている＞は、戸ヶ崎地区が16.9％と最も高くなっている。

７．福祉について

（１）市の福祉に関する事柄の認知状況

問17　三郷市の福祉に関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

【介護・被介護の有無別】



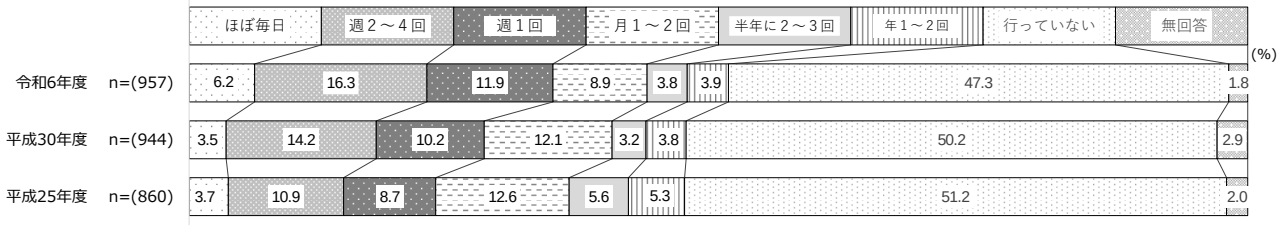
三郷市の福祉に関する事柄のうち、見たことや聞いたことがあるものは、「民生委員・児童委員」が48.3%と最も高く、次いで「老人福祉センター」が44.7%、「地域包括支援センター」が39.3%となっている。一方、「該当するものはない」は22.3%となっている。

介護・被介護の有無別でみると、介護をしたり、受けたりしている方は「民生委員・児童委員」が66.9%、「地域包括支援センター」が61.7%、「老人福祉センター」が57.1%と６割前後あり高い。介護をしたり、受けたりしていない方は「民生委員・児童委員」が45.6%で最も高くなっており、「該当するものはない」は24.3%となっている。介護をしたり、受けたりしているに「はい」と回答した方は、「いいえ」と回答した方よりほぼ全ての項目で高くなっている。

８．健康促進について

（１）活動頻度

問18　あなたは、日頃どの程度スポーツやレクリエーション活動を行っていますか。
（１つに○）



日頃のスポーツやレクリエーション活動の活動頻度は、「週２～４回」が16.3％と最も高く、次いで「週１回」が11.9％、「月１～２回」が8.9％となっている。一方、「行っていない」は47.3％と５割程度となっている。

経年比較では、「行っていない」は調査の度に減少しており、週１回以上定期的に運動する人は増加傾向がみられる。

平成30年度と比較すると、「ほぼ毎日」は2.7ポイント増加、「週２～４回」は2.1ポイント増加、「週１回」は1.7ポイント増加している。一方で「月１～２回」は3.2ポイント、「行っていない」は2.9ポイント減少している。

○活動頻度（性別／年齢別）

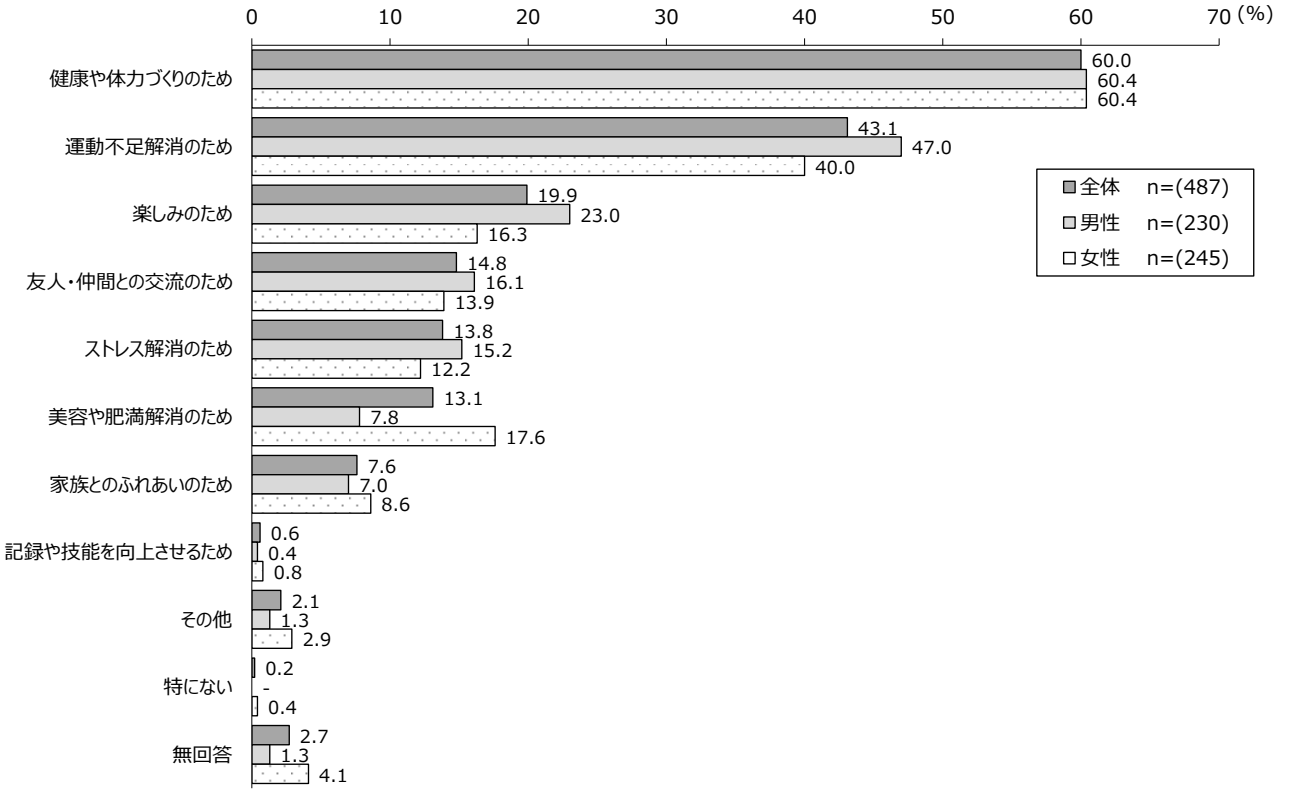
※回答数者が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

性別でみると、「行っていない」は女性が51.0%、男性が39.9%となり、女性は男性よりも11.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ほぼ毎日」は70歳以上が8.9%と最も高く、次いで30～39歳及び50～59歳が6.0%となっている。「週２～４回」は60～69歳が26.5%と最も高く、次いで20～29歳が19.3%となっている。週１回以上定期的に運動を行っている割合は、60～69歳が42.6%と最も高く、40～49歳が27.8%と最も低くなっている。一方、「行っていない」は50～59歳が52.7%と最も高くなっている。

（２）活動の理由

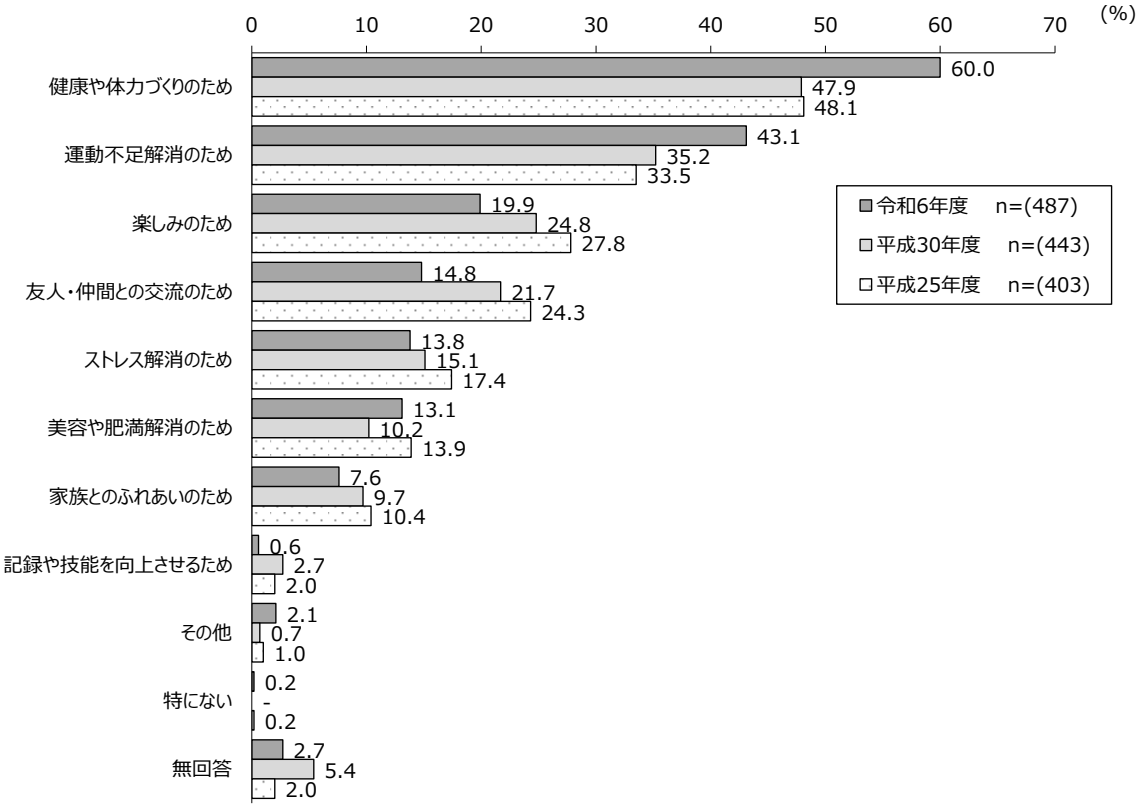
問18－1　あなたが、スポーツ・レクリエーション活動を行う理由は何ですか。
（２つ以内で○）



スポーツやレクリエーション活動を行う理由は、「健康や体力づくりのため」が60.0％と最も高く、次いで「運動不足解消のため」が43.1％、「楽しみのため」が19.9％、「友人・仲間との交流のため」が14.8％となっている。

性別でみると、「健康や体力づくりのため」は男女とも60.4％で差が見られなかった。「運動不足解消のため」は男性（47.0％）が女性（40.0％）よりも7.0ポイント高くなっている。また、「楽しみのため」は男性（23.0％）が女性（16.3％）よりも6.7ポイント高くなっている。一方、「美容や肥満解消のため」は女性（17.6％）が男性（7.8％）よりも9.8ポイント高い。

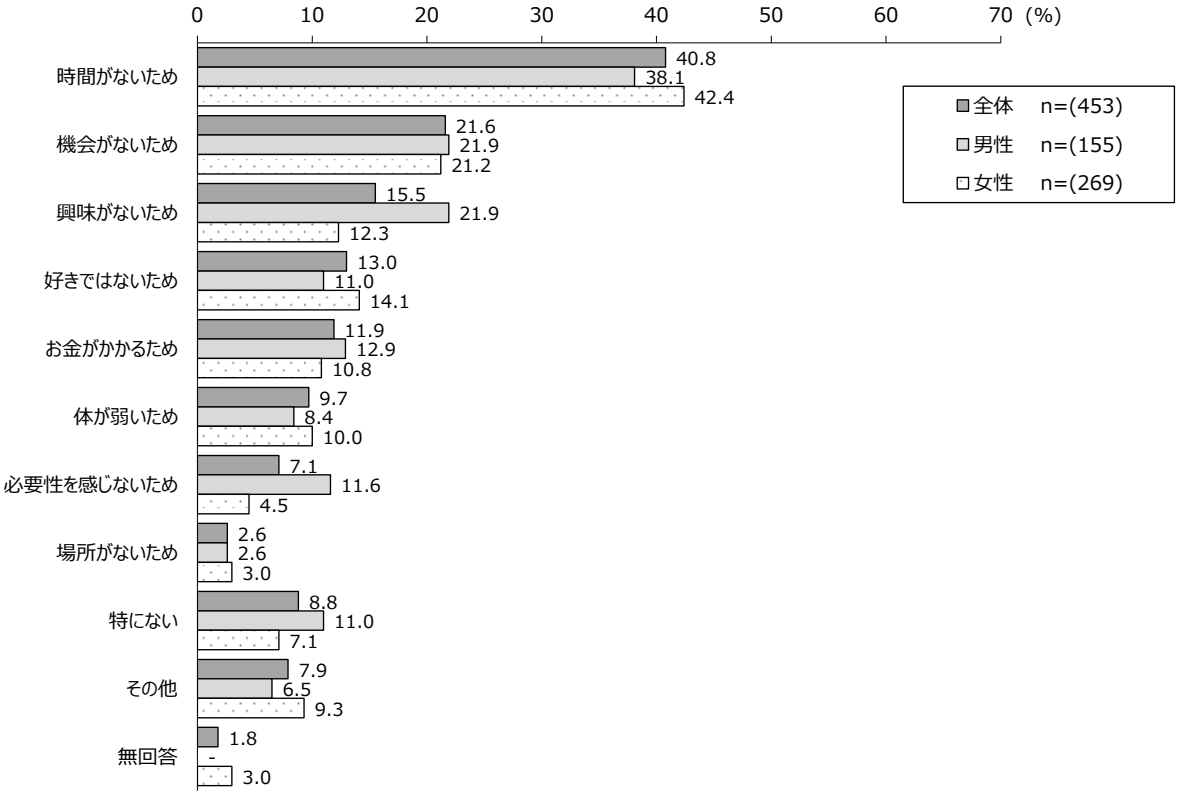
○活動の理由（経年比較）



経年比較すると、平成30年度比では「健康や体力づくりのため」では10ポイント以上改善している。「運動不足解消のため」は調査の度に増加している。一方で、「楽しみのため」、「友人・仲間との交流のため」、「ストレス解消のため」、「家族とのふれあいのため」は調査の度に減少している。

（３）活動をしない理由

問18－2　あなたが、スポーツ・レクリエーション活動を行わない理由は何ですか。
（２つ以内で○）

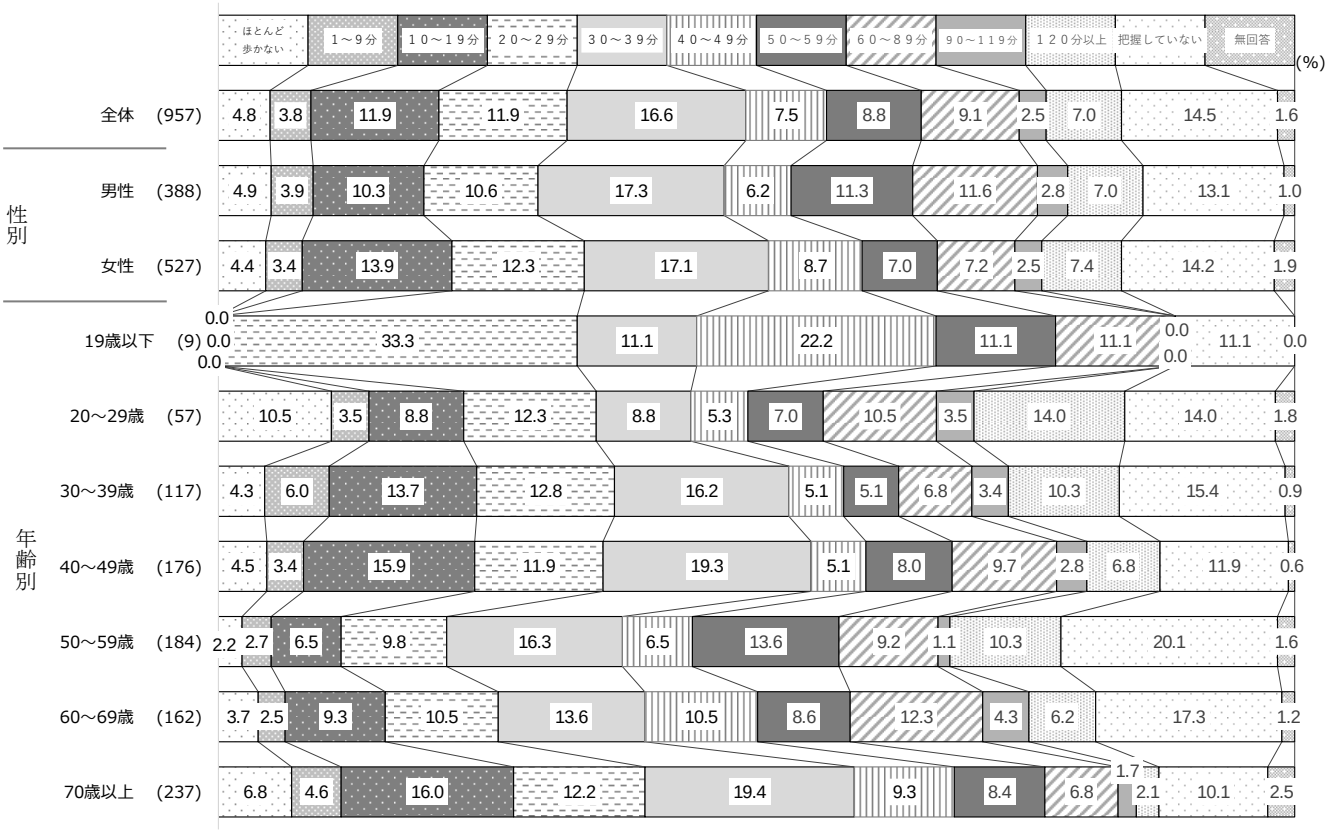


スポーツ・レクリエーション活動を行わない理由は、「時間がないため」が40.8％と最も高くなっている。次いで「機会がないため」が21.6％、「興味がないため」が15.5％、「好きではないため」が13.0％となっている。

性別でみると、「興味がないため」と「必要性を感じないため」は、男性が女性よりも５ポイント以上高くなっている。一方、「時間がないため」は女性が男性よりも4.3ポイント高くなっている。

（４）1日の平均歩行時間

問19　歩く時間は１日平均してどのくらいですか。（１つに○）



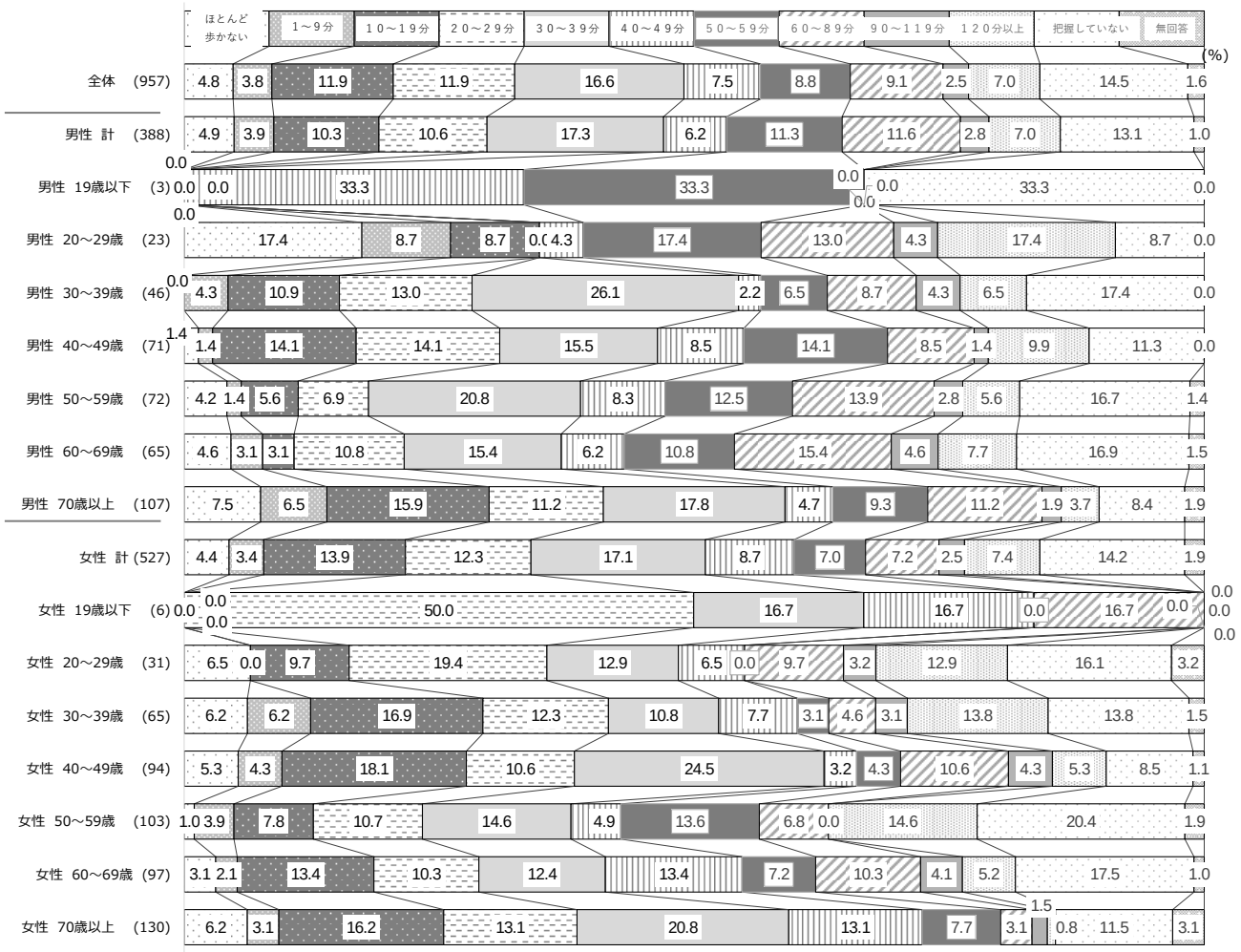
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

１日の平均歩行時間は、「30～39分」が16.6％と最も高く、次いで「10～19分」と「20～29分」がともに11.9％となっている。また、「把握していない」は14.5％となっている。

性別では、全体と同じ傾向となり、男女差は見られなかった。

年齢別では、「ほとんど歩かない」は20～29歳が10.5％と最も高く、次いで70歳以上が6.8％となっている。「1～59分」は、70歳以上が69.9％と最も高く、次いで40～49歳が63.6％となっている。「60分以上」は、20～29歳が28.0％と最も高く、次いで60～69歳が22.8％、50～59歳が20.6％、30～39歳が20.5％となっている。

○１日の平均歩行時間（性年代別）



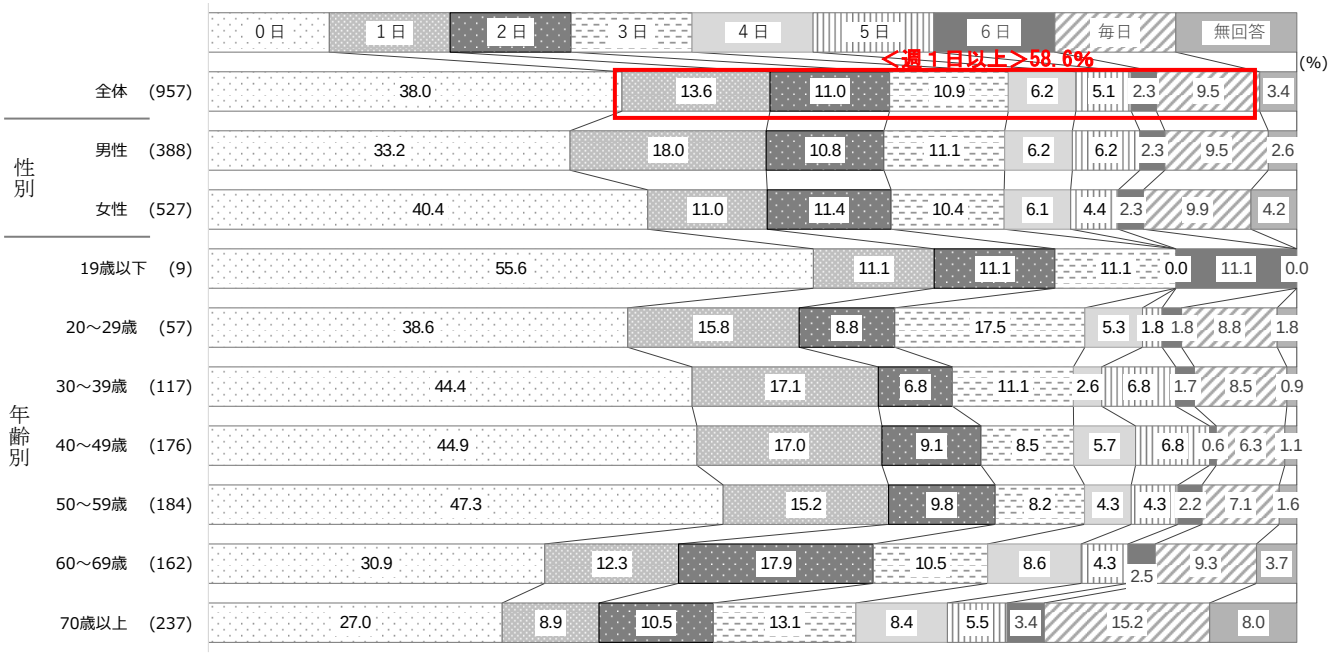
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

男性の年齢別でみると、各年齢で「30～39分」と回答した割合が最も高くなっている。特に、30～39歳が26.1%と最も高く、次いで50～59歳が20.8%となっている。「60～89分」は60～69歳が15.4%と最も高く、次いで50～59歳が13.9%となっている。

女性の年齢別でみると、「30～39分」は40～49歳が24.5%と最も高く、次いで70歳以上が20.8%となっている。「60～89分」は40～49歳が10.6%と最も高く、次いで60～69歳が10.3%となっている。

（５）運動の頻度

問20　１週間の運動日数はどのくらいですか。（１つに○）



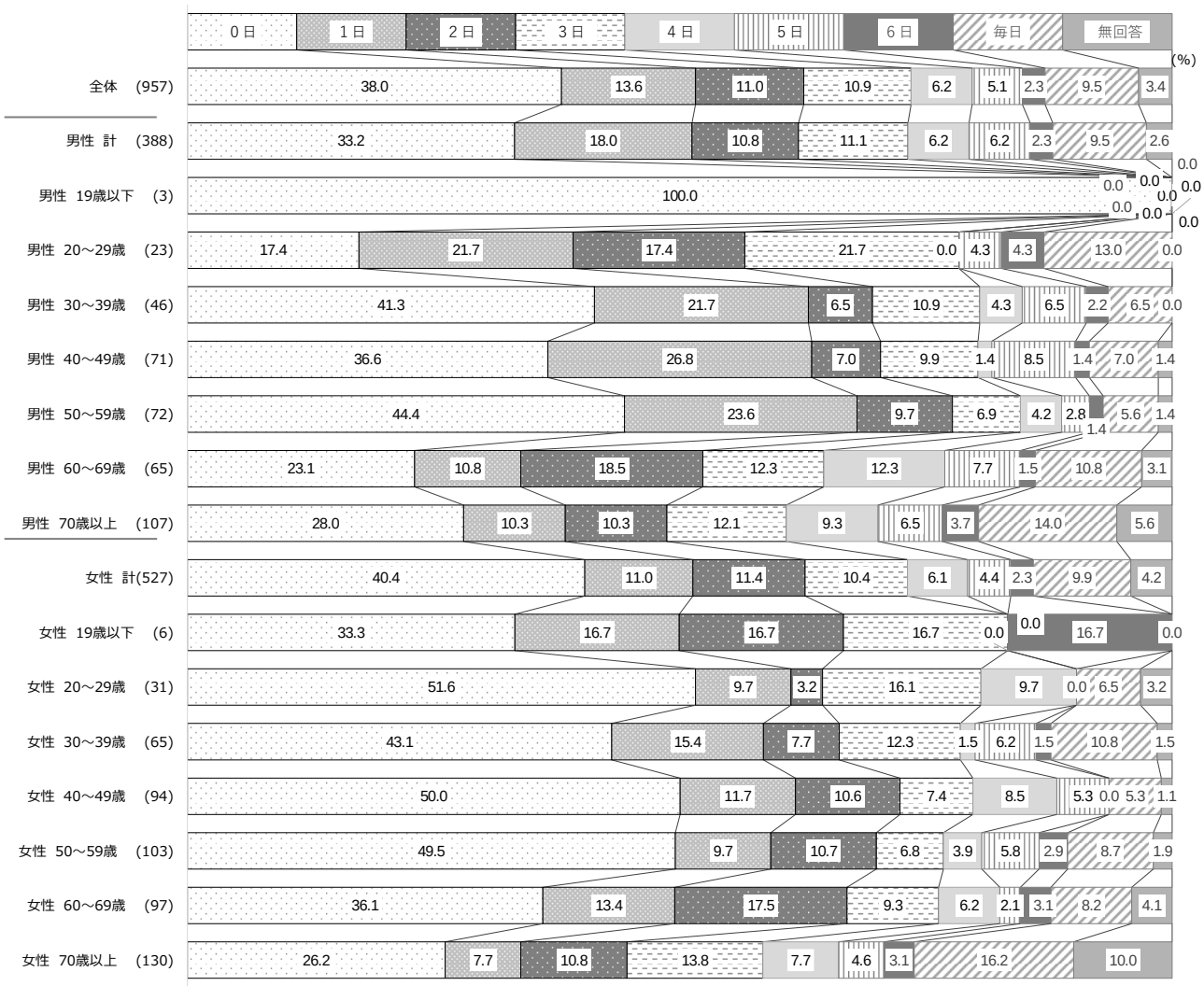
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

１週間の運動日数は、「１日」が13.6%と最も高く、次いで「２日」が11.0%、「３日」が10.9%となっている。「１日」「２日」「３日」「４日」「５日」「６日」「毎日」の＜１週間に１日以上の運動をする＞は58.6%となった。一方、「０日」は38.0%と４割程度となっている。

性別では、「１日」は男性が18.0%、女性が11.0%となり、男性が女性よりも7.0ポイント高い。一方、「０日」は女性が40.4%、男性が33.2%となり、女性は男性よりも7.2ポイント高い。＜１週間に１日以上の運動をする＞は、男性が64.1%、女性が55.5%と男性が女性よりも8.6ポイント高い。

年齢別では、「１日」は30～39歳が17.1%と最も高く、次いで40～49歳が17.0%となっている。「２日」は60～69歳が17.9%と最も高くなっている。「毎日」は70歳以上が15.2%と最も高く、他の年代より5ポイント以上高い。一方、「０日」は50～59歳が47.3%と最も高く、30～59歳では４割を超えている。60歳以上では３割程度となっている。

○１週間の運動日数（性年代別）



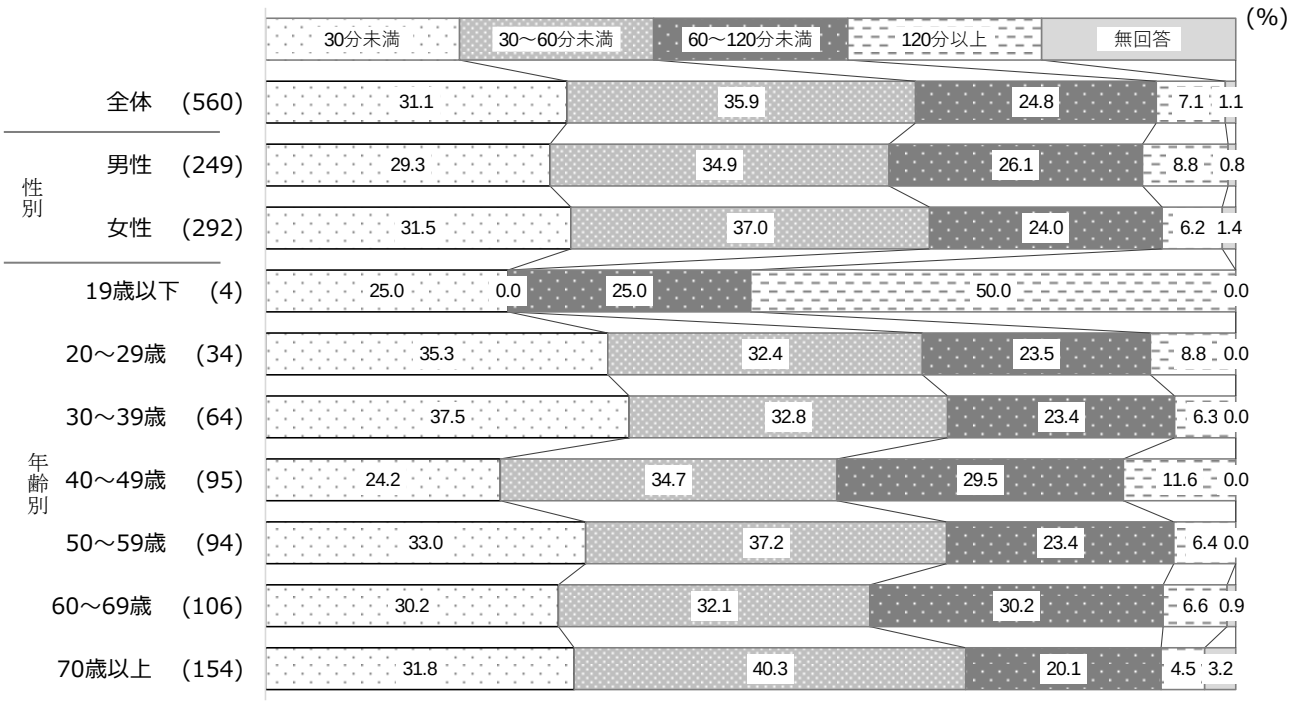
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

男性の年齢別でみると、「毎日」は70歳以上が14.0％と最も高くなっている。「１日」は40～49歳が26.8％、50～59歳が23.6％となっている。一方、「０日」は50～59歳が44.4％と最も高く、次いで30～39歳が41.3％、40～49歳が36.6％となっている。60歳以上では２割台にとどまっている。

女性の年齢別でみると、いずれの年代でも「０日」が最も高くなっている。20～29歳が51.6％、40～49歳が50.0％と５割を占める。「毎日」は70歳以上が16.2％と最も高く、次いで30～39歳が10.8％となっている。「１日」は30～39歳が15.4％と最も高く、次いで60～69歳が13.4％となっている。

（６）平均運動時間

問20－1　運動を行う日の平均運動時間はどれくらいですか。（１つに○）



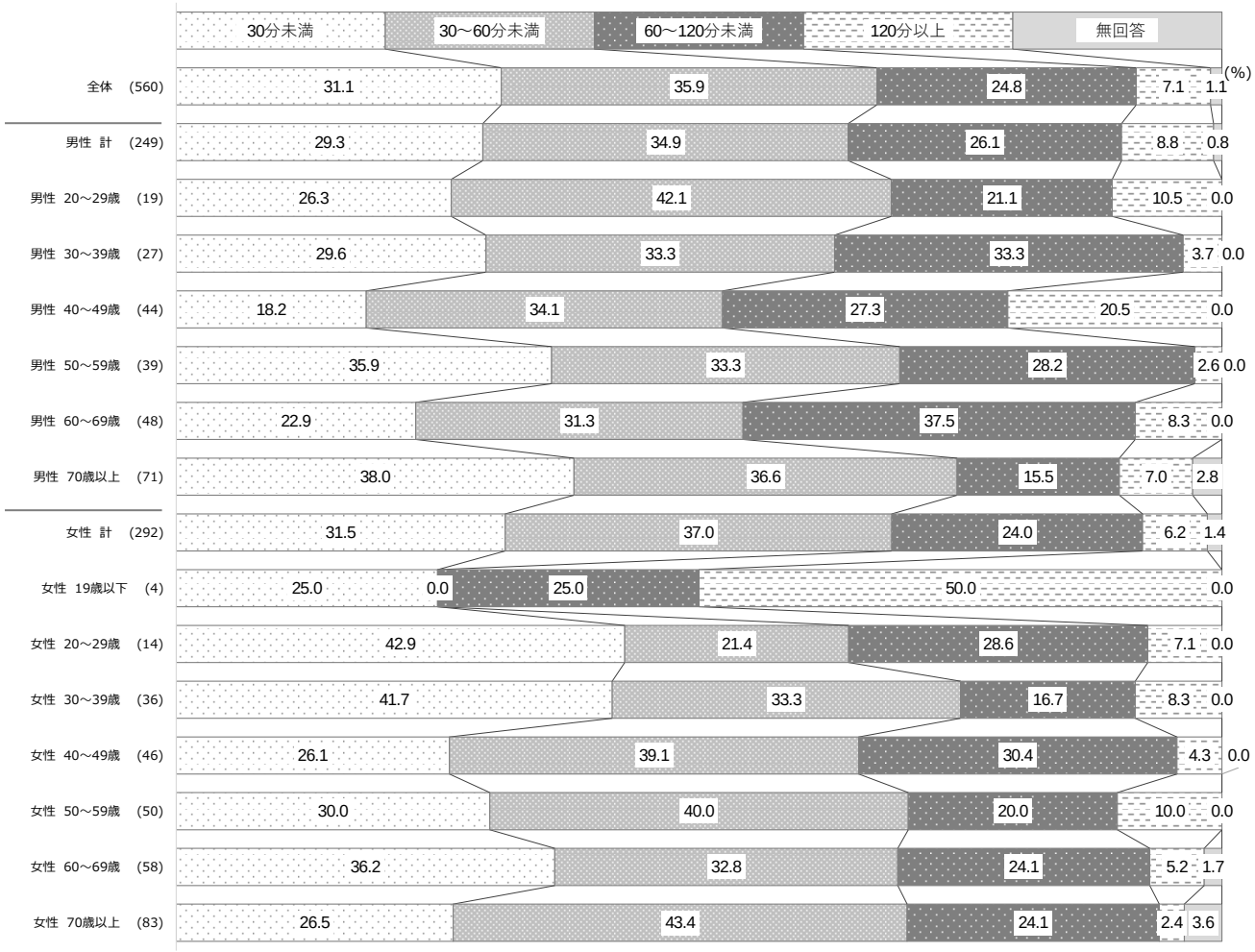
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

運動を行う日の平均運動時間は、「30～60分未満」が35.9％と最も高く、次いで「30分未満」が31.1％、「60～120分未満」が24.8％となっている。

性別では、全体と同じような傾向となり、男女差はみられなかった。

年齢別では、「30分未満」は30～39歳が37.5％と最も高く、次いで20～29歳が35.3％となっている。「30～60分未満」は70歳以上が40.3％と最も高く、次いで50～59歳が37.2％、40～49歳が34.7％となっている。「120分以上」は40～49歳が11.6％と最も高くなっている。

○運動を行う日の平均運動時間（性年代別）



※男性　19歳以下は該当なしのため非表示

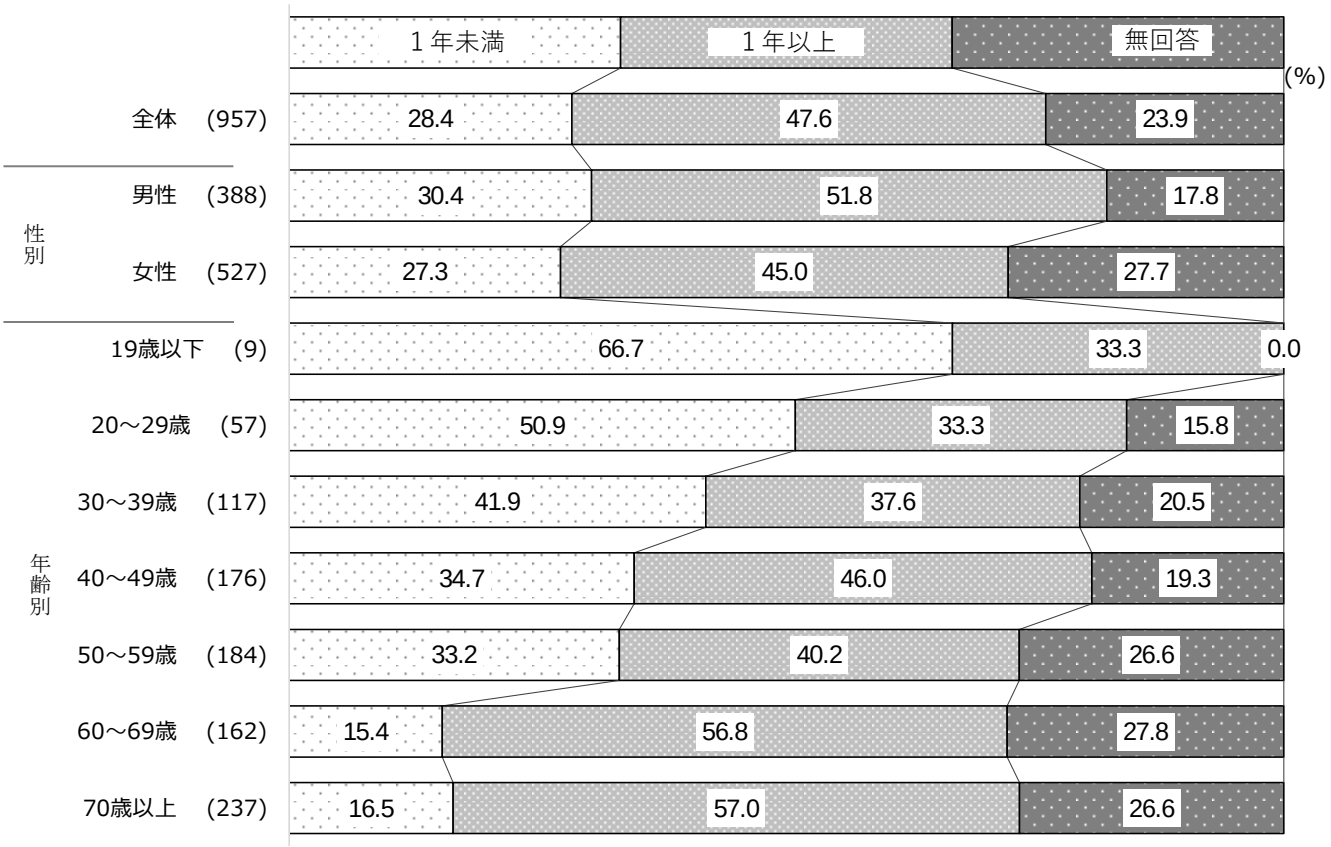
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

男性の年齢別でみると、「30分未満」は70歳以上が38.0％と最も高く、次いで50～59歳が35.9％となっている。「60～120分未満」は60～69歳が37.5％と最も高くなっている。「120分以上」は40～49歳が20.5％と最も高くなっている。

女性の年齢別でみると、「30分未満」は30～39歳が41.7％と最も高く、次いで60～69歳が36.2％となっている。「30～60分未満」は70歳以上が43.4％と最も高く、次いで50～59歳が40.0％と４割を占める。「60～120分未満」は40～49歳が30.4％と最も高くなっている。

（７）運動の継続年数

問21　運動の継続年数はどのくらいですか。（どちらかに○）



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

運動の継続年数は、「１年以上」が47.6%、「１年未満」が28.4%となっている。

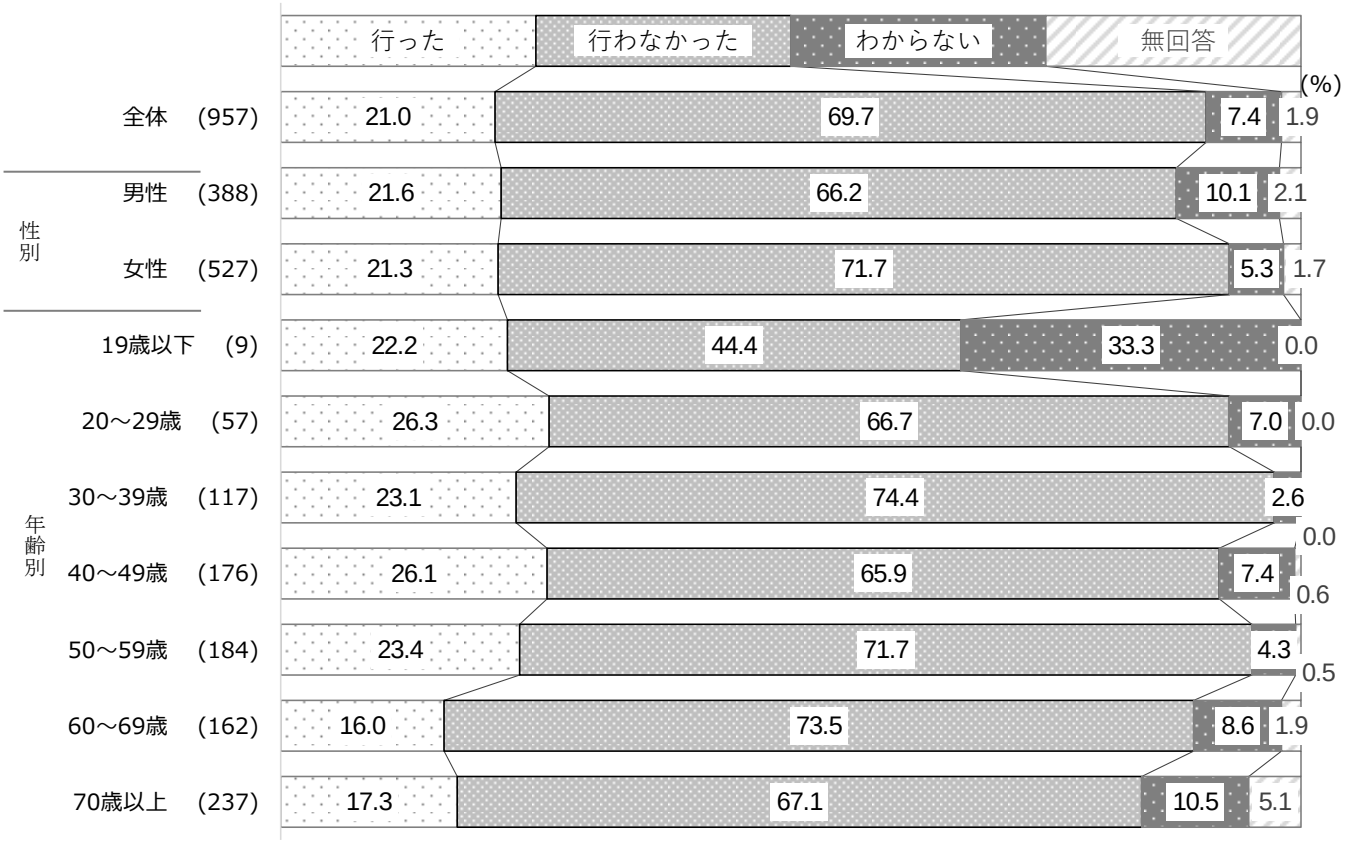
性別では、「１年以上」は男性が51.8%、女性が45.0%と男性が女性よりも6.8ポイント高い。

年齢別では、「１年以上」は70歳以上が57.0%と最も高く、次いで60～69歳が56.8%となっている。40歳以上では「１年以上」は「１年未満」より高くなっている。

９．生涯学習、市民活動・ボランティア活動について

（１）生涯学習活動への参加状況

問22　あなたは、この1年間に生涯学習活動（資格の取得や各種講座の受講、文化活動、趣味、ボランティア活動など、自発的な学習）を行いましたか。（１つに○）



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

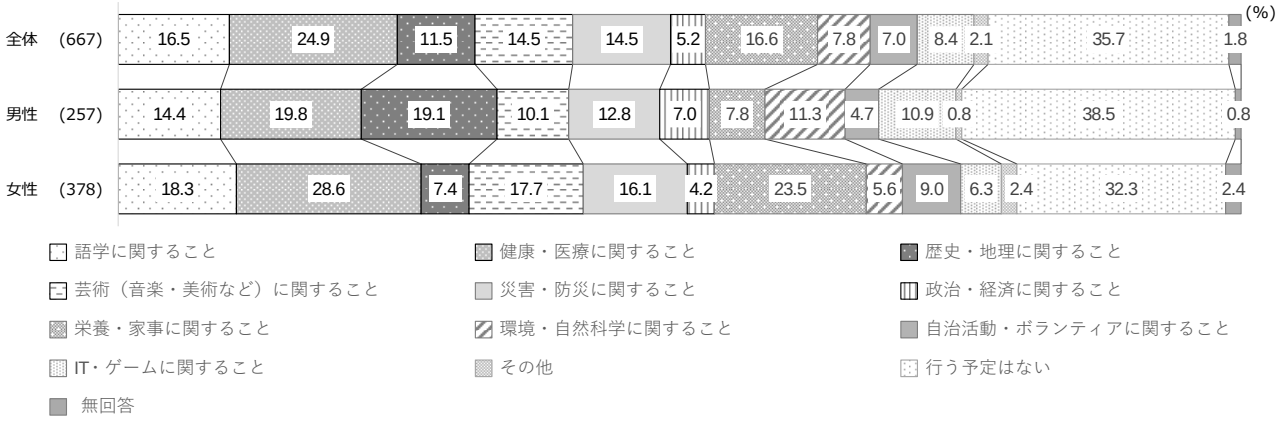
生涯学習活動への参加状況は、「行った」は21.0%、「行わなかった」は69.7%となっている。

性別でみると、全体と同じ傾向となり、男女差は見られなかった。

年齢別でみると、「行った」は20～29歳が26.3%と最も高く、次いで40～49歳が26.1%となっている。一方、「行っていない」は30～39歳が74.4%、60～69歳が73.5%と高く、20歳以上が７割前後となっている。

（２）行いたい生涯学習活動

問22－1　どのような生涯学習活動を行ってみたいですか。（あてはまるものすべてに○）

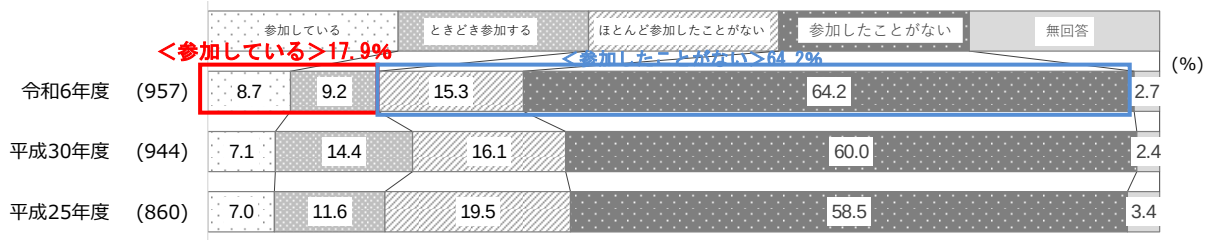


行いたい生涯学習活動は、「健康・医療に関すること」が24.9％と最も高く、次いで「栄養・家事に関すること」が16.6％、「語学に関すること」が16.5％となっている。一方で、「行う予定はない」は35.7％となっている。

性別では、「歴史・地理に関すること」と「環境・自然科学に関すること」は男性が女性よりも５ポイント以上高くなっている。一方、「栄養・家事に関すること」、「健康・医療に関すること」と「芸術（音楽・美術など）に関すること」では、女性が男性よりも５ポイント以上高くなっている。

（３）市民活動・ボランティア活動への参加状況

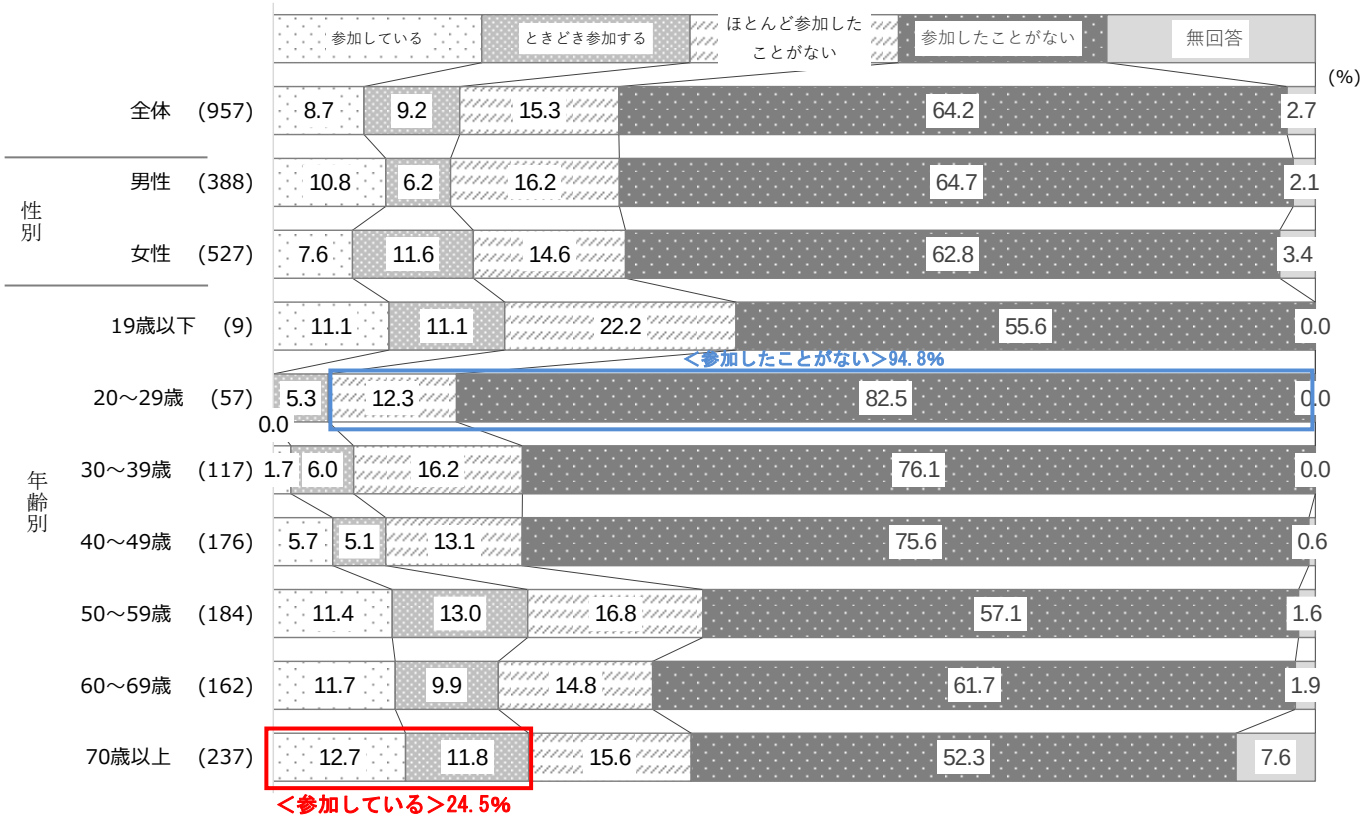
問23　あなたは、市民活動※やボランティア活動に参加していますか。（１つに○）
※市民活動は、政治・宗教・営利を目的としない公益性を有した市民の自発的な活動とします。



市民活動やボランティア活動への参加は、「参加している」「ときどき参加する」を合わせた＜参加している＞は17.9％となっている。一方、「参加したことがない」は64.2％と最も高く、「ほとんど参加したことがない」と合わせた＜参加したことがない＞は79.5％となっている。

経年比較では、＜参加している＞は平成25年度が18.6％、平成30年度が21.5％、令和６年度が17.9％となっており、令和６年度が最も低くなっている。

○市民活動・ボランティア活動への参加状況（性別／年齢別）



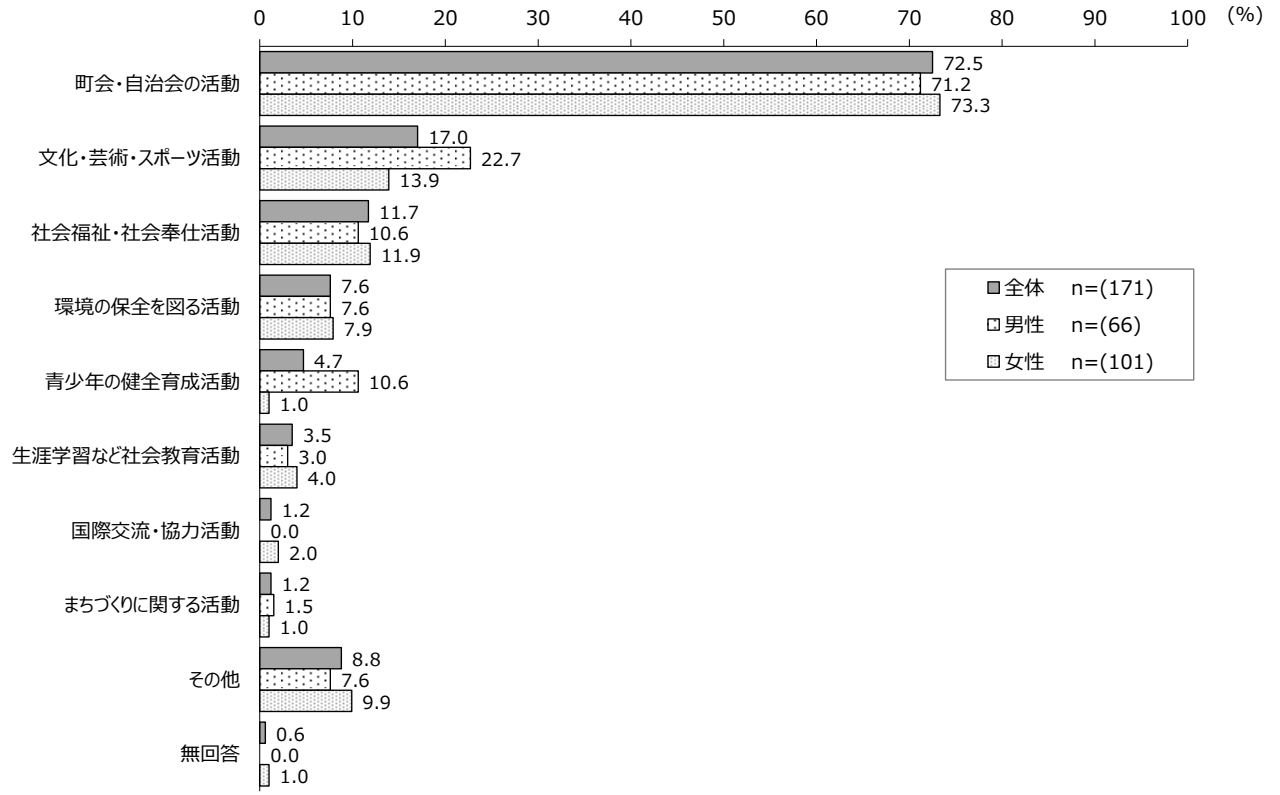
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

性別でみると、＜参加している＞は男性が17.0%、女性が19.2%となり、女性が男性よりも2.2ポイント高い。一方、＜参加したことがない＞は女性（77.4%）が男性（80.9%）よりも3.5ポイント高い。

年齢別でみると、＜参加している＞は70歳以上が24.5%と最も高く、次いで50～59歳が24.4%となっている。一方、＜参加したことがない＞は20～29歳が94.8%、30～39歳が92.3%と高くなっている。すべての年齢層で、＜参加したことがない＞が＜参加している＞を上回った。

（４）参加している活動

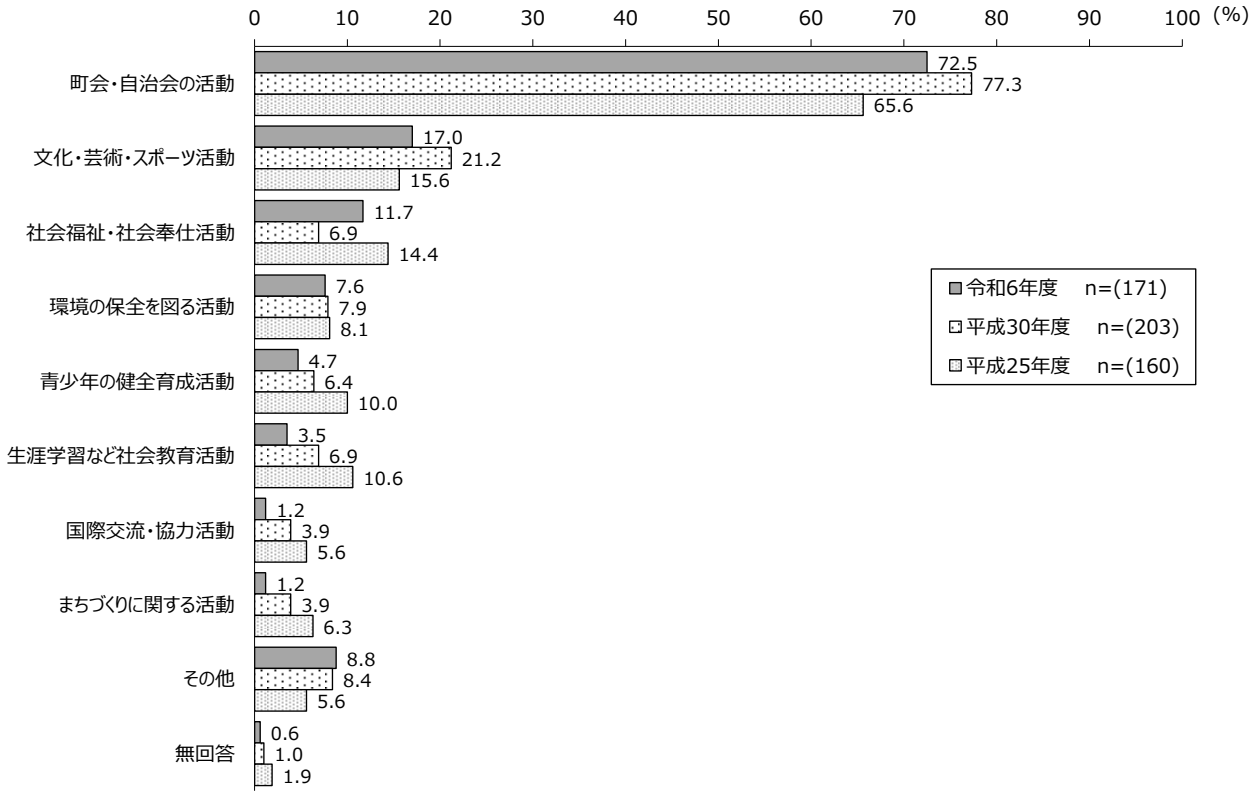
問23－1　あなたが参加している活動は、どのようなものですか。
（あてはまるものすべてに○）



問23で「参加している」と「ときどき参加する」と回答したかたが参加している活動は、「町会・自治会の活動」が72.5％と７割を超えて最も高くなっている。次いで「文化・芸術・スポーツ活動」が17.0％となり、50ポイント以上の差がついている。

性別でみると、「町会・自治会の活動」は男性女性ともに７割以上と最も高い。また、「文化・芸術・スポーツ活動」は男性が22.7％、女性が13.9％と、男性が女性よりも8.8ポイント高くなっている。「青少年の健全育成活動」は男性が10.6％、女性が1.0％と男性が女性よりも9.6ポイント高い。それ以外の項目は概ね男女差がみられなかった。

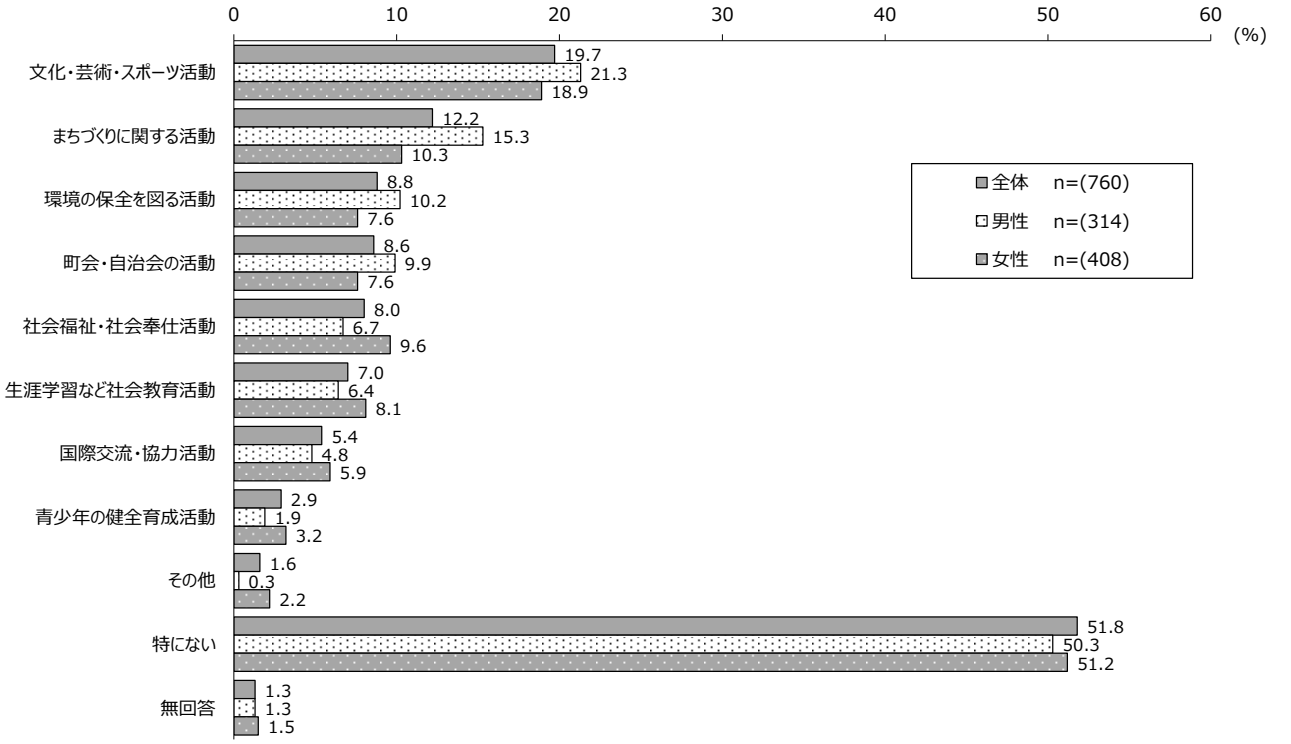
○参加している活動（経年比較）



経年比較すると、「社会福祉・社会奉仕活動」は平成30年度比で増加したものの、それ以外の項目では減少している。

（５）参加したい活動や関心のある活動

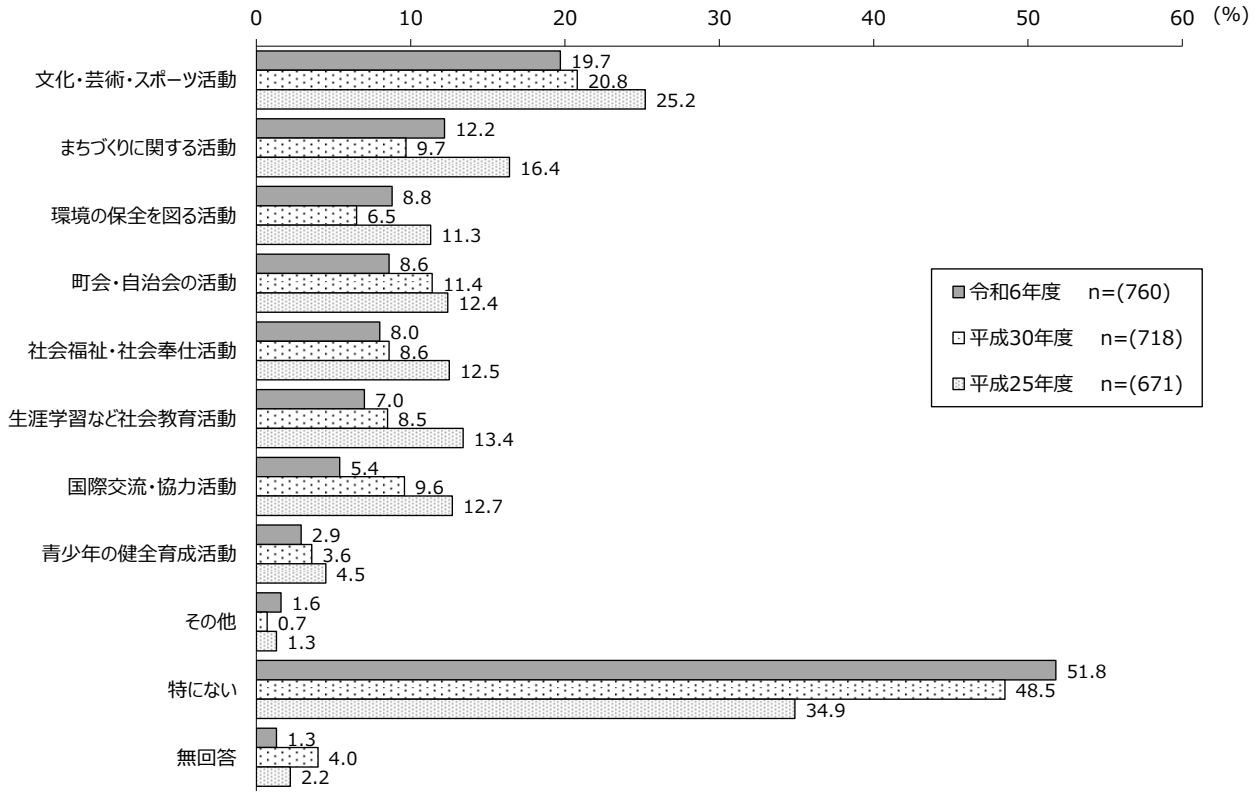
問23－2　あなたが今後参加したい活動や関心のある活動は、どのようなものですか。
（あてはまるものすべてに○）



問23で「ほとんど参加したことがない」と「参加したことがない」と回答したかたの今後参加したい活動や関心のある活動は、「文化・芸術・スポーツ活動」が19.7％と最も高く、次いで「まちづくりに関する活動」が12.2％となっている。一方、「特にない」は51.8％となっている。

性別でみると、「まちづくりに関する活動」は男性が女性よりも5.0ポイント高い。一方、「社会福祉・社会奉仕活動」は女性が男性よりも2.9ポイント高い。

○参加したい活動や関心のある活動活動（経年比較）

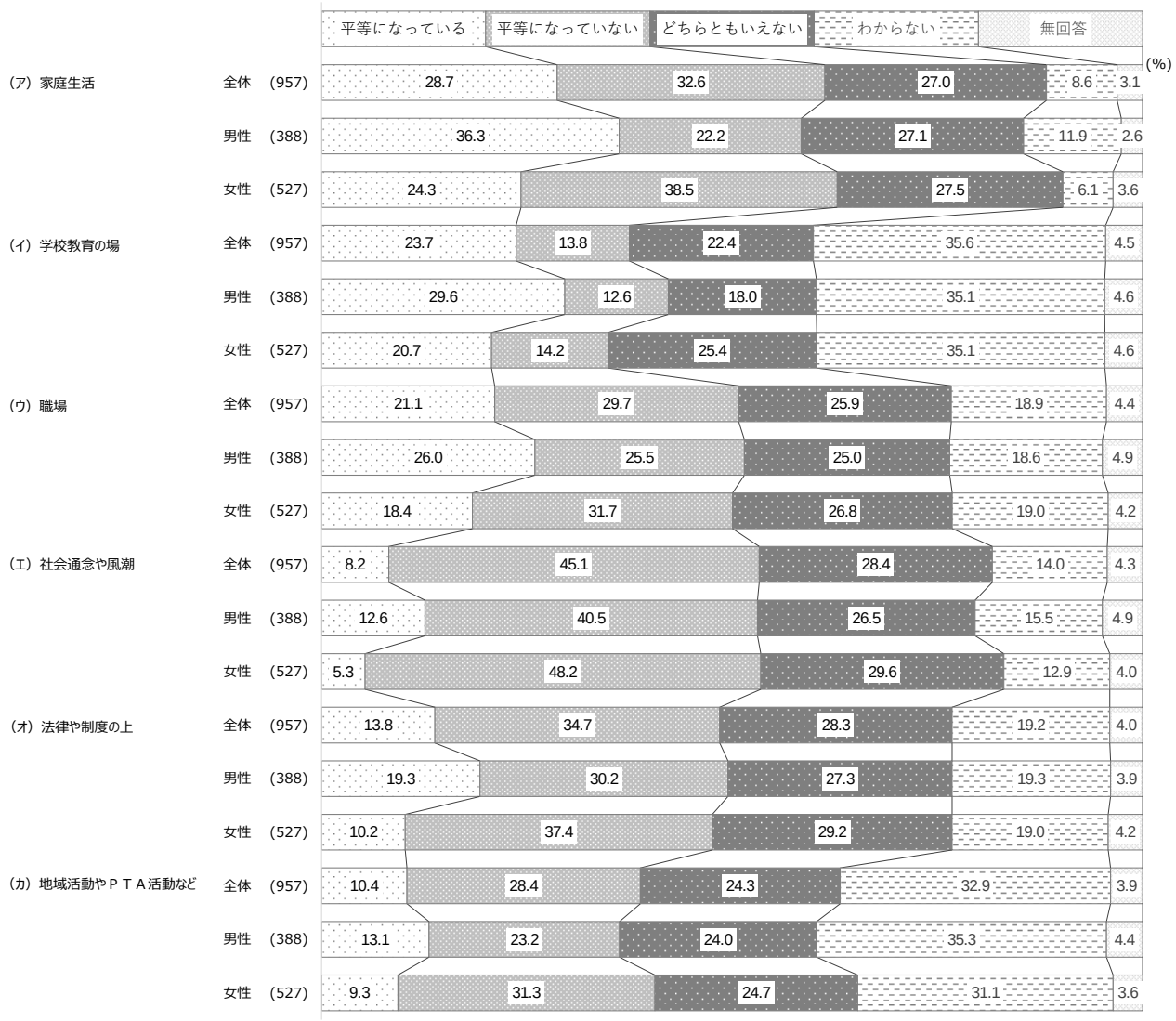


経年比較すると、「環境の保全を図る活動」と「まちづくりに関する活動」は平成30年度比では増加している。それ以外の項目は減少している。「特にない」は調査の度に増加している。

10. 男女共同参画について

（１）男女の地位の平等感

問24　あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。（ア）～（カ）の各項目ごとにお答えください。（それぞれの項目で、１つに○）

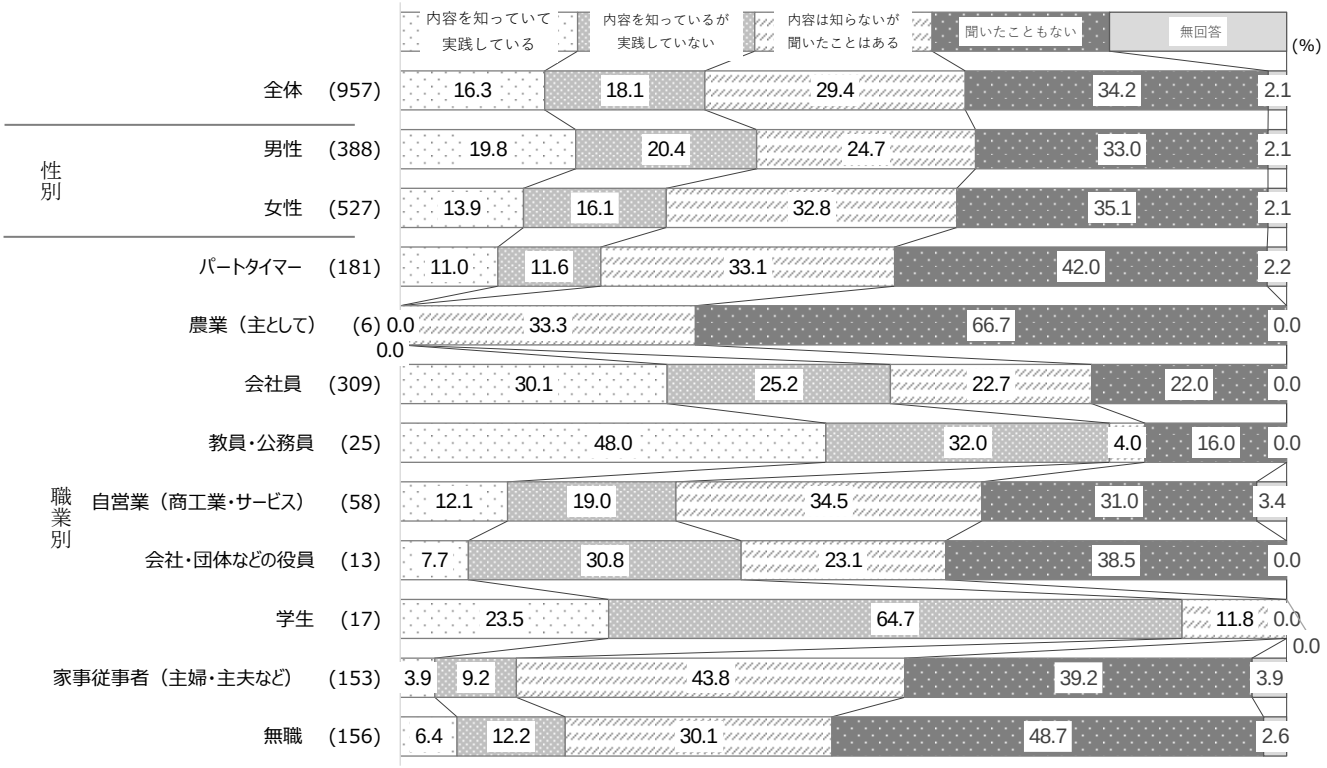


男女の地位は、「平等になっている」が『家庭生活』で28.7%、『学校教育の場』で23.7%と２割を超えている。一方、「平等になっていない」は『社会通念や風潮』で45.1%と４割を超え、『法律や制度の上』で34.7%、『家庭生活』で32.6%と３割を超えており、『学校教育の場』以外の項目では、「平等になっていない」が「平等になっている」を上回っている。

性別でみると、『家庭生活』では「平等になっている」は男性が36.3%、女性が24.3%と男性が女性を12.0ポイント上回っているが、「平等になっていない」は女性が38.5%、男性が22.2%と、女性が男性を16.3ポイント上回っている。また、『職場』では「平等になっている」は男性が26.0%、女性が18.4%と男性が女性を7.6ポイント上回っているが、「平等になっていない」は女性が31.7%、男性が25.5%と、女性が男性を6.2ポイント上回っている。

（２）ワーク・ライフ・バランスの認知状況

問25　あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。（１つに○）



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

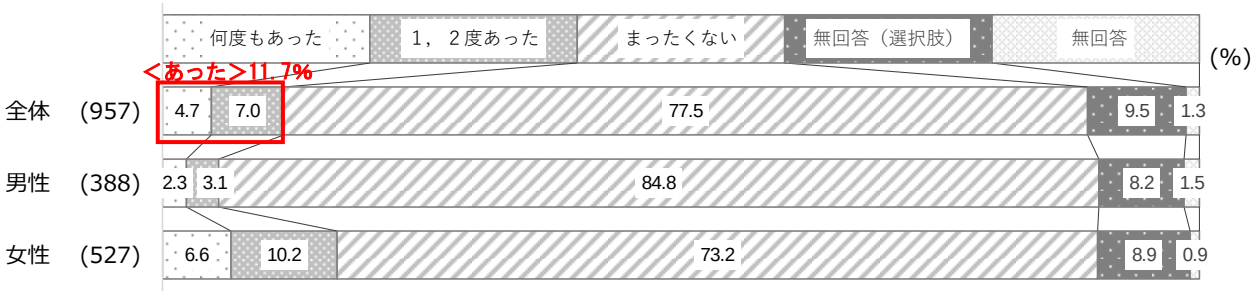
「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、「内容を知っていて実践している」が16.3%、「内容を知っているが実践していない」が18.1%、「内容は知らないが聞いたことはある」が29.4%となっている。一方、「聞いたこともない」は34.2%と最も高くなっている。

性別では、「内容を知っていて実践している」と「内容を知っているが実践していない」はともに男性が女性よりも4.0ポイント以上高くなっている。一方、「内容は知らないが聞いたことはある」「聞いたこともない」はともに女性が男性よりも高くなっている。

職業別では、「内容を知っていて実践している」は会社員が30.1%となっている。一方、「聞いたこともない」は無職が48.7%と最も高く、次いでパートタイマーが42.0%、家事従事者（主婦・主夫など）が39.2%となっている。

（３）パートナーから暴力行為を受けた経験

問26　あなたは今までに、パートナー（配偶者、交際相手、元配偶者等）から暴力行為をされたことがありますか。（１つに○）

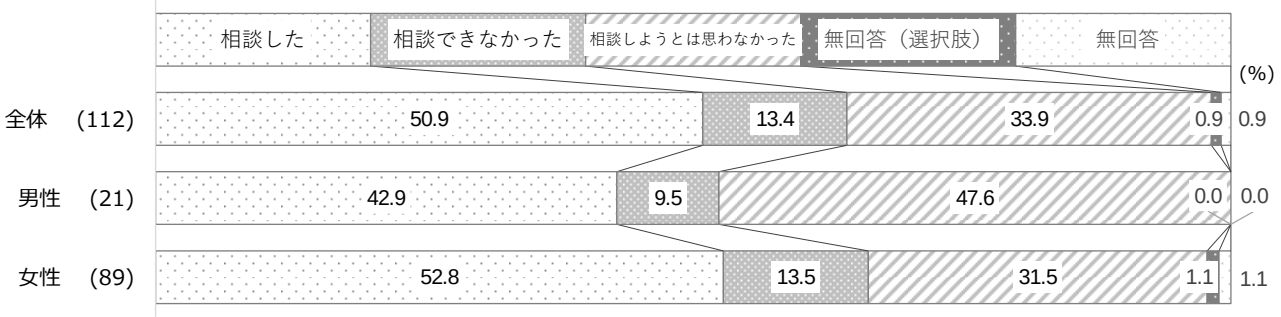


今までに、パートナー（配偶者、交際相手、元配偶者等）から暴力行為をされた経験は、「何度もあった」が4.7%、「１、２度あった」が7.0%となっている。「何度もあった」と「１、２度あった」を合わせた＜あった＞は11.7%となり、１割程度となっている。

性別では、「まったくない」は男性が84.8%、女性が73.2%となっている。一方で、「何度もあった」と「１、２度あった」を合わせた＜あった＞は女性が16.8%、男性が5.4%と女性が男性よりも11.4ポイント高い。

（４）相談の有無

問26－1　そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（１つに○）



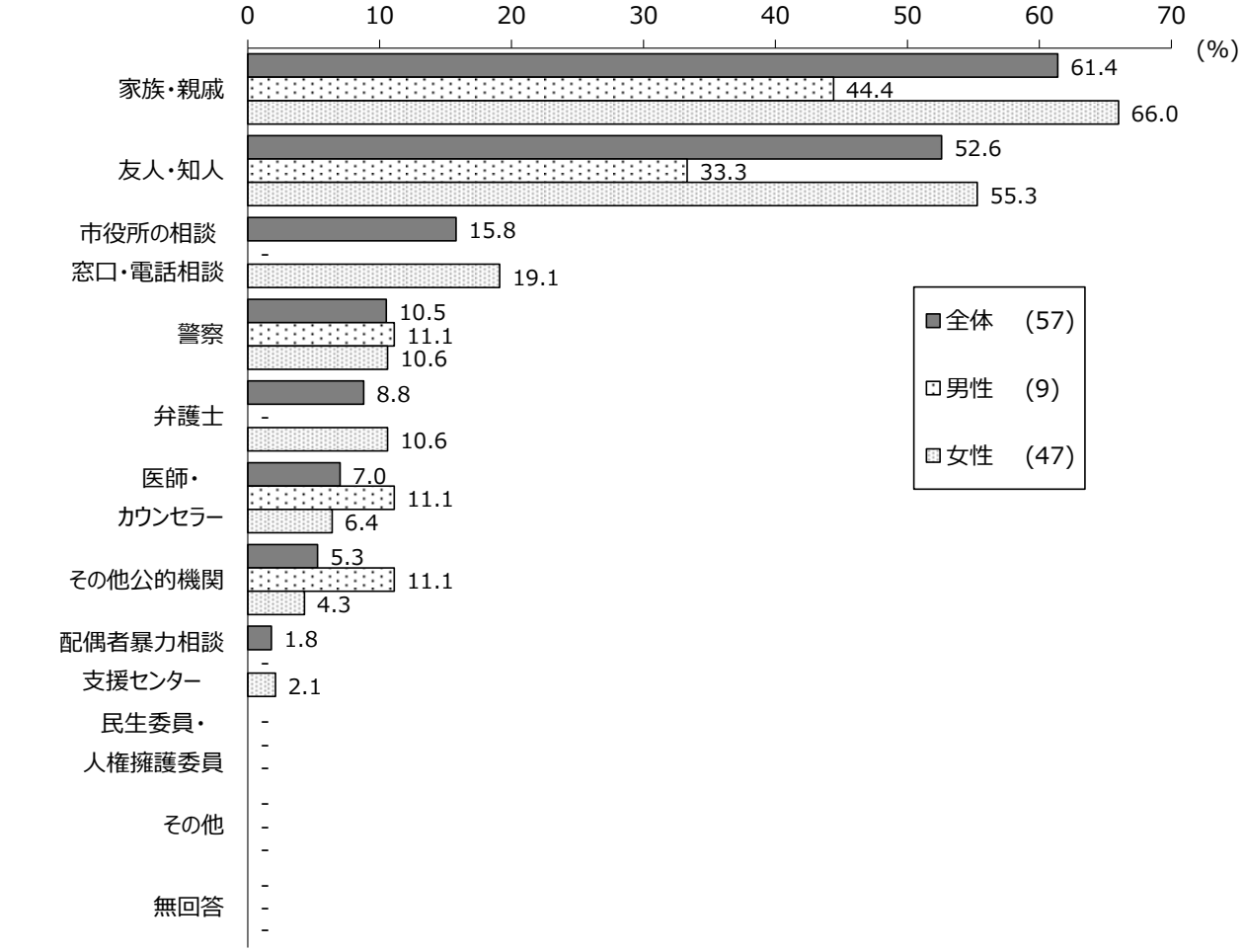
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

問26で「何度もあった」「１、２度あった」と回答したかたの相談の有無は、「相談した」が50.9%、「相談できなかった」が13.4%となっている。また、「相談しようと思わなかった」が33.9%となっている。

性別では、女性では「相談した」が52.8%となっている。一方、「相談しようと思わなかった」が31.5%となっている。

（５）相談相手

問26－1－1　どなたに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

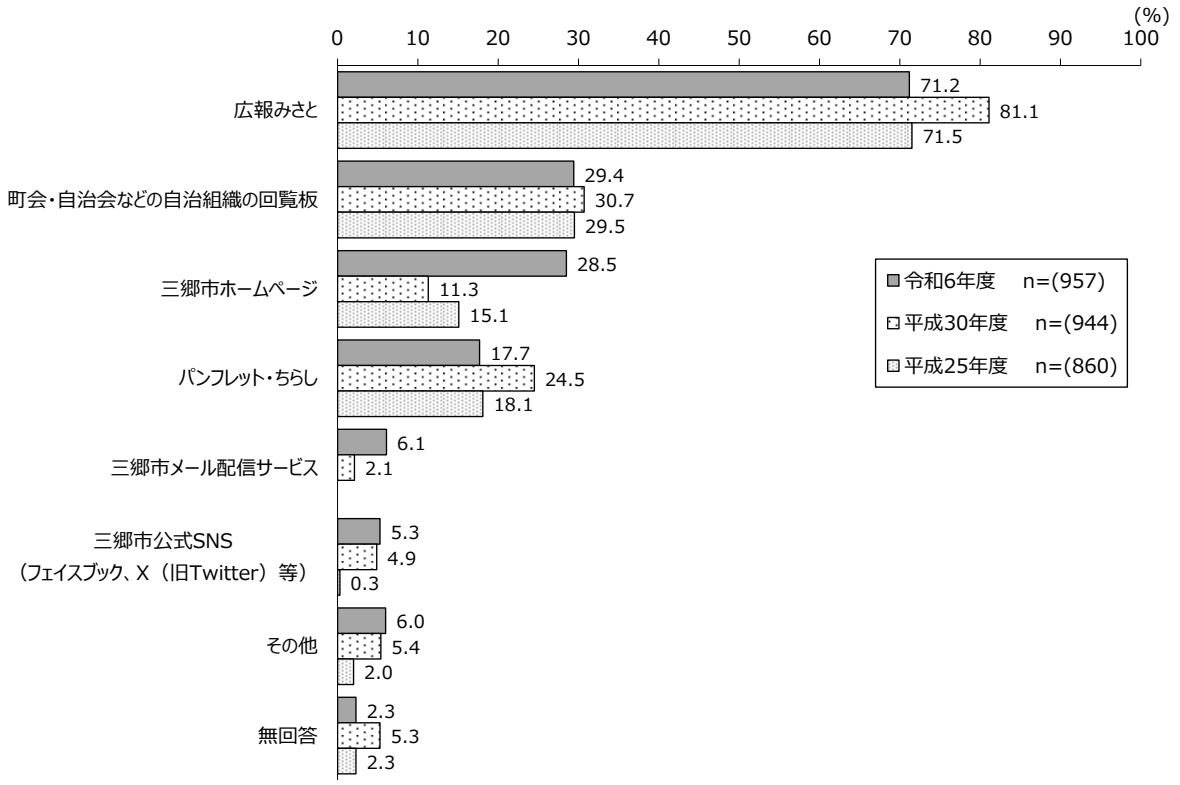
問26－１で「相談した」と回答したかたの相談相手は、「家族・親戚」が61.4％、「友人・知人」が52.6％、「市役所の相談窓口・電話相談」が15.8％となっている。

性別では、女性では「家族・親戚」「友人・知人」が5割を超えている。

11. 広報について

（１）市の事業やイベント情報の入手先

問27　あなたは、三郷市の事業やイベントの情報をどのような方法で入手していますか。
（あてはまるものすべてに○）

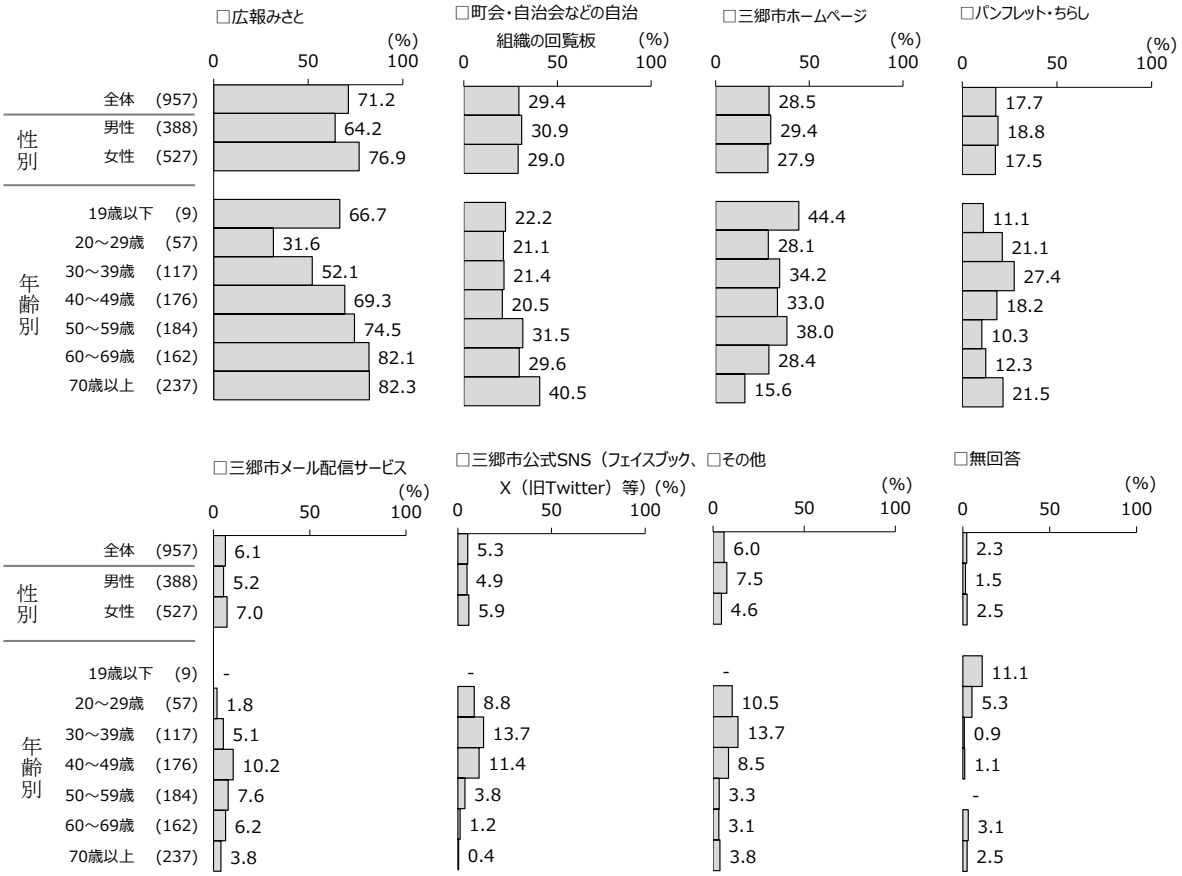


※今回調査では、選択肢を若干変更している。

三郷市の事業やイベントの情報の入手先は、「広報みさと」が71.2%と最も高く、次いで「町会・自治会などの自治組織の回覧板」が29.4%、「三郷市ホームページ」が28.5%、「パンフレット・ちらし」が17.7%となっている。

経年比較では、上位２項目の順位は同じである一方、「三郷市ホームページ」は17.2ポイント増加し、平成30年度は４位だったが、令和６年度には３位となっている。

○市の事業やイベント情報の入手先（性別／年齢別）



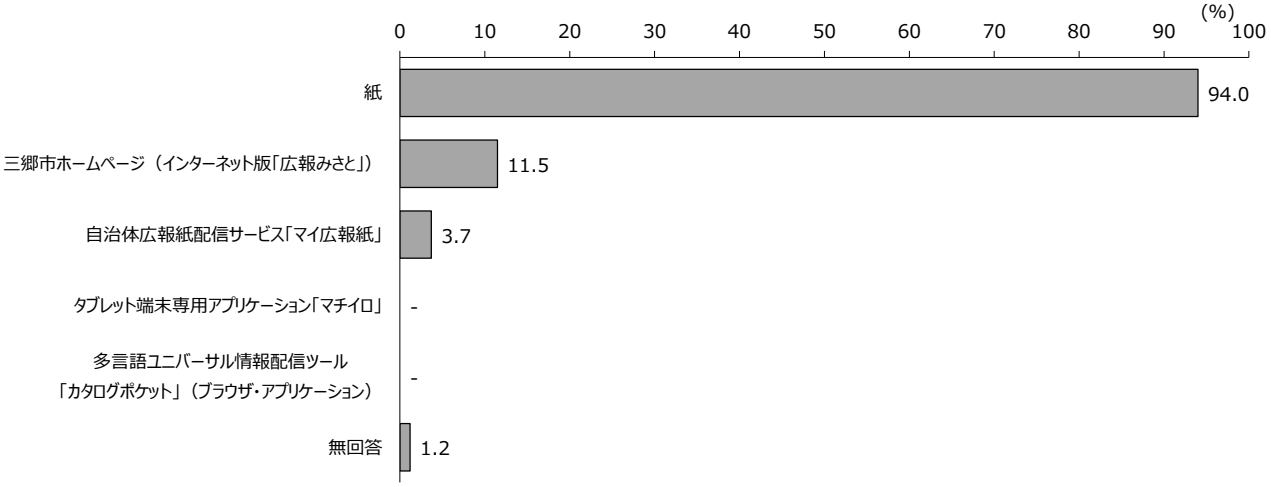
※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

性別では、「広報みさと」は女性が76.9%、男性が64.2%と女性が男性より10ポイント以上高くなっている。それ以外の項目では男女差は見られなかった。

年齢別では、「広報みさと」は高齢層になるほど高い傾向があり、特に60歳以上では８割を超えている。「町会・自治会などの自治組織の回覧板」は70歳以上では４割と最も高く、50～69歳は３割程度、49歳以下は２割程度と、年齢が下がるほど割合が低くなる傾向がみられる。

（２）広報みさとの閲覧媒体

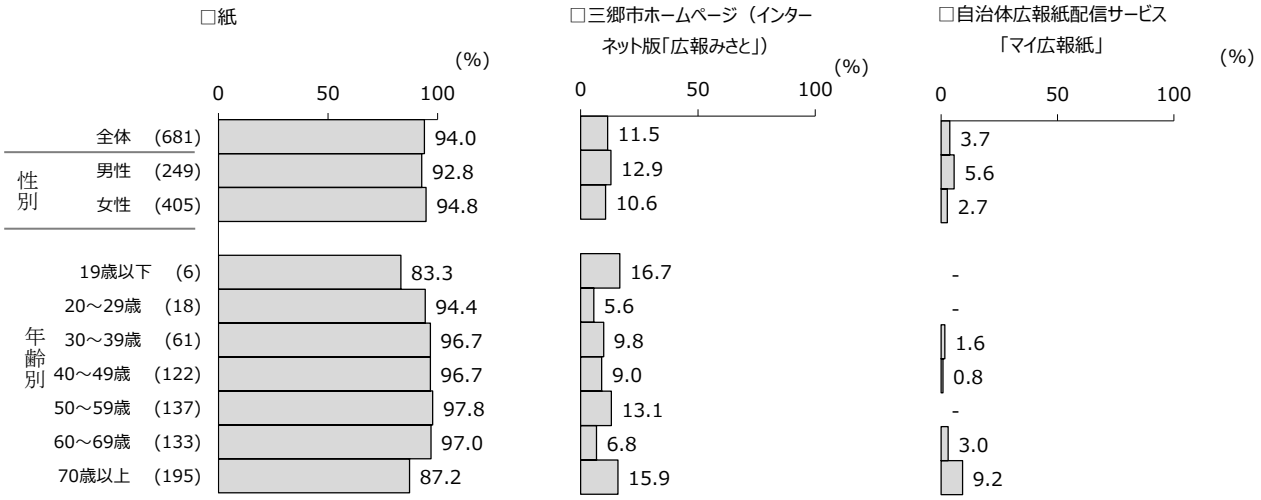
問27－1　主にどの媒体で広報みさとを読みますか。（あてはまるものすべてに○）



広報みさとを読む媒体は、「紙」が94.0％と最も高く、次いで「三郷市ホームページ（インターネット版『広報みさと』）」が11.5％、「自治体広報紙配信サービス『マイ広報紙』」が3.7％となった。

○広報みさとの閲覧媒体（性別／年齢別）

【上位３項目】



※回答者数が30未満の場合は、統計上の誤差が大きくなるため本文ではふれていない。

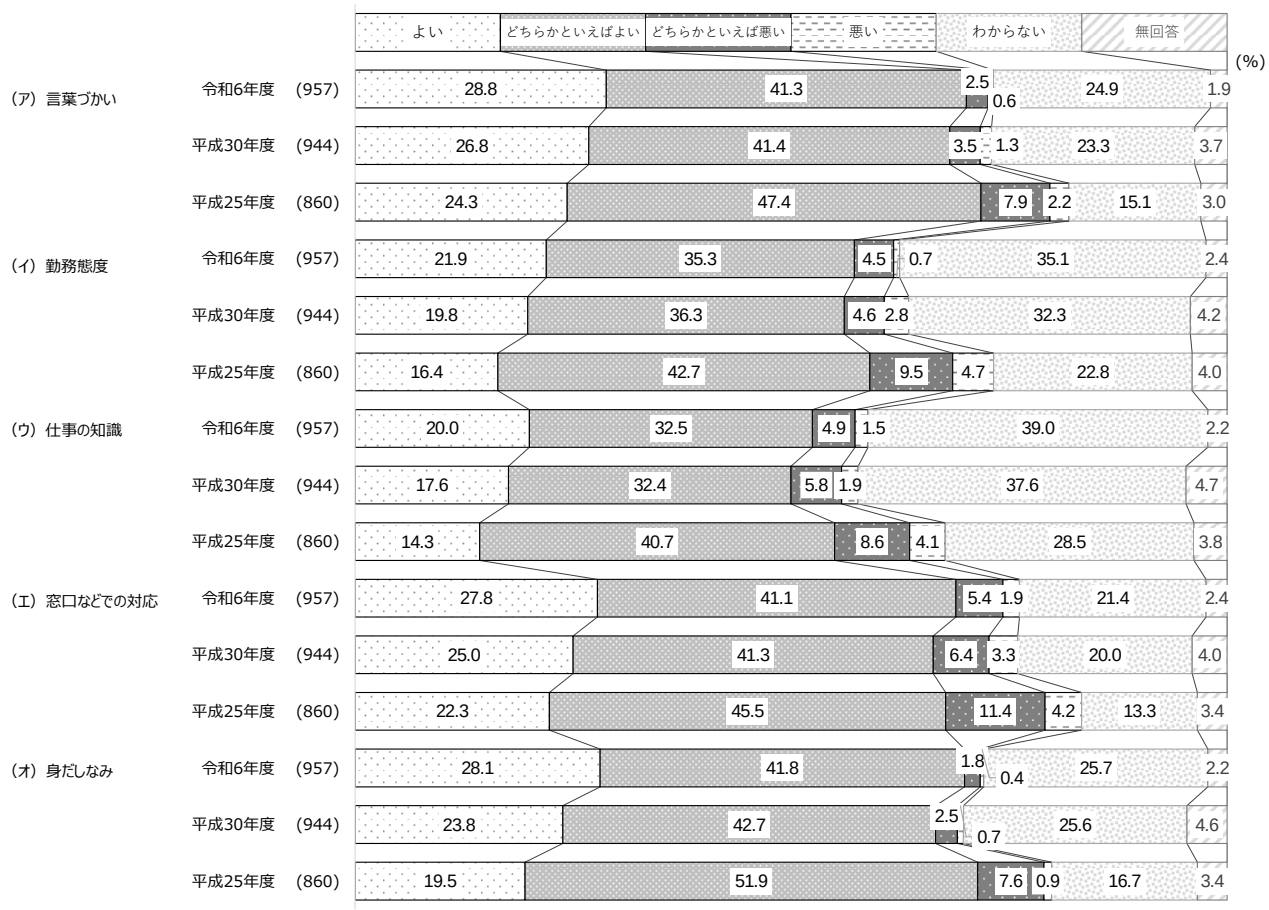
性別では、男女差は見られなかった。

年齢別では、「紙」はどの年代でも８～９割程度となった。「三郷市ホームページ（インターネット版『広報みさと』）」と「自治体広報紙配信サービス『マイ広報紙』」は70歳以上がそれ以外の年代に比べて高い傾向が見られる。また、30歳以上は複数の媒体で閲覧していることが読み取れる。

12. 市職員の印象について

（１）市職員の印象

問28　あなたは、市職員についてどのような印象をお持ちですか。（ア）～（オ）の各項目ごとにお答えください。（それぞれの項目で、１つに○）



市職員の印象は、『言葉づかい』『身だしなみ』『窓口などでの対応』で「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた＜よい＞が概ね７割と高い。また、『仕事の知識』『勤務態度』は「わからない」が３割台となっている。

経年比較すると、いずれの項目も「よい」の割合は調査の度に増加している。「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた＜よい＞は平成30年度比では増加しているものの、平成25年度比では減少している。一方、「どちらかといえば悪い」と「悪い」を合わせた＜悪い＞は、いずれの項目も調査の度に減少している。「わからない」はいずれの項目でも調査の度に増加している。

13. 自由意見

市政についての意見、要望などを自由に記入していただいたところ、359人からご意見をいただいた。記入のあった内容について、「第５次三郷市総合計画前期基本計画」の施策項目にあてはめて集計したところ、以下のとおりとなった。なお、複数の内容にわたる場合は複数のご意見としてそれぞれの項目へ分類している。

【項目別意見数（延べ件数）】

項　目		件数
【まちづくり方針】		
１　安全でいつも安心して住めるまちづくり		
1-1　災害から市民の生命と財産を守る	1-1-1　強靭な防災基盤の構築	11
	1-1-2　風水害対策の強化	13
	1-1-3　消防体制の充実	1
1-2　安心して暮らせる地域社会をつくる	1-2-1　防犯活動の強化	21
	1-2-2　交通安全対策の推進	32
	1-2-3　市民相談体制の充実	1
２　子どもが健やかに、のびのびと成長できるまちづくり		
2-1　子どもを育てやすい環境をつくる	2-1-1　妊娠・出産に対する社会的支援の強化	2
	2-1-2　子育てと仕事の両立支援	10
	2-1-3　子どもや子育て家庭への支援	27
2-2　子どもや若者が学び、健やかに育つ環境をつくる	2-2-1　質の高い教育及び環境の充実	18
	2-2-2　青少年健全育成の推進	1
３　水と緑を生かした環境にやさしいまちづくり		
3-1　自然を身近に感じられるまちをつくる	3-1-1　生活環境の保全	12
	3-1-2　緑と水辺による快適環境の創出	19
3-2　地球にやさしい暮らしを実現する	3-2-1　環境対策の推進	1
	3-2-2　ごみの減量と廃棄物の適正処理	7
	3-2-3　公共下水道の整備	3
４　都市基盤の充実した住みやすいまちづくり		
4-1　ゆとりある快適な都市を実現する	4-1-1　計画的な土地利用の推進	7
	4-1-2　地域特性を生かした魅力ある拠点の形成	4
	4-1-3　快適な住環境の創造	11
4-2　便利で快適な市民活動を支える都市を実現する	4-2-1　憩いとなる公園づくりの推進	21
	4-2-2　誰もが円滑に移動できる道づくりの推進	48
	4-2-3　公共交通アクセスの充実	73
	4-2-4　良質な水の安定供給	3

５　魅力的で活力のあるまちづくり		
5-1　元気で活力ある都市を実現する	5-1-1　にぎわいのある商業の振興	41
	5-1-3　都市型農業の振興	2
5-2　まちに人々が集い、にぎわいを生み出す	5-2-1　産業と雇用の創出	3
６　誰もが生きがいを持ち輝くまちづくり		
6-1　誰もがいつでも読書に親しむ環境をつくる	6-1-1　読書を通じた交流の推進	3
	6-1-2　読書環境の整備	15
6-2　誰もが学び、健康で生きがいの持てる文化の息づくまちをつくる	6-2-1　生涯学習の推進	3
	6-2-2　スポーツ・ウェルネスの推進	2
	6-2-3　文化・芸術の振興	2
７　健やかで自立した生活を支え合うまちづくり		
7-1　誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをつくる	7-1-1　健康づくりの推進	4
	7-1-2　安定した社会保障制度の確立	15
7-2　互いに支え合い、誰もが活躍できる地域福祉のまちを実現する	7-2-1　地域福祉の推進	2
	7-2-2　地域包括ケアシステムの推進	1
	7-2-3　障がい者福祉の充実	7
	7-2-4　高齢者福祉の充実	12
【経営方針】		
１　地域力の醸成	1-1　コミュニティ活動の促進	4
	1-2　世代を超えた人々がつながる機会の創出	1
	1-3　市民のまちづくりへの参加	3
２　まちの魅力向上	2-1　シティブランディングの強化	13
３　行財政基盤の強化	3-1　質の高い行政経営の確立	18
	3-2　公共施設マネジメントの推進	2
	3-3　スマートで人にやさしい自治体の構築	9
その他		27

第３章　調査票

第18回三郷市市民意識調査への ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対しご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、このアンケート調査は、三郷市にお住まいの皆様が市政にどのようなご意見、ご要望をもち、どのように暮らしているのかをうかがい、今後の本市のまちづくりの参考とするために行っているものです。

この調査の実施にあたり、令和６年８月１日現在で、市内に居住する満18歳以上の市民のかたを対象とし、2,000人を無作為に選ばせていただきました。

この調査は無記名であり、統計的に処理しますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。一人でも多くの皆様のご意見などをお聞かせいただきたいと存じますので、ご多用のところまことに恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和６年９月

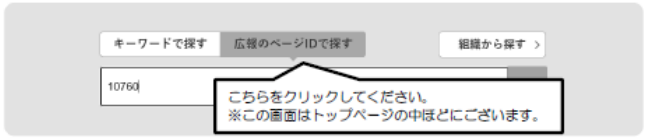
三郷市長　木 津 雅 晟

調査票記入上の注意

1．あて名のご本人がお答えください。（氏名を記入する必要はありません。）
2．黒のボールペン又は鉛筆でご記入ください。
3．お答えは、設問ごとに「１つに○」、「あてはまるものすべてに○」などと指定されていますので、あてはまる番号を○で囲んでください。
4．ご記入いただいた調査票は**10月３日（木）まで**に同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにそのままご返送ください。

問い合わせ先：三郷市企画政策部広報広聴課　広聴係　ＴＥＬ：048-930-7815
e-mail：kouhou@city.misato.lg.jp

◆パソコン・スマートフォンから、インターネットで回答できます。
※本アンケートの回答には20分程度の時間を要します。インターネット回答では、入力内容を途中保存することができないため、お時間の確保が難しいかたは、調査票用紙での回答にご協力をお願いいたします。
◆パソコンによる回答については、三郷市公式ホームページの「広報のページIDで探す」から「10760」と検索していただき、ページ内にあるリンク先より回答をお願いいたします。



【スマートフォン用】
※直接、専用ページにアクセスできます。

インターネット回答の際は、以下の「パスコード」を入力してください。

パスコード：11237

＊パスコードから個人が特定されることはありません。

住みごこちと定住意識について

問１　あなたにとって、現在の三郷市の住みごこちはいかがですか。（１つに○）

1．非常に住みよい
2．まあ住みよい
3．普通
4．やや住みにくい
5．非常に住みにくい

問２　あなたが、三郷市にお住まいになったきっかけは、次のうちどれですか。（１つに○）

1．生まれたときから三郷市に住んでいる
2．住環境がよいため（広さ・日当たりなど）
3．買い物に便利なため
4．通勤・通学に便利なため
5．子育てやこどもの教育のため
6．家族の介護のため
7．自然環境がよいため
8．その他（具体的に　　）

問３　あなたは、これからも三郷市に住みたいと思いますか。（１つに○）

1．ずっと住みたい
2．当分の間は住みたい
3．できれば市外に転居したい
4．市外に転居したい
5．わからない

《問３で「３」、「４」と回答したかたにお聞きします。》

問３－１　市外に転居したい理由は、次のうちどれですか。（２つ以内で○）

1．住環境が悪いため（広さ・日当たりなど）
2．買い物に不便なため
3．通勤・通学に不便なため
4．こどもの教育のため
5．家族の介護のため
6．地域になじめないため
7．医療機関が近くにないため
8．余暇を過ごす場所が少ないため
9．その他（具体的に　　）

三郷市全体について

問４　あなたは、三郷市に誇りや愛着・親しみを感じていますか。（１つに○）

1．感じている
2．どちらかといえば感じている
3．どちらかといえば感じていない
4．感じていない
5．わからない

問５　あなたは、三郷市のイメージについて、どのようにお考えですか。（ア）～（サ）の各項目ごとにお答えください。（それぞれの項目で、１つに○）

イメージ / 項　目	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
（ア）日常生活に便利なまち	1	2	3	4	5
（イ）交通の便がよいまち	1	2	3	4	5
（ウ）商業施設が充実しているまち	1	2	3	4	5
（エ）おしゃれで洗練されたまち	1	2	3	4	5
（オ）人口が増えているまち	1	2	3	4	5
（カ）発展の可能性を秘めたまち	1	2	3	4	5
（キ）自然環境のよいまち	1	2	3	4	5
（ク）働きやすいまち	1	2	3	4	5
（ケ）子育てがしやすいまち	1	2	3	4	5
（コ）家族で遊ぶところが多いまち	1	2	3	4	5
（サ）文化や伝統が感じられるまち	1	2	3	4	5

問６　あなたは、三郷のまちの特徴について魅力を感じていますか。（ア）～（コ）の各項目ごとにお答えください。（それぞれの項目で、１つに○）

特　徴 / 項　目	魅力を感じる	どちらかといえば魅力を感じる	どちらともいえない	どちらかといえば魅力を感じない	魅力を感じない
（ア）鉄道交通の利便性	1	2	3	4	5
（イ）高速道路を利用した交通の利便性	1	2	3	4	5
（ウ）水と緑に恵まれた環境	1	2	3	4	5
（エ）大型商業施設のあるまち	1	2	3	4	5
（オ）今後も発展の可能性を感じるまち	1	2	3	4	5
（カ）人口が増加傾向にあるまち	1	2	3	4	5
（キ）テレビ・映画撮影などロケ支援の取り組み	1	2	3	4	5
（ク）「日本一の読書のまち三郷」の取り組み	1	2	3	4	5
（ケ）子育て施策・子育て環境	1	2	3	4	5
（コ）地域に伝わる伝統的な祭礼	1	2	3	4	5

問７　あなたは、将来の三郷市がどのようなまちになってほしいと思いますか。（２つ以内で○）

1．治安がよく、災害への備えが充実したまち
2．市街地と豊かな緑の調和のとれたまち
3．大学や先端的な研究所などが立地するまち
4．流通・工業などの産業がさかんなまち
5．にぎわいのある商業施設の整備されたまち
6．農業・商工業を活かした観光資源のあるまち
7．豊かな自然が残る、歩いて楽しいまち
8．市民が気楽に楽しめるスポーツ・レクリエーション施設の整備されたまち
9．交通機関の整備された、通勤や通学に便利なまち
10．コミュニティ施設や文化施設を利用した市民活動や生涯学習がさかんなまち
11．高齢者・障がい者・こどもなどが安心して暮らせるまち
12．外国人との交流がさかんなまち
13．その他（具体的に　　）

問８　あなたの考える将来の三郷市を実現するためには、今後、市としてどのような分野に力を入れていくべきだと思いますか。（３つ以内で○）

1．医療体制の充実
2．子育て支援施策の充実
3．高齢者・障がい者福祉の推進
4．消防・防災・防犯体制の充実・強化
5．交通安全対策の推進
6．自然環境の保全対策の推進
7．公園緑地の整備
8．計画的な土地利用の推進
9．道路・公共交通機関の整備
10．河川・水路の整備
11．学校教育の充実
12．青少年の健全育成の推進
13．生涯学習の推進
14．スポーツ・文化・芸術の振興
15．農業・商工業・観光の振興
16．コミュニティ活動の推進
17．男女共同参画の推進
18．都市・国際交流の推進
19．行財政改革の推進
20．市民と行政の参加と協働による行政運営の推進
21．その他（具体的に　　）

問９　あなたは、次の公共施設をどのくらい利用していますか。利用状況を（ア）～（ケ）の施設分類ごとに１つ選択してください。（それぞれの項目で、１つに○）

項目 ＼ 利用状況	よく利用する（月に１回以上）	たまに利用する（年に数回程度）	ほとんど利用しない	利用したことがない
（ア）行政施設（市役所、出張所、消防施設など）	1	2	3	4
（イ）文化施設（文化会館、地区文化センターなど）	1	2	3	4
（ウ）集会施設（瑞沼市民センター、ピアラシティ交流センター、コミュニティセンターなど）	1	2	3	4
（エ）図書施設（図書館、地区文化センター図書室など）	1	2	3	4
（オ）スポーツ・レクリエーション施設（総合体育館、勤労者体育館、陸上競技場など）	1	2	3	4
（カ）学校施設（小学校施設、中学校施設など）	1	2	3	4
（キ）子育て施設（保育所、児童館など）	1	2	3	4
（ク）保健･福祉施設（老人福祉センター、就労支援施設、生活介護施設、療育施設など）	1	2	3	4
（ケ）資料館（三郷市郷土資料館・彦成小学校講堂記念館）	1	2	3	4

問10　全国的にも公共施設の老朽化が課題となり、公共施設（道路、上下水道などのインフラ施設含む）の維持更新費用の増大が予測されています。
維持更新費用の効率化や、財源を確保するために、三郷市としてどのような対応が必要だと思いますか。（３つ以内で○）

1．施設の有料化や利用料の値上げを行う
2．施設の廃止・統合や機能の複合化を進める
3．近隣自治体と共同で施設の運営、維持管理を行う
4．民間に管理運営を任せるなど、民間のノウハウや資金を活用する
5．地域に密着した施設は地元住民などが維持管理を行う
6．古い施設であっても、メンテナンスをおこない長寿命化を図る
7．増税などを行い、市民全体で更新費用を負担する
8．ほかの行政サービスを見直してでも、負担は増やすべきではない
9．その他
（具体的に　　）
10．わからない

読書のまち三郷について

※ここでいう図書施設とは、図書館や地区文化センター図書室などのことをいいます。

問11　読書や本に関係することについて、あなたが１年間で行ったのは、どのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1．本・雑誌（電子書籍を含む）を読む
2．図書施設へ行く
3．家族への読み聞かせ
4．読書または本に関するイベントへの参加
5．読み聞かせ、本の整理、本棚の装飾などのボランティア活動
6．読書または本に関する仕事（経営、勤務、執筆など）
7．その他（具体的に　　）
8．この１年間では行っていないが今後何かやってみたいと思っている
（具体的に　　）
9．特にない

問12　三郷市の読書事業として、どのようなことに力を入れてほしいですか。
（あてはまるものすべてに○）

1．図書施設の本の充実
2．図書施設の設備の充実
3．図書館ホームページの充実
4．本に関する図書施設での調査・相談（レファレンス）
5．多様性に配慮した図書施設サービス（多言語資料、バリアフリー対応など）
6．外出や図書施設などへ行くことが難しいかたへの読書サービス（電子図書館など）
7．ふれあい文庫（施設やお店に寄贈本を置いた読書スポット）
8．こども対象の読書イベント
9．大人対象の読書イベント
10．読書に関するボランティア活動への参加機会
11．その他（具体的に　　）
12．特にない

みどりと公園について

問13　あなたは、三郷市の自然や緑の現状について、どのように感じていますか。（１つに○）

１．満足している
２．どちらかというと満足している
３．どちらともいえない
４．どちらかというと不満である
５．不満である
６．わからない

問14　あなたは、お住まいになっている地域における公園の数や位置、大きさについて、どのように感じていますか。（１つに○）

１．満足している
２．どちらかというと満足している
３．どちらともいえない
４．どちらかというと不満である
５．不満である
６．わからない

防災について

問15　大きな災害が発生した場合、あなたが想定している避難先はどこですか。（１つに○）

１．市の指定避難所
２．自宅（在宅避難）
３．親戚や知人宅
４．車の中
５．その他
（具体的に　　）
６．決めていない

問16　市の指定避難所を長期間開設する場合、各避難所に設置する避難所の運営主体である「避難所運営委員会」についてご存じですか。（１つに○）

１．知っている
２．詳しくは知らないが知っている
３．名前だけ聞いたことがある
４．知らない

福祉について

問17　三郷市の福祉に関する次の事柄のうち、あなたが見たことや聞いたことがあるものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

１．ほっとサロン・いきいき
２．地域包括支援センター
３．老人福祉センター
４．認知症カフェ
５．地区サロン
６．認知症サポーター
７．三郷市こころつながる手話言語条例
８．障害者差別解消法
９．成年後見制度
10．権利擁護センター（三郷市中核機関）
11．民生委員・児童委員
12．保護司
13．更生保護女性会
14．障がい福祉相談支援センター
15．障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法
16．ACP（アドバンス・ケア・プランニング）
17．該当するものはない

健康推進について

問18　あなたは、日頃どの程度スポーツやレクリエーション活動を行っていますか。（１つに○）

１．ほぼ毎日
２．週２～４回
３．週１回
４．月１～２回
５．半年に２～３回
６．年１～２回
７．行っていない

《次ページの問 18－２へ》

《問 18 で「１」、「２」、「３」、「４」、「５」、「６」と回答したかたにお聞きします。》

問18－１　あなたが、スポーツ・レクリエーション活動を行う理由は何ですか。（２つ以内で○）

１．健康や体力づくりのため
２．楽しみのため
３．ストレス解消のため
４．運動不足解消のため
５．家族とのふれあいのため
６．友人・仲間との交流のため
７．美容や肥満解消のため
８．記録や技能を向上させるため
９．その他
（具体的に　　）
10．特にない

《問 18 で「7」と回答したかたにお聞きします。》

問18－２　あなたが、スポーツ・レクリエーション活動を行わない理由は何ですか。
（２つ以内で○）

1．時間がないため	7．体が弱いため
2．好きではないため	8．必要性を感じないため
3．興味がないため	9．その他
4．機会がないため	（具体的に　　）
5．場所がないため	10．特にない
6．お金がかかるため	

問19　歩く時間は１日平均してどのくらいですか。（１つに○）

1．ほとんど歩かない	7．５０～５９分
2．１～９分	8．６０～８９分
3．１０～１９分	9．９０～１１９分
4．２０～２９分	10．１２０分以上
5．３０～３９分	11．把握していない
6．４０～４９分	

問20　１週間の運動日数はどのくらいですか。（１つに○）

1．０日	
2．１日	6．５日
3．２日	7．６日
4．３日	8．毎日
5．４日	

《問 20 で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」、「8」と回答したかたにお聞きします。》

問20－１　運動を行う日の平均運動時間はどれくらいですか。（１つに○）

1．30 分未満	3．60～120 分未満
2．30～60 分未満	4．120 分以上

問21　運動の継続年数はどのくらいですか。（どちらかに○）

1．１年未満	2．１年以上

生涯学習、市民活動・ボランティア活動について

問22　あなたは、この1年間に生涯学習活動（資格の取得や各種講座の受講、文化活動、趣味、ボランティア活動など、自発的な学習）を行いましたか。（１つに○）

1．行った	3．わからない
2．行わなかった	

《問 22 で「2」と回答したかたにお聞きします。》

問22－１　どのような生涯学習活動を行ってみたいですか。（あてはまるものすべてに○）

1．語学に関すること	7．栄養・家事に関すること
2．健康・医療に関すること	8．環境・自然科学に関すること
3．歴史・地理に関すること	9．自治活動・ボランティアに関すること
4．芸術（音楽・美術など）に関すること	10．IT・ゲームに関すること
5．災害・防災に関すること	11．その他
6．政治・経済に関すること	（具体的に　　）
	12．行う予定はない

問23　あなたは、市民活動※やボランティア活動に参加していますか。（１つに○）

※市民活動は、政治・宗教・営利を目的としない公益性を有した市民の自発的な活動とします。

1．参加している	3．ほとんど参加したことがない
2．ときどき参加する	4．参加したことがない

《次ページの問 23－２へ》

《問 23 で「1」、「2」と回答したかたにお聞きします。》

問23－１　あなたが参加している活動は、どのようなものですか。
（あてはまるものすべてに○）

1．町会・自治会の活動	6．青少年の健全育成活動
2．文化・芸術・スポーツ活動	7．社会福祉・社会奉仕活動
3．国際協力活動	8．まちづくりに関する活動
4．環境の保全を図る活動	9．その他
5．生涯学習など社会教育活動	（具体的に　　）

《問 23 で「３」、「４」と回答したかたにお聞きします。》

問23－２　あなたが今後参加したい活動や関心のある活動は、どのようなものですか。
（あてはまるものすべてに○）

１．町会・自治会の活動	６．青少年の健全育成活動
２．文化・芸術・スポーツ活動	７．社会福祉・社会奉仕活動
３．国際協力活動	８．まちづくりに関する活動
４．環境の保全を図る活動	９．その他
５．生涯学習など社会教育活動	（具体的に　　）
	10．特にない

男女共同参画について

問24　あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。（ア）～（カ）の各項目ごとにお答えください。（それぞれの項目で、１つに○）

男女の地位 ／ 項　目	平等になっている	平等になっていない	どちらともいえない	わからない
（ア）家庭生活	1	2	3	4
（イ）学校教育の場	1	2	3	4
（ウ）職場	1	2	3	4
（エ）社会通念や風潮	1	2	3	4
（オ）法律や制度の上	1	2	3	4
（カ）地域活動やＰＴＡ活動など	1	2	3	4

問25　あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。（１つに○）

１．内容を知っていて実践している	３．内容は知らないが聞いたことはある
２．内容を知っているが実践していない	４．聞いたこともない

問26　あなたは今までに、パートナー（配偶者、交際相手、元配偶者など）から暴力行為※をされたことがありますか。（１つに○）

※ここでいう暴力行為には、身体的暴力、精神的暴力、経済的暴力、性的暴力を含みます。

１．何度もあった	３．まったくない
２．１，２度あった	４．無回答

《問 26 で「１」、「２」と回答したかたにお聞きします。》

問26－１　そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（１つに○）

１．相談した	２．相談できなかった
	３．相談しようとは思わなかった
	４．無回答

《問 26－１で「１」と回答したかたにお聞きします。》

問26－１－１　どなたに相談しましたか。（あてはまるものすべてに○）

１．家族・親戚	７．配偶者暴力相談支援センター
２．友人・知人	８．民生委員・人権擁護委員
３．警察	９．その他公的機関
４．医師・カウンセラー	10．その他
５．弁護士	（具体的に　　）
６．市役所の相談窓口・電話相談	

広報について

問27　あなたは、三郷市の情報をどのような方法で入手していますか。
（あてはまるものすべてに○）

1．広報みさと
2．三郷市ホームページ
3．三郷市メール配信サービス
4．三郷市公式 SNS（フェイスブック、X（旧 Twitter）など）
5．町会・自治会などの自治組織の回覧板
6．パンフレット・ちらし
7．その他
（具体的に　　）

《問 27 で「1」と回答したかたにお聞きします。》

問27－1　主にどの媒体で広報みさとを読みますか。（あてはまるものすべてに○）

1．紙
2．三郷市ホームページ（インターネット版「広報みさと」）
3．自治体広報紙配信サービス「マイ広報紙」
4．タブレット端末専用アプリケーション「マチイロ」
5．多言語ユニバーサル情報配信ツール「カタログポケット」（ブラウザ・アプリケーション）

三郷市職員の印象について

問28　あなたは、三郷市職員についてどのような印象をお持ちですか。（ア）～（オ）の各項目ごとにお答えください。（それぞれの項目で、1つに○）

印象 ／ 項目	よい	どちらかといえばよい	どちらかといえば悪い	悪い	わからない
（ア）言葉づかい	1	2	3	4	5
（イ）勤務態度	1	2	3	4	5
（ウ）仕事の知識	1	2	3	4	5
（エ）窓口などでの対応	1	2	3	4	5
（オ）身だしなみ	1	2	3	4	5

最後に、あなたご自身のことについて

Ｆ１　あなたの性別をお答えください。（1つに○）

1．男性
2．女性
3．その他
4．無回答

Ｆ２　あなたの年齢はどの区分にあたりますか。（1つに○）

※令和6年8月1日現在でお答えください。

1．19歳以下
2．20～29歳
3．30～39歳
4．40～49歳
5．50～59歳
6．60～64歳
7．65～69歳
8．70歳以上

Ｆ３　あなたのご職業は次のうちどれにあたりますか。（1つに○）

1．パートタイマー
2．農業（主として）
3．会社員
4．教員・公務員
5．自営業（商工業・サービス）
6．会社・団体などの役員
7．学生
8．家事従事者（主婦・主夫など）
9．無職
10．その他
（具体的に　　）

《次ページのＦ４へ》

《Ｆ３で、「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」と回答したかたに、Ｆ３－１～３をお聞きします。》

Ｆ３－１　あなたの通勤・通学先はどちらですか。（1つに○）

1．三郷市内
2．三郷市以外の埼玉県内
3．東京都内
4．千葉県内
5．茨城県内
6．その他（道府県名　　）

Ｆ３－２　通勤・通学にかかる時間（片道）はどのくらいですか。（１つに○）

１．かからない（自宅）	４．１時間～１時間30分未満
２．30分未満	５．１時間30分～２時間未満
３．30分～１時間未満	６．２時間以上

Ｆ３－３　通勤・通学の主な手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

１．徒歩	３．自家用車	５．鉄道
２．自転車・バイク	４．バス	６．その他（　　）

《Ｆ３－３で「５」と回答したかたにお聞きします。》

Ｆ３－４　通勤･通学に利用する駅はどちらですか。（１つに○）

※２つ以上の駅を利用している場合は、自宅から最寄りの駅１つに○をしてください。

１．三郷駅	４．吉川駅	７．松戸駅
２．新三郷駅	５．吉川美南駅	８．金町駅
３．三郷中央駅	６．八潮駅	９．その他（　　）

《すべてのかたにお聞きします。》

Ｆ４　あなたのお住まいの形態は次のどれにあたりますか。（１つに○）

１．持ち家（一戸建て）	５．社宅
２．持ち家（分譲マンション）	６．間借り・下宿
３．民間賃貸住宅（マンション・アパート）	７．その他
４．公営賃貸住宅	（具体的に　　）

Ｆ５　あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。（１つに○）

１．単身世帯（ひとり暮らし）	４．三世代世帯（親と子と孫など）
２．一世代世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）	５．その他
３．二世代世帯（親子など）	（具体的に　　）

Ｆ６　あなたは子育て（18歳以下）をしていますか。（１つに○）

１．はい	２．いいえ

Ｆ７　あなたは介護をしたり、介護を受けたりしていますか。（１つに○）

※介護認定の有無に関係なく、家族に限定しません。

１．はい	２．いいえ

Ｆ８　あなたは三郷市に住んでどれくらいになりますか。（１つに○）

１．１年未満	４．５～10年未満
２．１～３年未満	５．10～20年未満
３．３～５年未満	６．20年以上

Ｆ９　三郷市にお住まいになる以前（直前）の居住地はどちらですか。（１つに○）

１．生まれたときから三郷市	４．千葉県内
２．三郷市以外の埼玉県内	５．茨城県内
３．東京都内	６．その他（道府県名など　　）

Ｆ10　あなたのお住まいの地区は、どの区分にあたりますか。（１つに○）

１．半田、小谷堀、前間、後谷、田中新田、丹後、大広戸、彦成５丁目、早稲田
２．仁蔵、下彦川戸、上彦川戸、上彦名、彦成１～４丁目（みさと団地を除く）、彦音、彦糸、采女、彦川戸、新三郷ららシティ
３．茂田井、幸房、岩野木、笹塚、南蓮沼、駒形、三郷
４．花和田、彦江、彦沢、番匠免、上口、彦倉、彦野、泉、天神、ピアラシティ
５．谷中、市助、谷口、新和１・２丁目、栄１・２丁目、中央
６．新和３～５丁目、栄３～５丁目、鷹野
７．寄巻、鎌倉、戸ヶ崎
８．東町、高州
９．みさと団地、さつき平

◆ご自由にご意見をお聞かせください。◆

三郷市政全般について、ご意見、ご要望などがありましたら、どんなことでも結構ですのでお書きください。

長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
10月3日（木）までにご返送ください。

第18回

三郷市市民意識調査報告書

令和７年２月

発　行　／　三郷市　企画政策部　広報広聴課
〒341-8501　三郷市花和田648-１
電話　048（930）7815